

2024 年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2024 年度名古屋経済大学 FD 委員会

- 2024 年度前期 学生による授業評価アンケート結果報告
 - 2024 年度前期 授業評価アンケート 設問内容（後期も同一のものを使用）
 - 2024 年度前期 実施概要
 - 2024 年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧
 - 2024 年度前期 授業評価アンケート 度数分布（全 13 項目分）
 - 2024 年度前期 授業担当者別（各学部・学科）の授業評価アンケート報告書
 - ◇ 経済学部、経営学部、法学部、教育保育学科、管理栄養学科、各担当分
- 2024 年度後期 学生による授業評価アンケート結果報告
 - 2024 年度後期 授業評価アンケート 設問内容（前期と同一のため省略）
 - 2024 年度後期 実施概要
 - 2024 年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧
 - 2024 年度後期 授業評価アンケート 度数分布（全 13 項目分）
 - 2024 年度後期 授業担当者別（各学部・学科）の授業評価アンケート報告書
 - ◇ 経済学部、経営学部、法学部、教育保育学科、管理栄養学科、各担当分

※ 下線の報告書は部局 FD 委員が作成後、FD 委員会で承認を得、さらに部局教授会での承認を得たもの

※ 下線のもの以外は FD 委員会を代表して委員長が作成したもの

2024年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	22	22	100.00	0	0.00
経営学部	50	50	100.00	0	0.00
法学部	22	22	100.00	0	0.00
人間生活科学部・教育保育学科	36	36	100.00	0	0.00
人間生活科学部・管理栄養学科	54	54	100.00	0	0.00
非常勤	116	116	100.00	0	0.00
【全体】	300	300	100.00	0	0.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,548	3,548	1,879	52.96
経営学部	4,794	4,794	2,808	58.57
法学部	3,169	3,169	1,753	55.32
人間生活科学部・教育保育学科	1,047	1,047	874	83.48
人間生活科学部・管理栄養学科	1,658	1,658	1,394	84.08
非常勤	4,526	4,526	3,007	66.44
【全体】	18,742	18,742	11,715	62.51

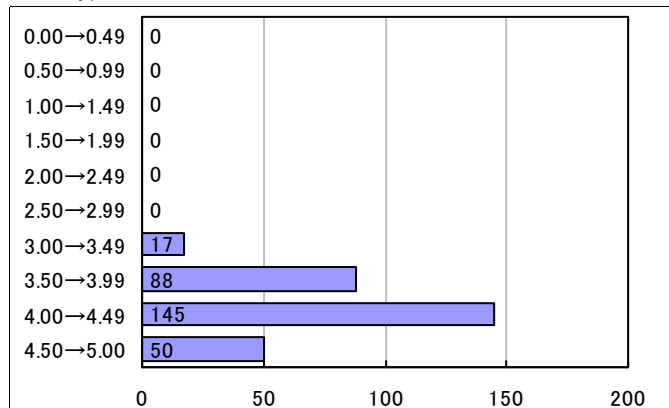
[名古屋経済大学] 2024年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	4.09	4.17	4.38	4.17	4.18	4.29	4.21	4.25	4.25	4.31	4.19	4.39	4.22
経済学部	4.00	4.05	4.30	4.07	4.08	4.18	4.14	4.15	4.19	4.23	4.10	4.31	4.13
経営学部	4.05	4.10	4.29	4.07	4.09	4.22	4.11	4.19	4.15	4.21	4.07	4.31	4.11
法学部	3.94	4.11	4.33	4.12	4.17	4.29	4.19	4.16	4.14	4.28	4.16	4.31	4.19
人間生活科学部・教育保育学科	4.28	4.50	4.62	4.52	4.55	4.60	4.56	4.43	4.56	4.61	4.56	4.63	4.52
人間生活科学部・管理栄養学科	4.35	4.18	4.56	4.16	4.15	4.28	4.24	4.35	4.31	4.30	4.27	4.40	4.18
非常勤	4.09	4.23	4.41	4.25	4.23	4.36	4.26	4.34	4.32	4.39	4.24	4.47	4.32

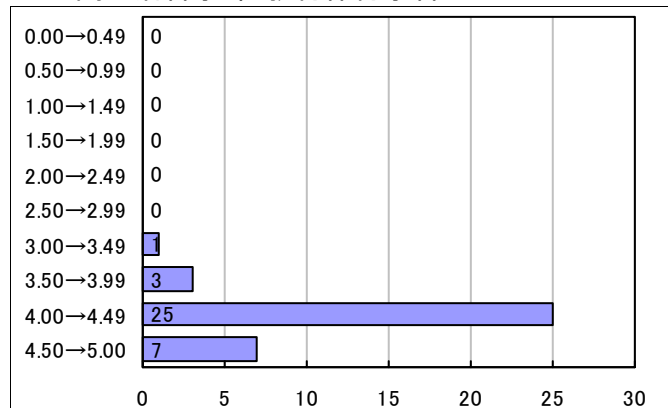
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



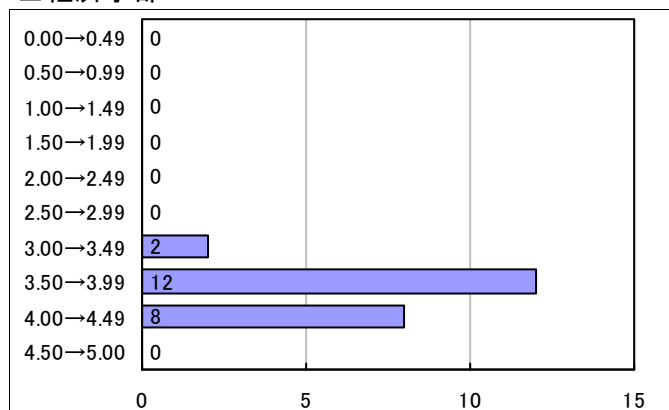
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・教育保育学科



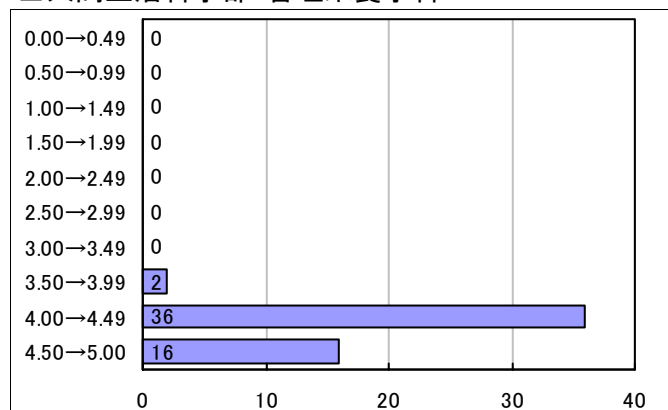
平均値 = 4.28

■経済学部



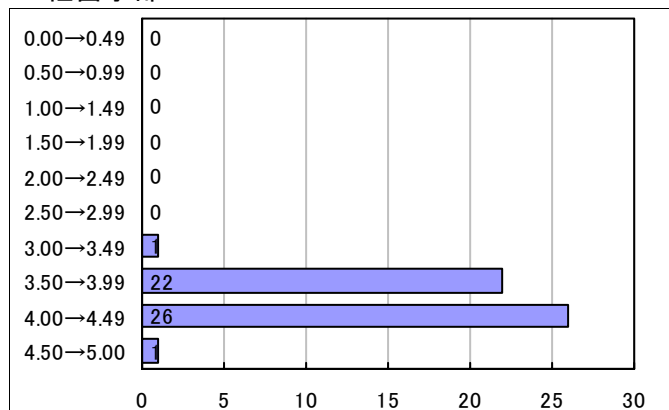
平均値 = 4.00

■人間生活科学部・管理栄養学科



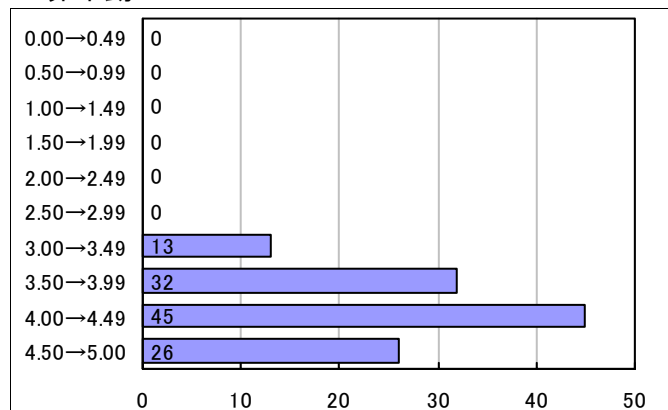
平均値 = 4.35

■経営学部



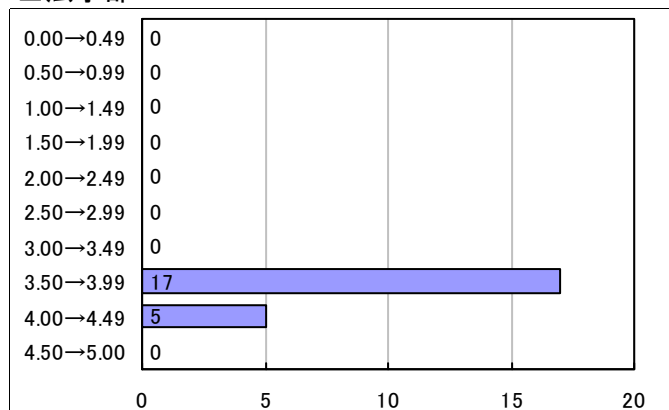
平均値 = 4.05

■非常勤



平均値 = 4.09

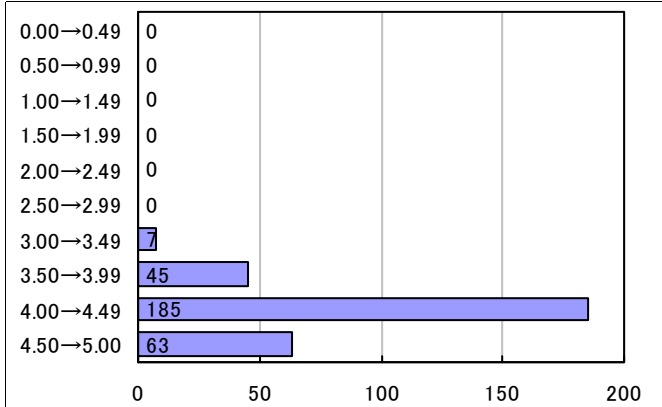
■法学部



平均値 = 3.94

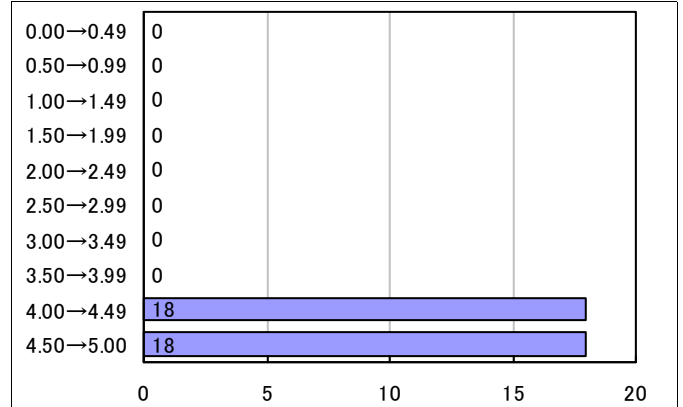
●2.あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



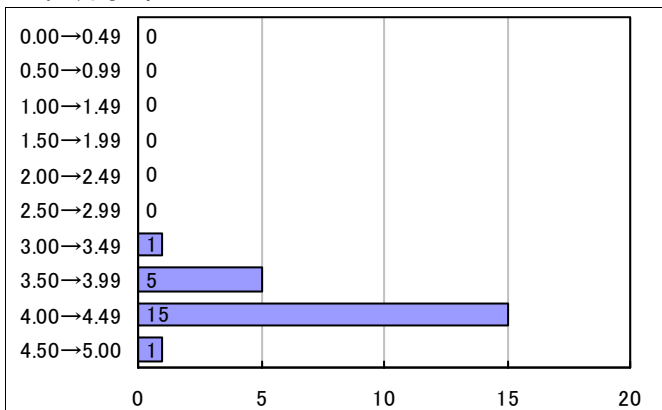
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・教育保育学科



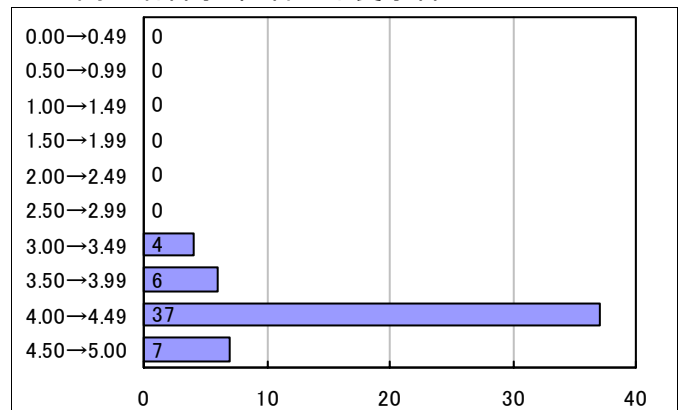
平均値 = 4.50

■経済学部



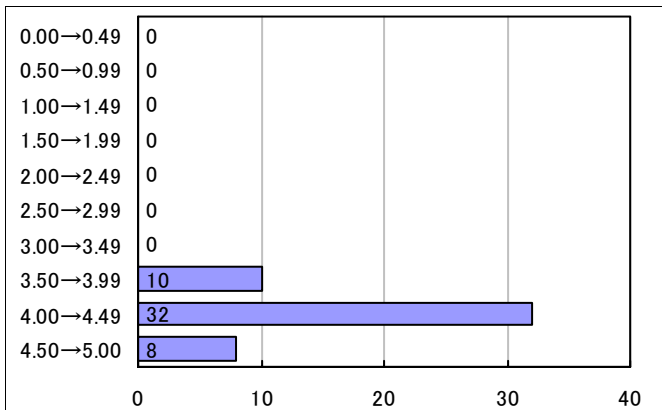
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・管理栄養学科



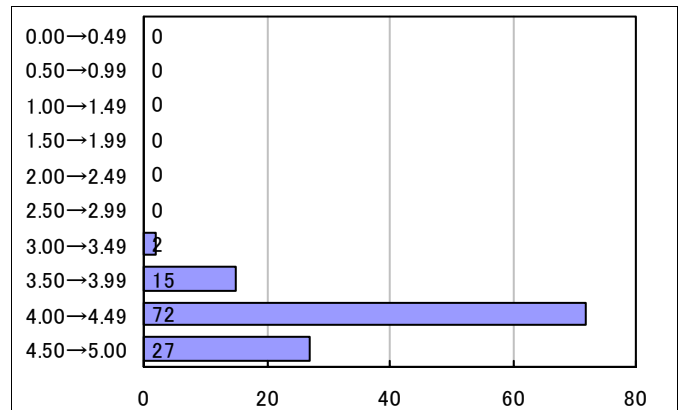
平均値 = 4.18

■経営学部



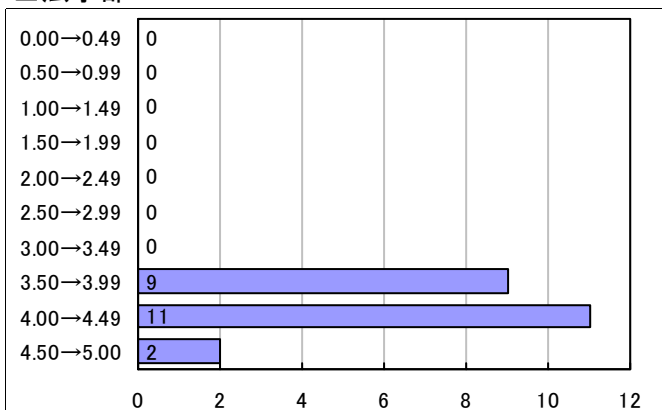
平均値 = 4.10

■非常勤



平均値 = 4.23

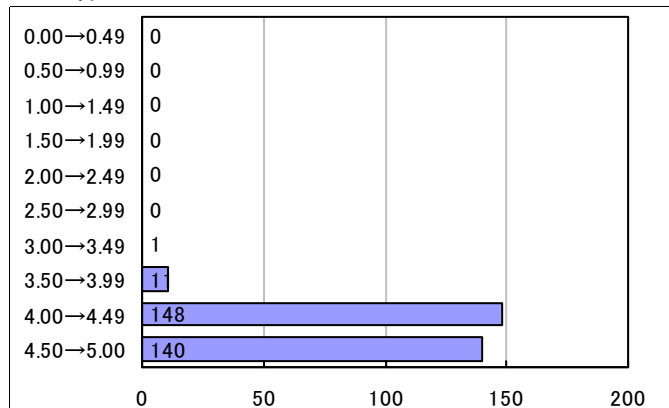
■法学部



平均値 = 4.11

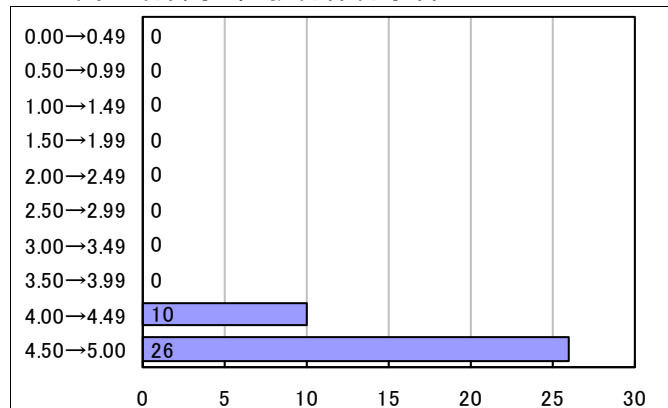
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること

■全体



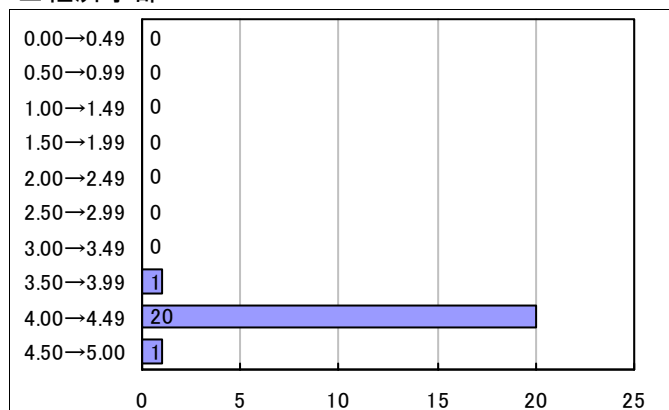
平均値 = 4.38

■人間生活科学部・教育保育学科



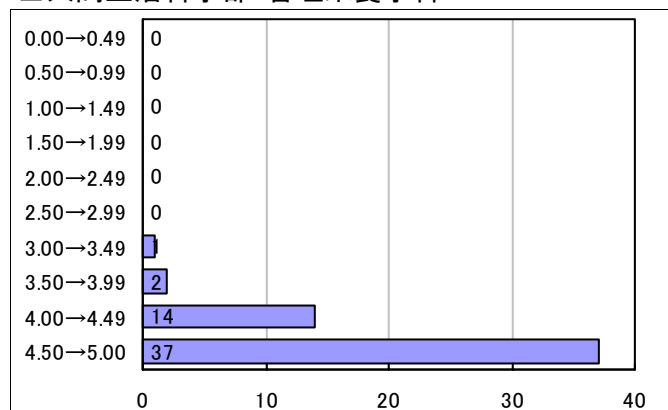
平均値 = 4.62

■経済学部



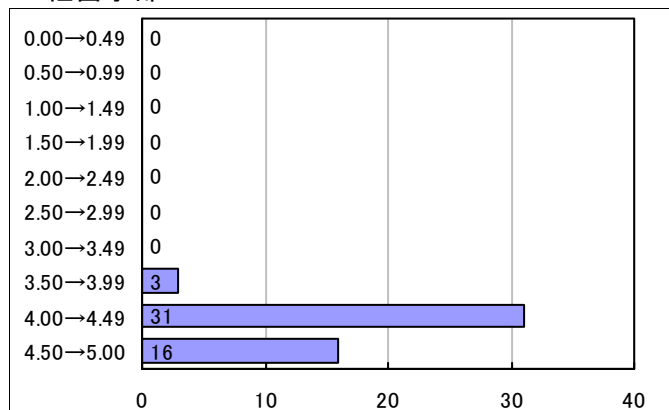
平均値 = 4.30

■人間生活科学部・管理栄養学科



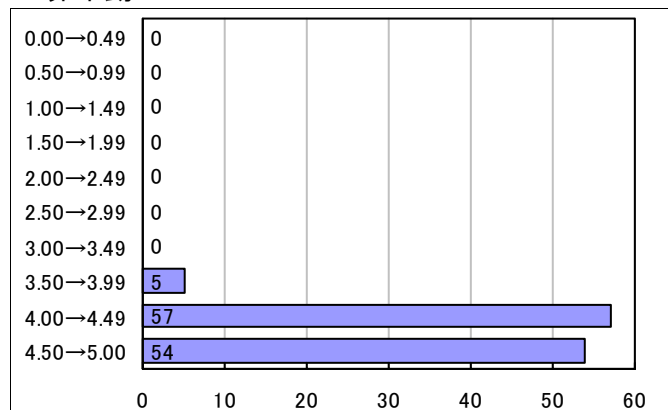
平均値 = 4.56

■経営学部



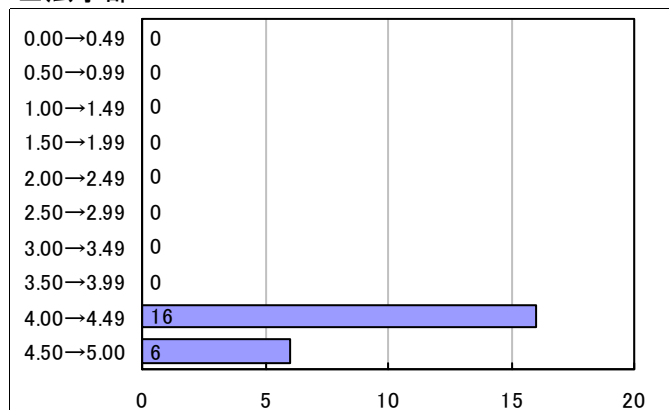
平均値 = 4.29

■非常勤



平均値 = 4.41

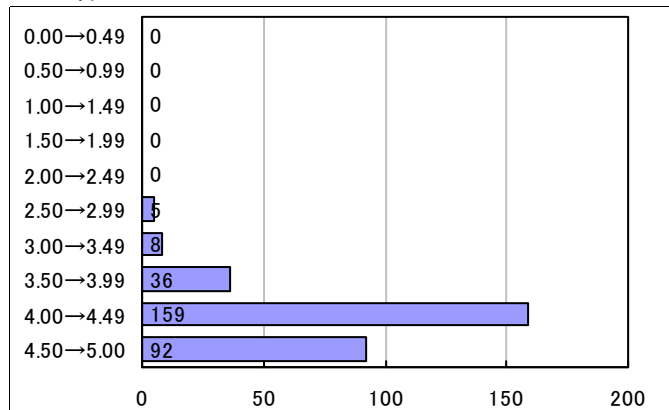
■法学部



平均値 = 4.33

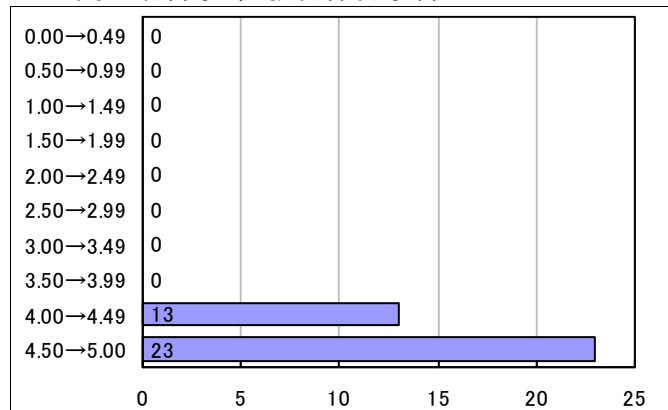
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



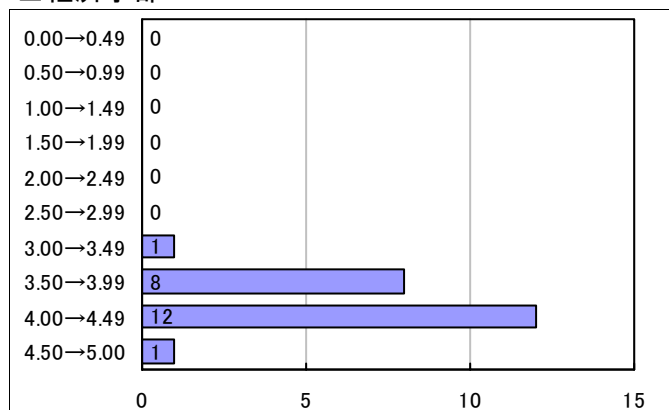
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・教育保育学科



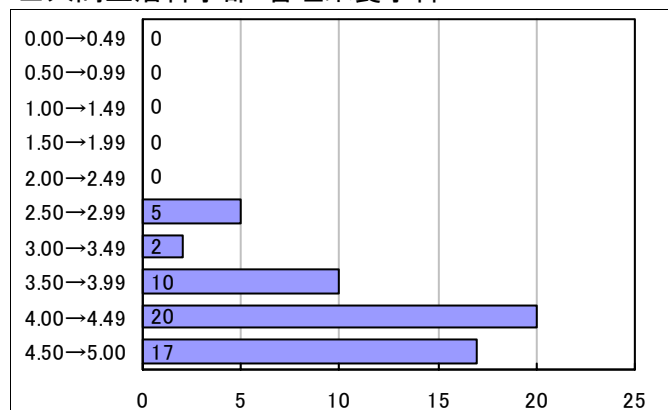
平均値 = 4.52

■経済学部



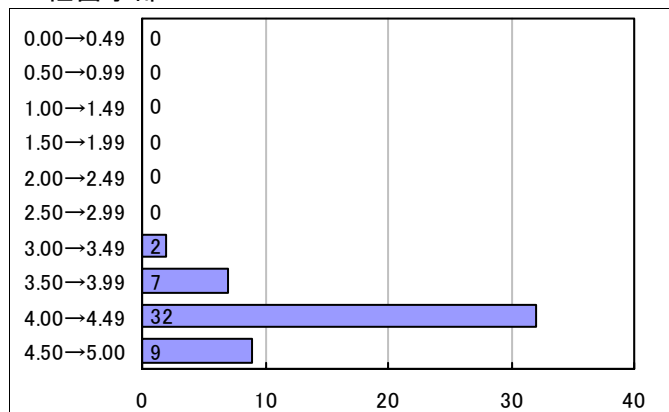
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



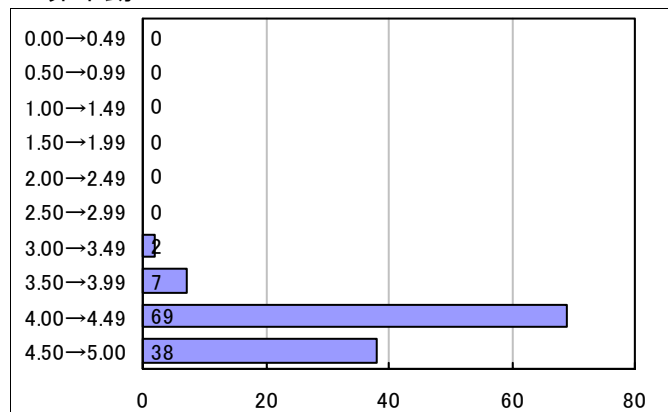
平均値 = 4.16

■経営学部



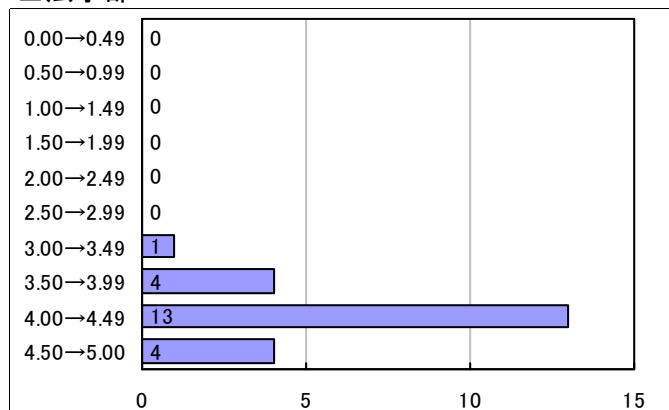
平均値 = 4.07

■非常勤



平均値 = 4.25

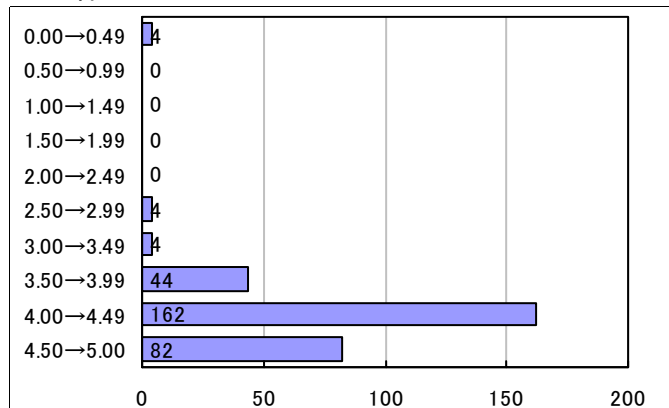
■法学部



平均値 = 4.12

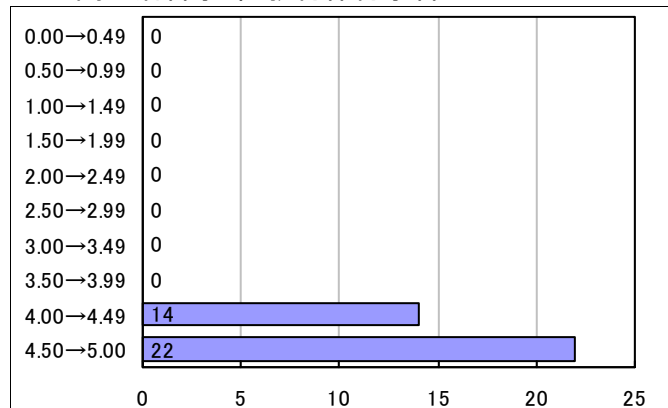
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



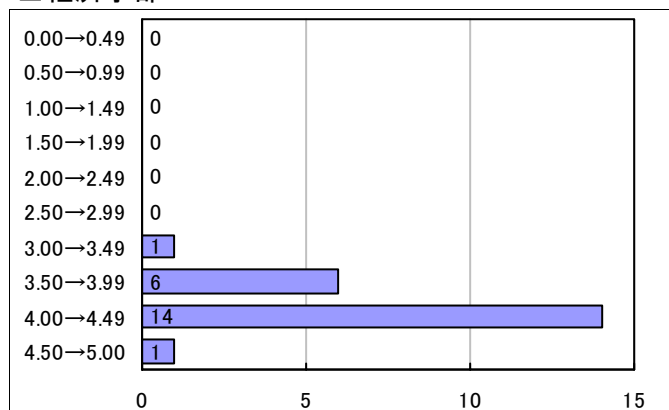
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・教育保育学科



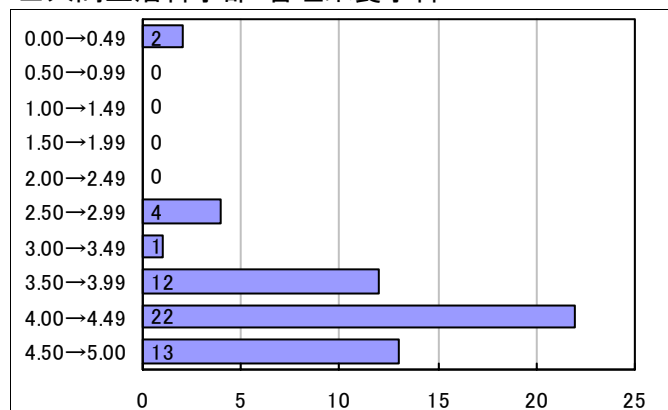
平均値 = 4.55

■経済学部



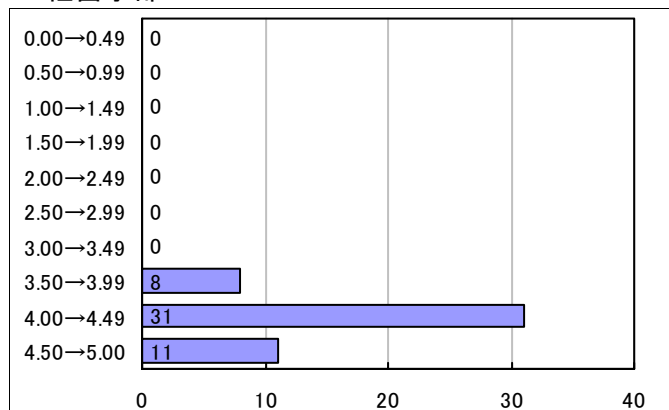
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・管理栄養学科



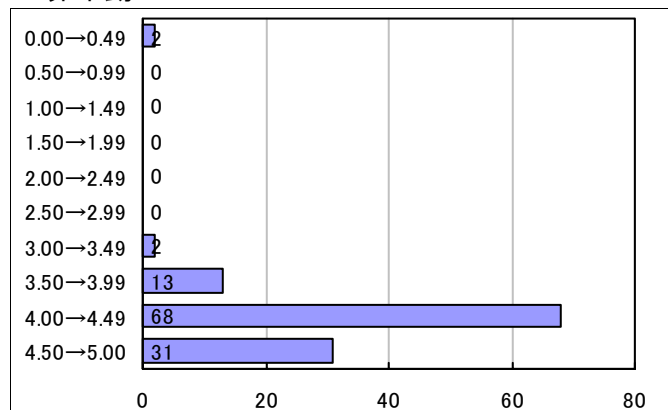
平均値 = 4.15

■経営学部



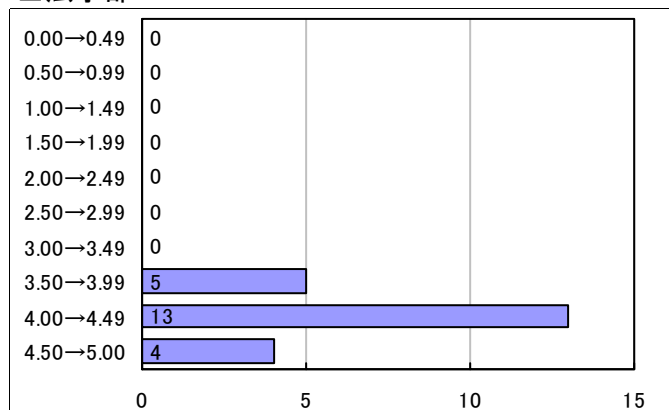
平均値 = 4.09

■非常勤



平均値 = 4.23

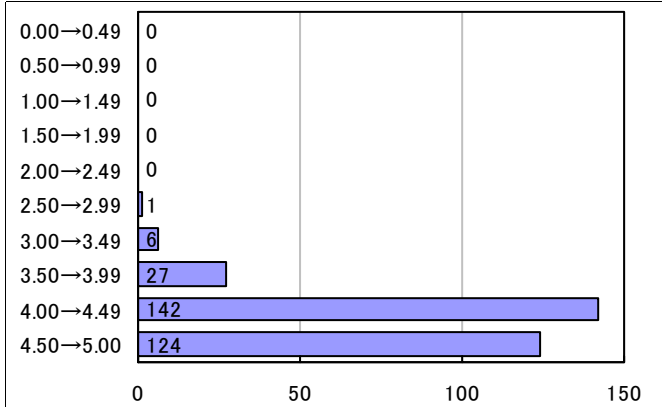
■法学部



平均値 = 4.17

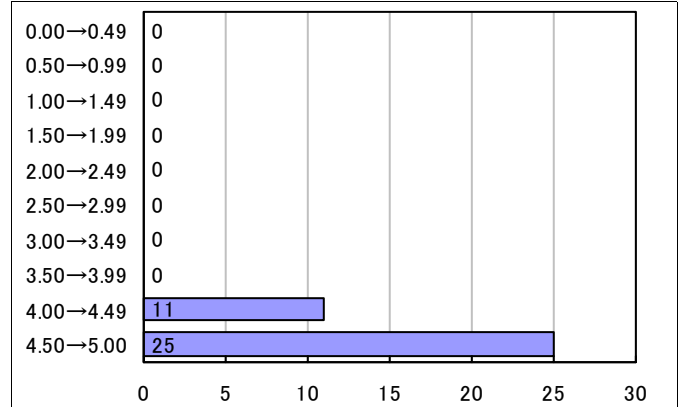
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



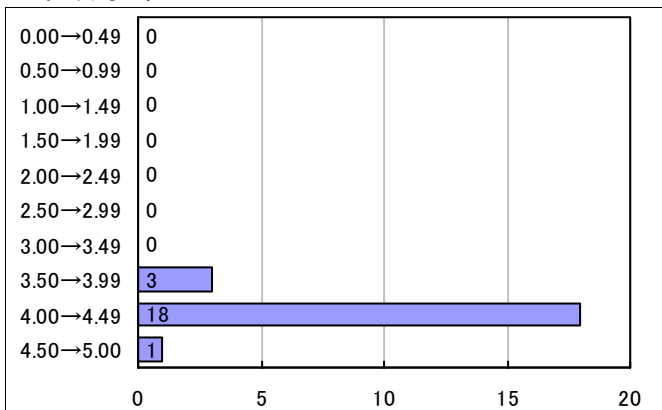
平均値 = 4.29

■人間生活科学部・教育保育学科



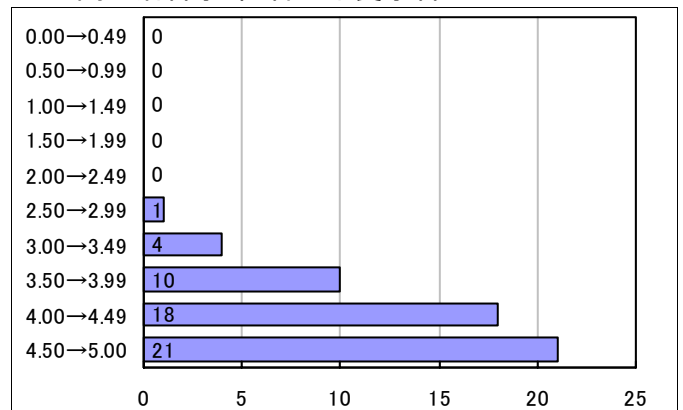
平均値 = 4.60

■経済学部



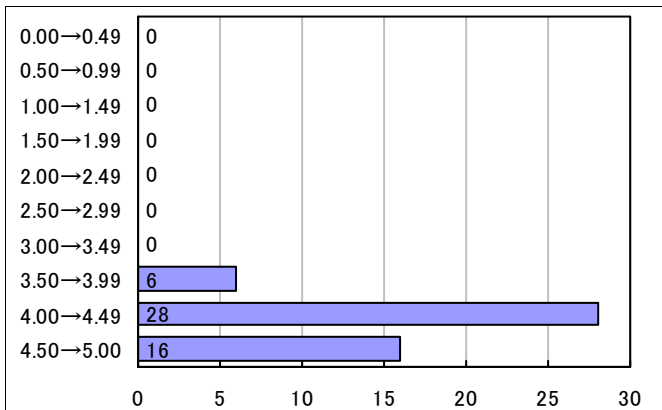
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・管理栄養学科



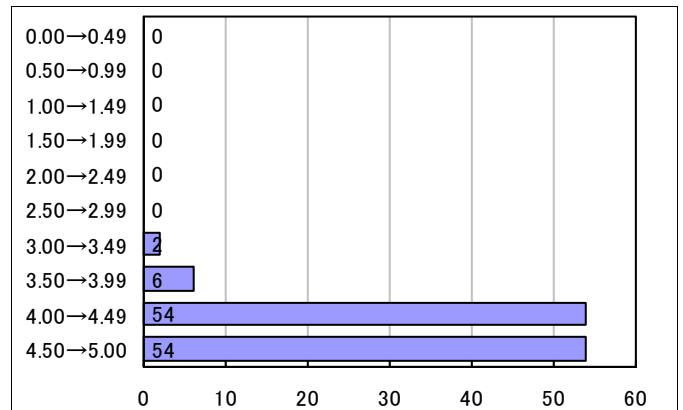
平均値 = 4.28

■経営学部



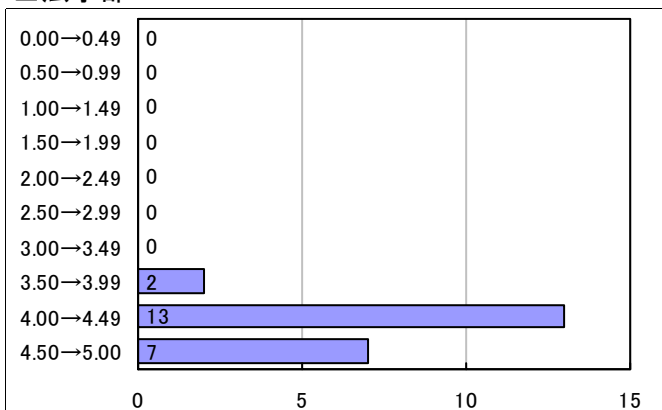
平均値 = 4.22

■非常勤



平均値 = 4.36

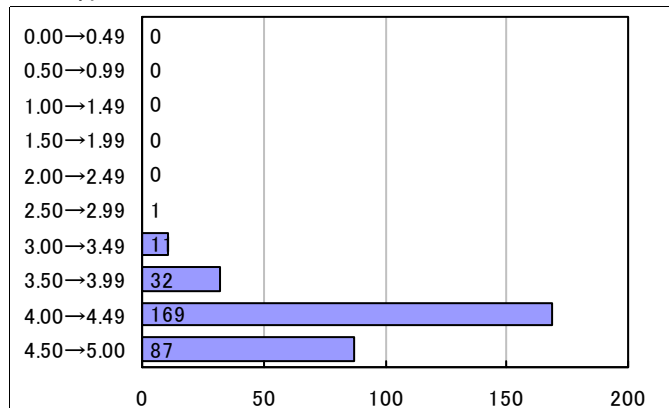
■法学部



平均値 = 4.29

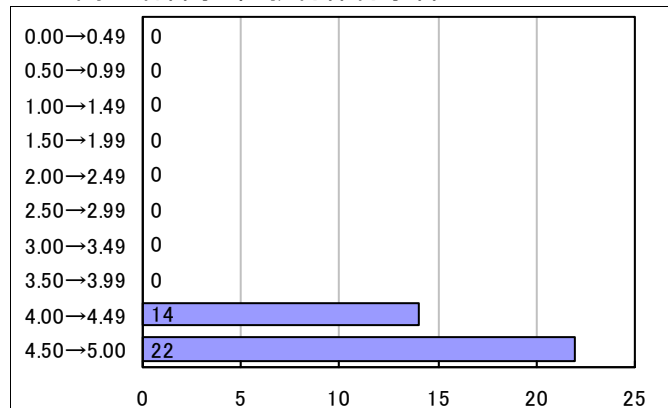
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



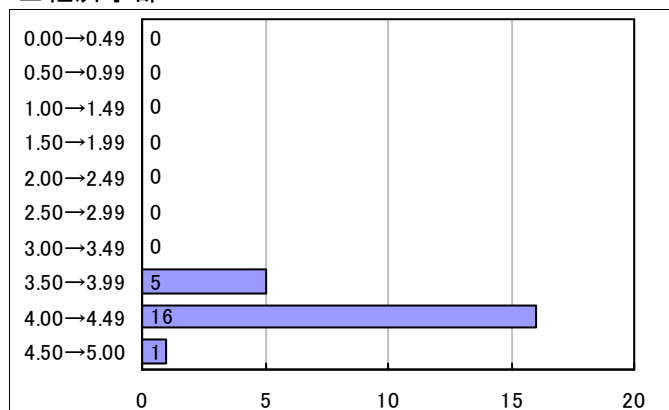
平均値 = 4.21

■人間生活科学部・教育保育学科



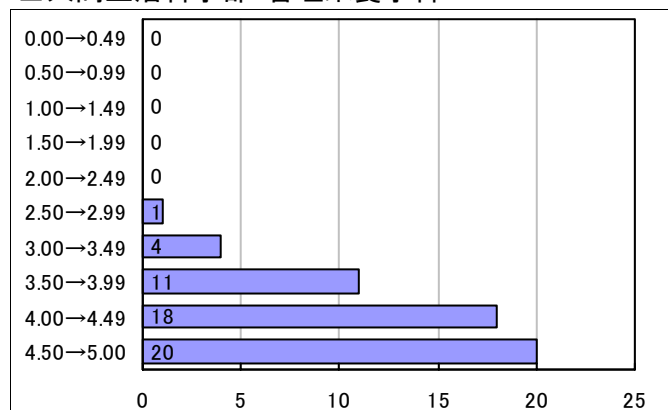
平均値 = 4.56

■経済学部



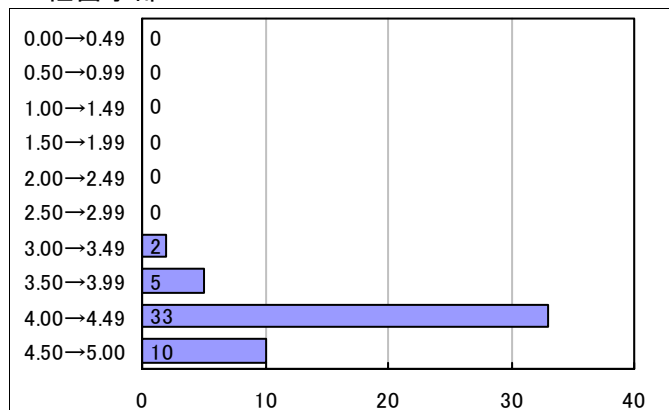
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



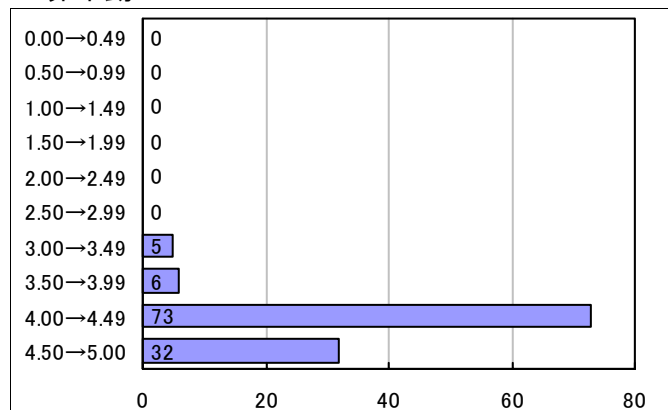
平均値 = 4.24

■経営学部



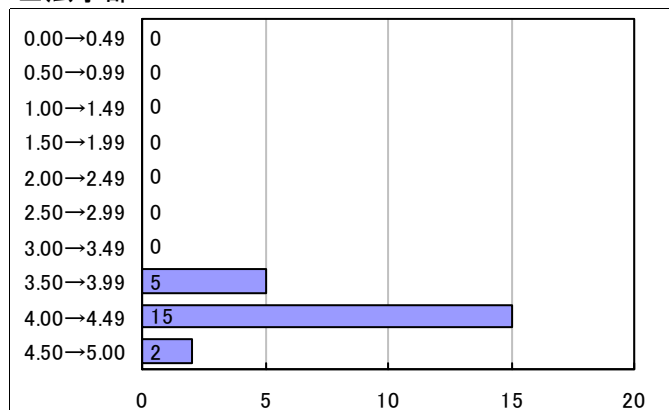
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.26

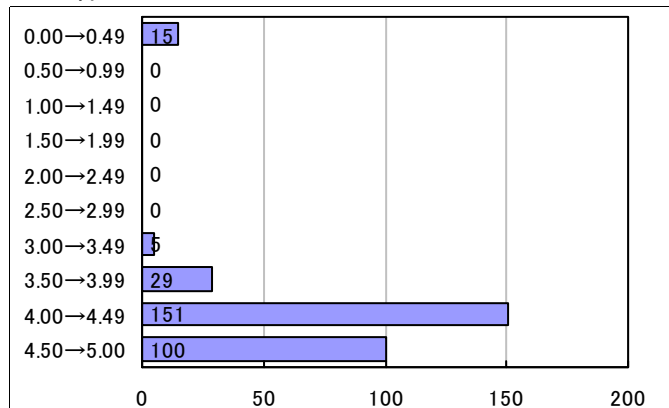
■法学部



平均値 = 4.19

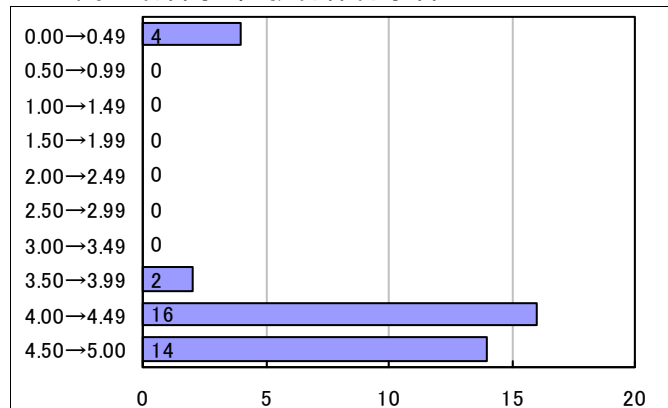
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



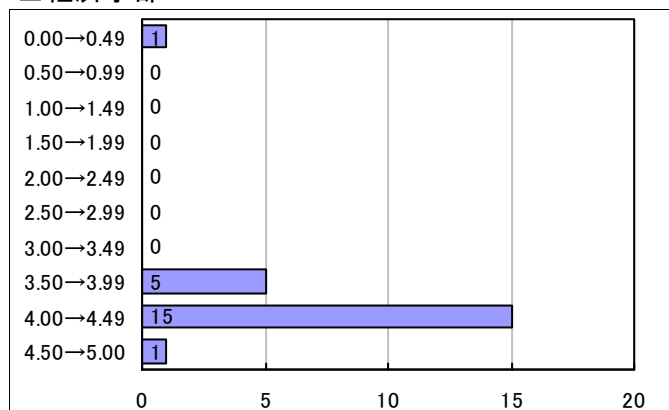
平均値 = 4.25

■人間生活科学部・教育保育学科



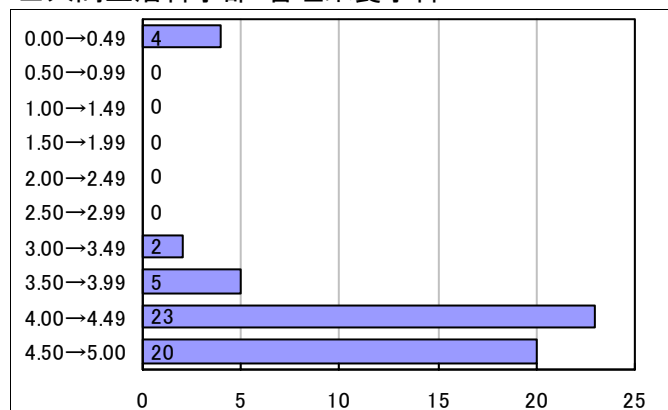
平均値 = 4.43

■経済学部



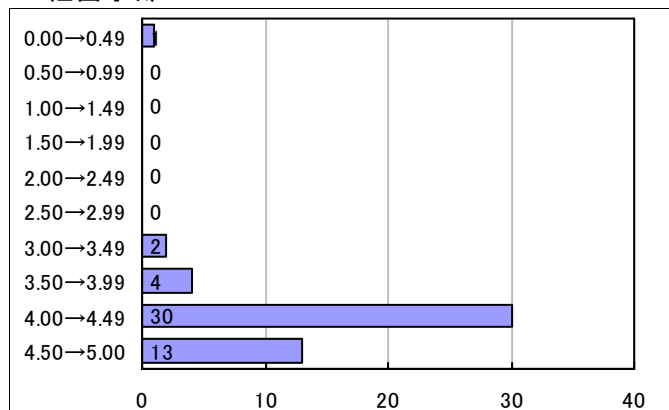
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



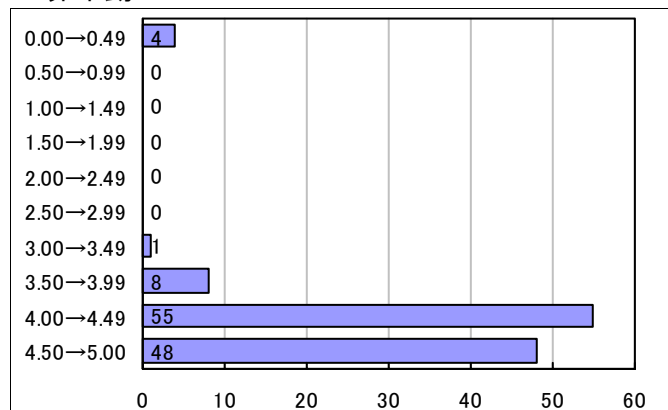
平均値 = 4.35

■経営学部



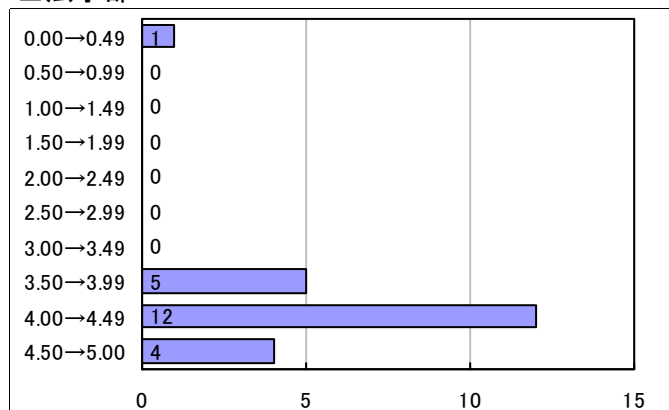
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.34

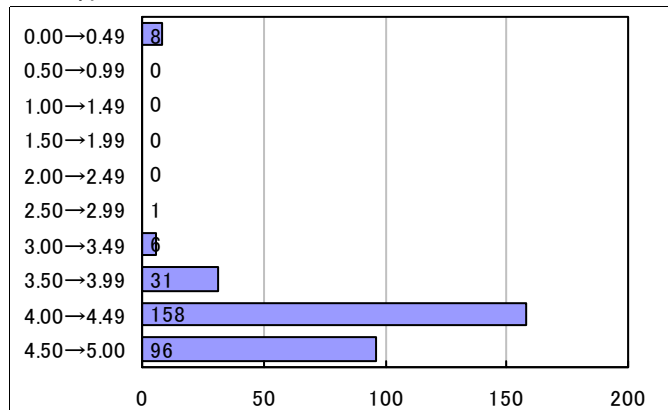
■法学部



平均値 = 4.16

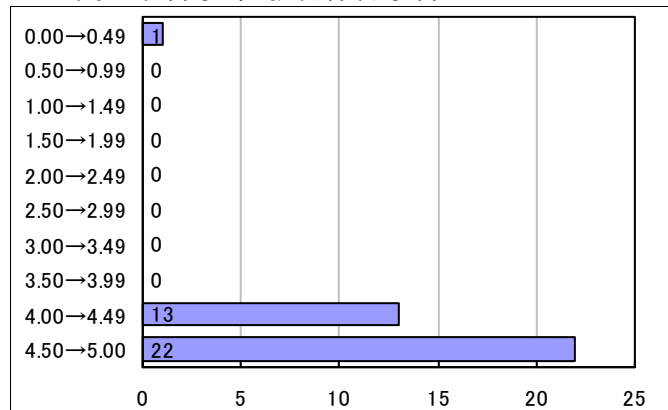
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



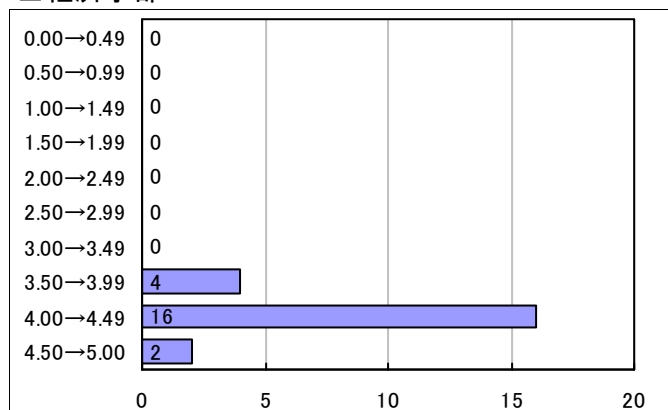
平均値 = 4.25

■人間生活科学部・教育保育学科



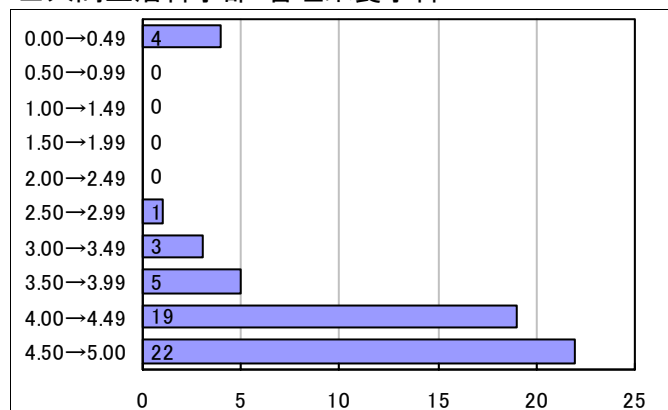
平均値 = 4.56

■経済学部



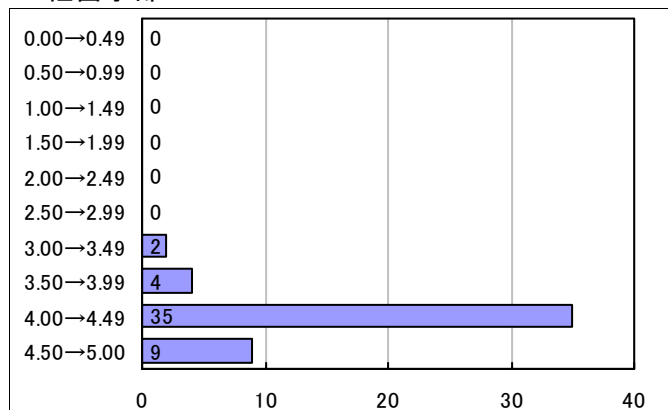
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・管理栄養学科



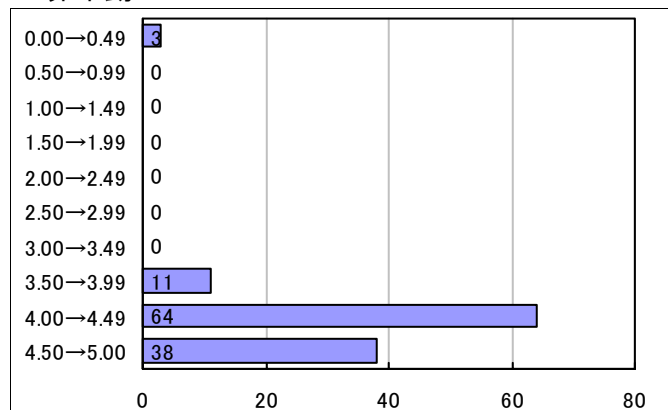
平均値 = 4.31

■経営学部



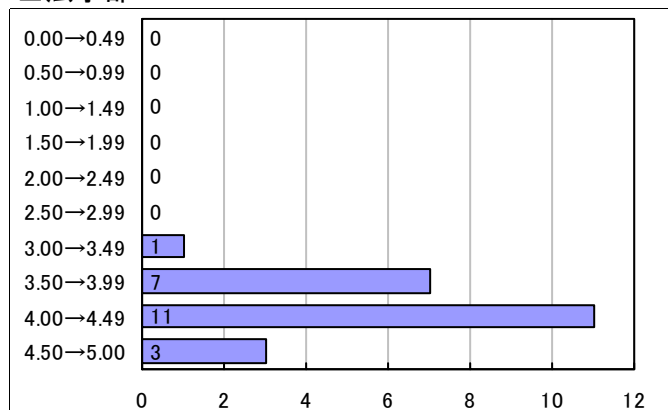
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.32

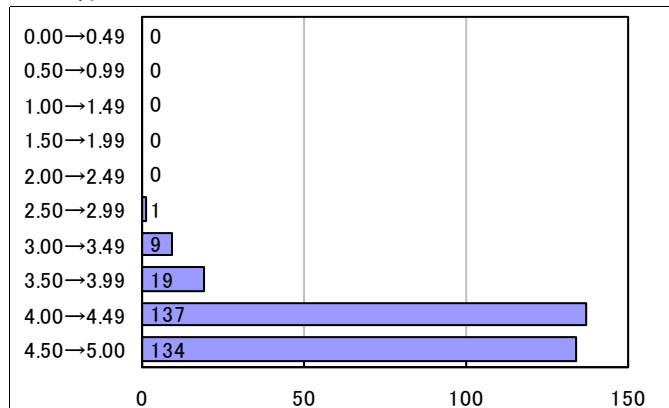
■法学部



平均値 = 4.14

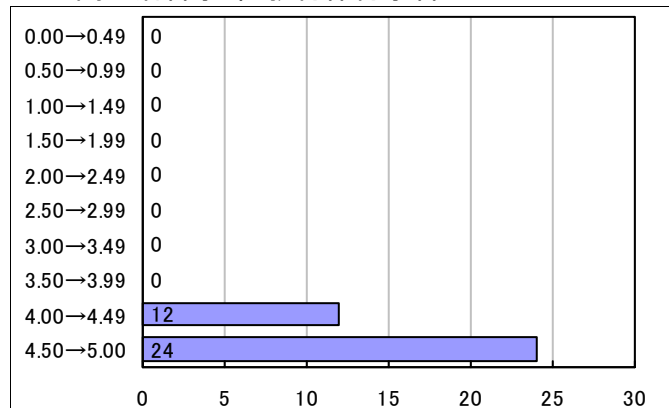
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



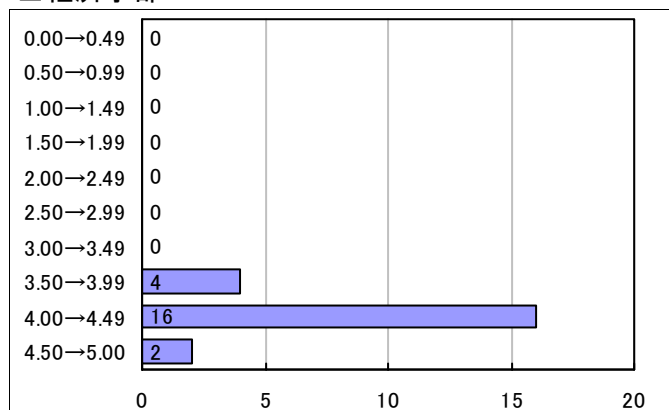
平均値 = 4.31

■人間生活科学部・教育保育学科



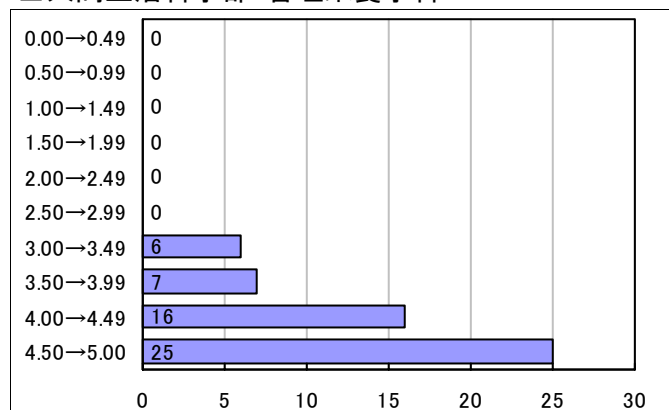
平均値 = 4.61

■経済学部



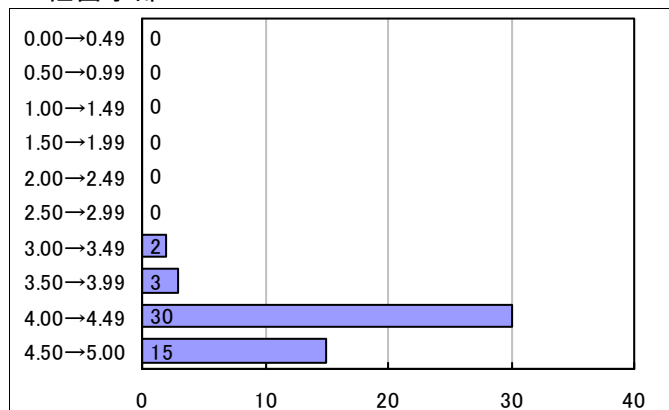
平均値 = 4.23

■人間生活科学部・管理栄養学科



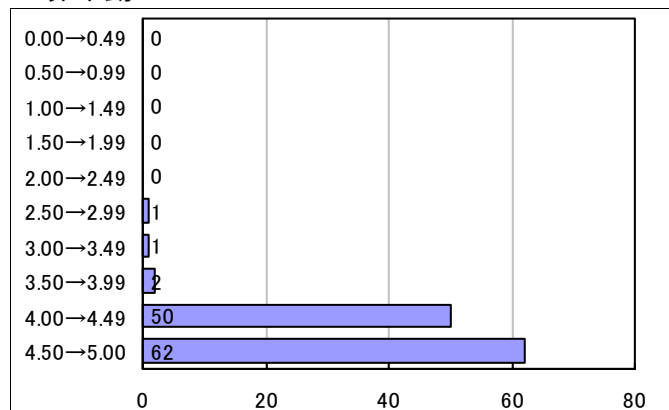
平均値 = 4.30

■経営学部



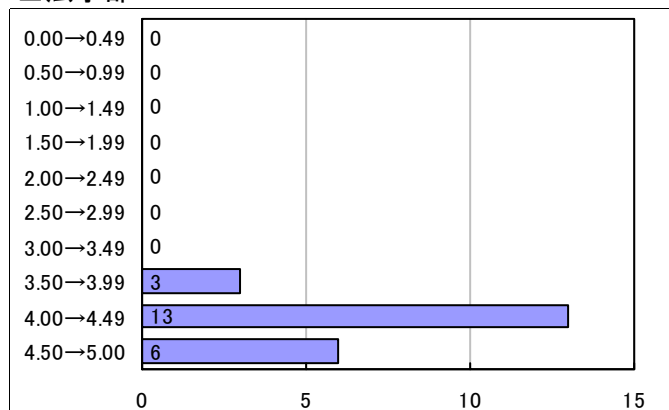
平均値 = 4.21

■非常勤



平均値 = 4.39

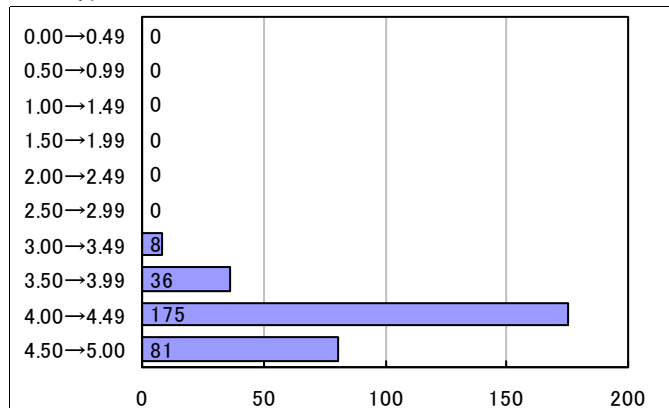
■法学部



平均値 = 4.28

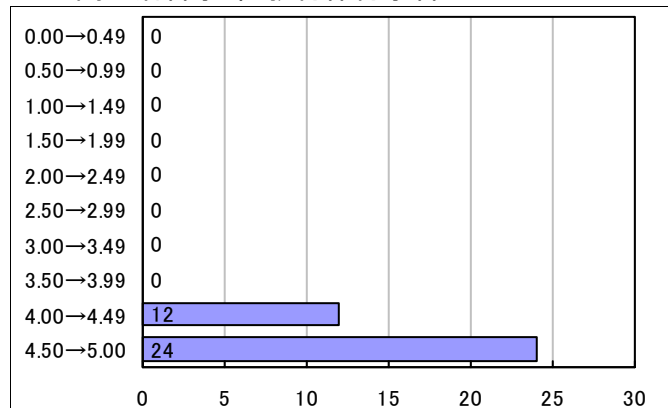
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



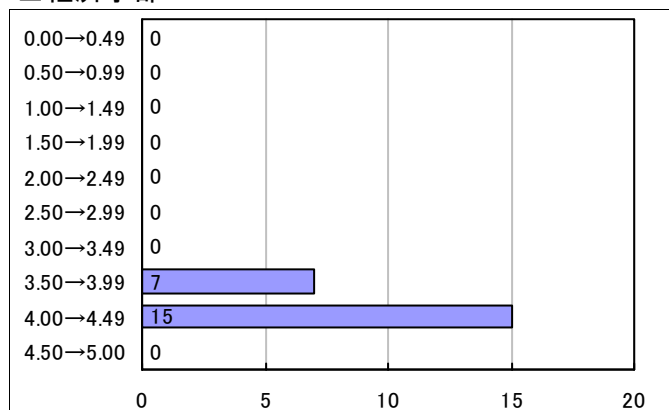
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・教育保育学科



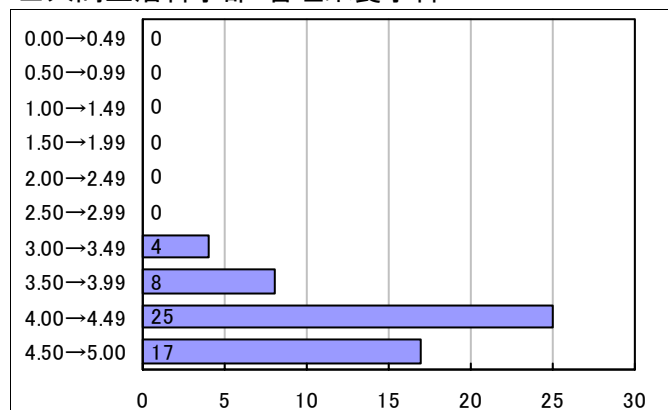
平均値 = 4.56

■経済学部



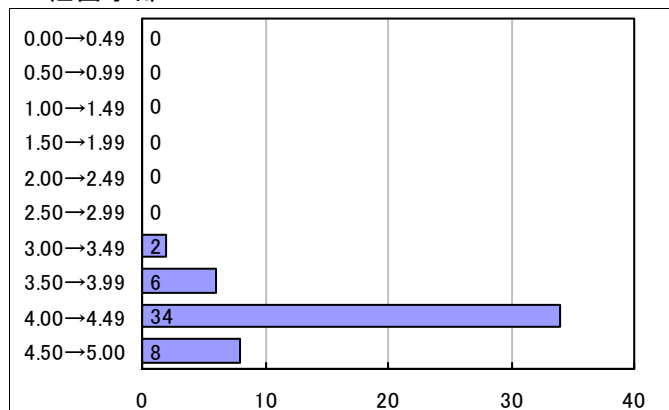
平均値 = 4.10

■人間生活科学部・管理栄養学科



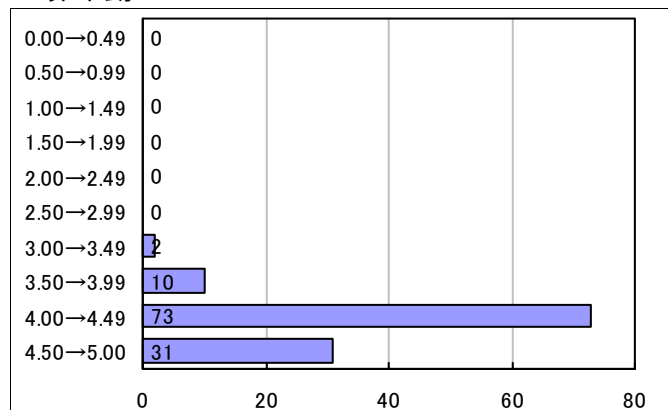
平均値 = 4.27

■経営学部



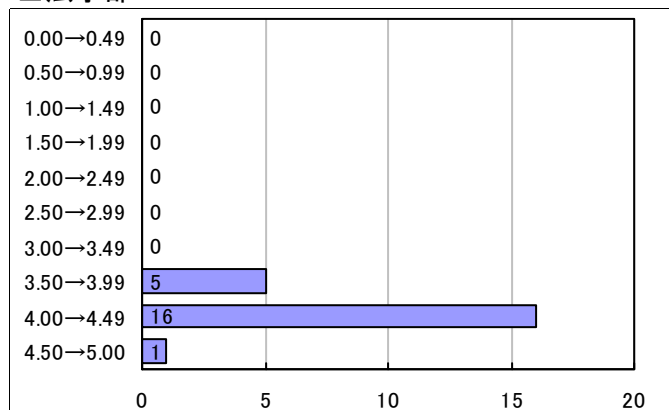
平均値 = 4.07

■非常勤



平均値 = 4.24

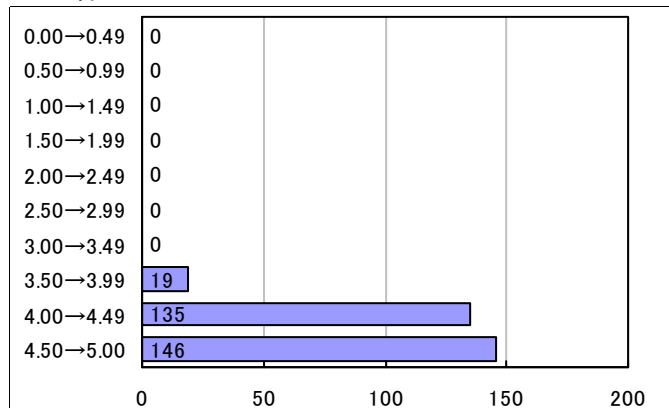
■法学部



平均値 = 4.16

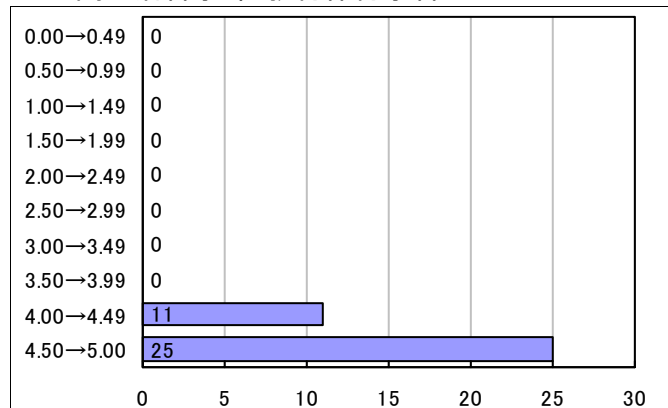
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



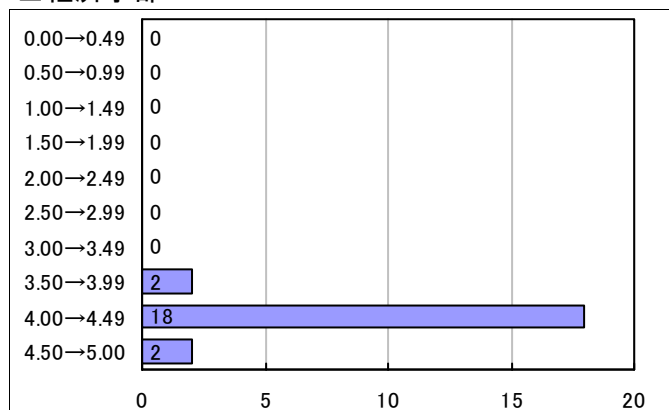
平均値 = 4.39

■人間生活科学部・教育保育学科



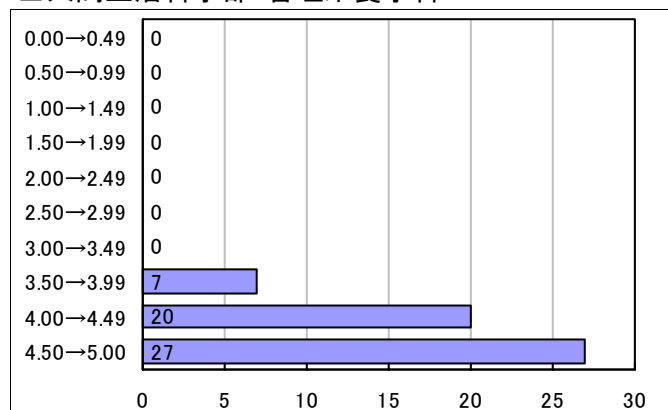
平均値 = 4.63

■経済学部



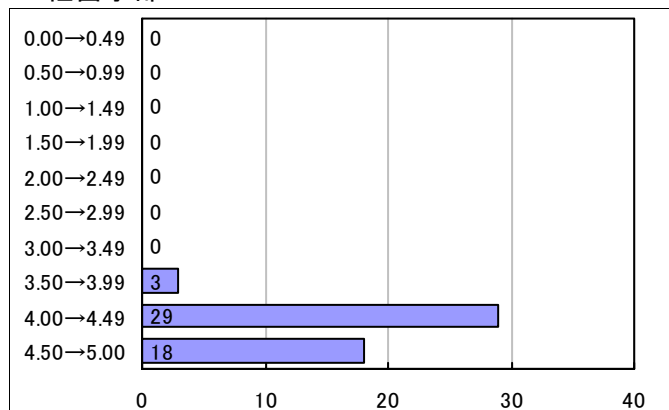
平均値 = 4.31

■人間生活科学部・管理栄養学科



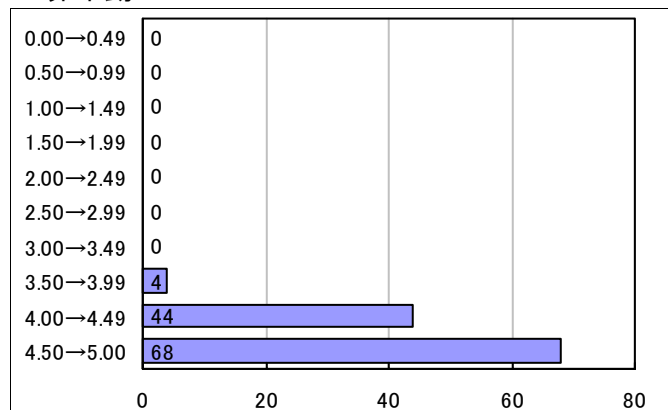
平均値 = 4.40

■経営学部



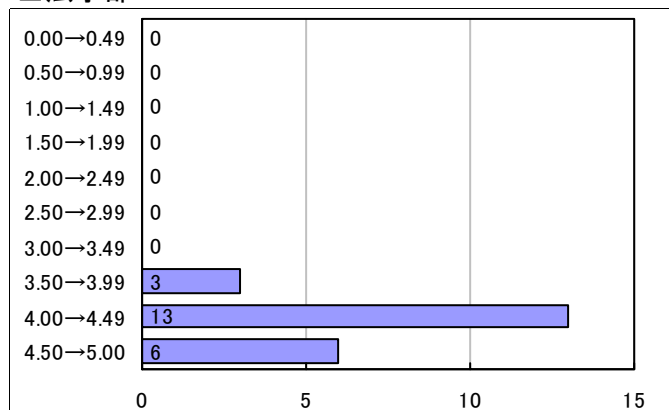
平均値 = 4.31

■非常勤



平均値 = 4.47

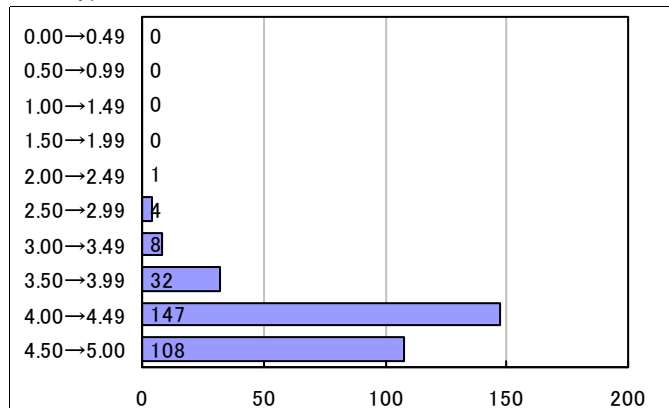
■法学部



平均値 = 4.31

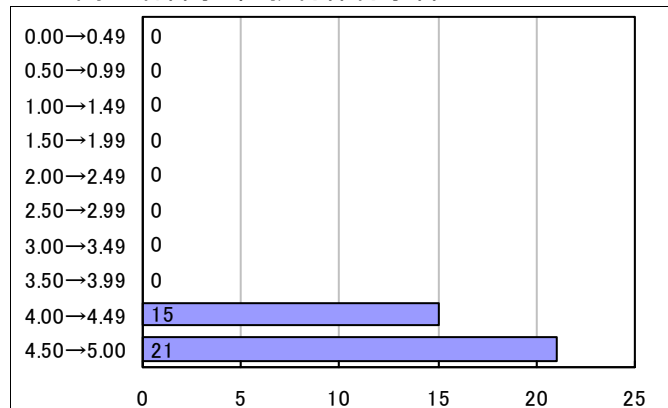
●13.この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

■全体



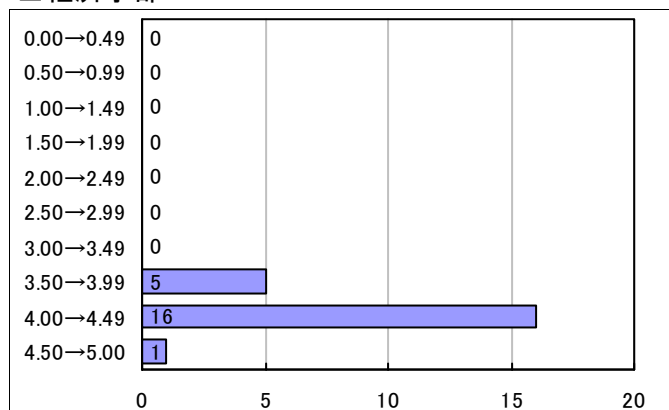
平均値 = 4.22

■人間生活科学部・教育保育学科



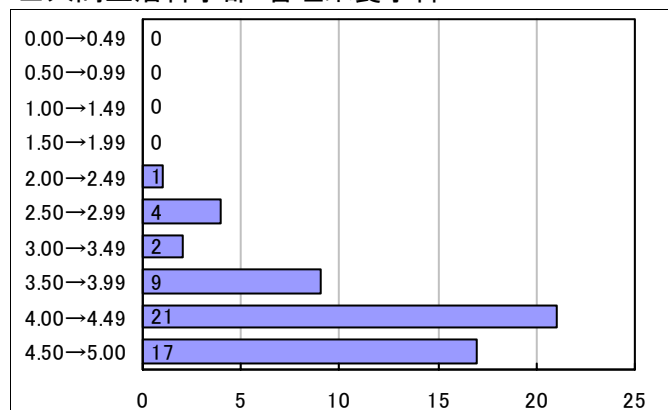
平均値 = 4.52

■経済学部



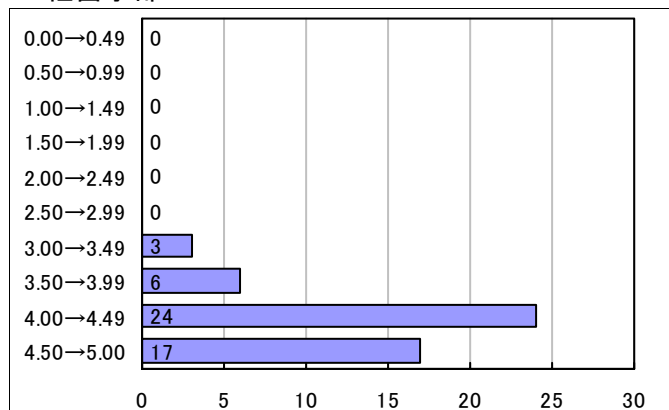
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



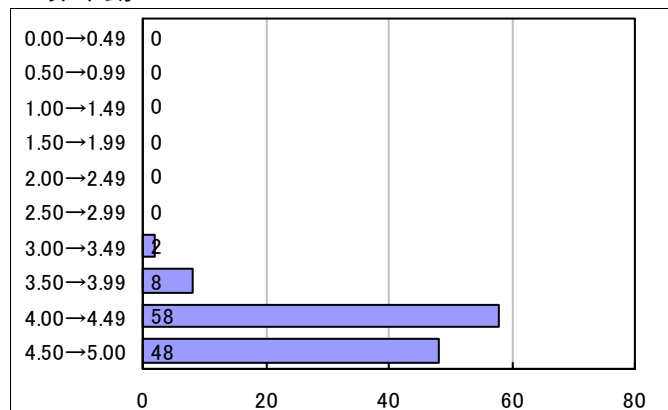
平均値 = 4.18

■経営学部



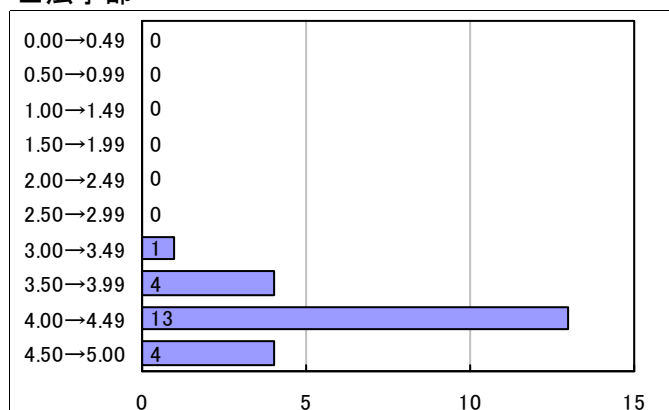
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.32

■法学部



平均値 = 4.19

2024 年度前期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2024 年度前期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2024 年度前期は、2023 年度前期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここでは、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけなどがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

6では設問11「授業の妨げに対する教員の対応」と設問4「授業内容のわかりやすさ」設問8「教科書・配布資料の活用」設問9「板書・スクリーン等の見やすさ」設問10「教員の声の聞き取りやすさ」についての資料をもとに相関について考察する。

表1に、2023 年度と 2024 年度の経済学部在籍学生数を示す。2024 年度は、2023 年度と在籍学生数は同数であるが、留学生が占める割合は約 30%程度増加している。

このことによって1年生の授業方法等の工夫が必要になってくるとと思われる。

表1 経済学部在籍学生数（2023 年度7月1日現在、及び2024 年7月1日現在）

	全て		留学生	
	2023	2024	2023	2024
1 年次	148	153	18	50
2 年次	165	140	18	14
3 年次	162	159	20	23
4 年次	158	181	25	21
合計	633	633	81	108

2. アンケート回答率

まず、表2に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表2 経済学部教員による開講科目の回答率（2023 年前期・2024 年前期の比較）

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (%) (F÷E)
経済学部	2023	3,656	3,656	1,998	54.65
	2024	3,548	3,548	1,879	52.96
全学	2023	18,510	18,389	12,022	65.38
	2024	18,742	18,742	11,715	62.51

経済学部では、授業評価アンケートの対象科目の回答率が2024年度前期は2023年度前期と比べ、1.7ポイント下がっているが、2023年度後期とはほぼ同じである。全学部においては62.51で2023年度前期より2.8ポイントも減少しているが、2023年度後期より2ポイント上昇している。

ただ、経済学部の回答率が他の学部到低く、アンケート実施当日の授業欠席率と関わりがあると推測される。学習意欲の低い学生の割合が増加し、欠席者が増加しているのではないかと考えられる。学生の出席率の向上のため、さらなる授業工夫が必要であると考ええる。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表3に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。

表3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2023前期 経済学部	2024前期 経済学部	2024前期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.05	4.00	4.09
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.99	4.05	4.17
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.28	4.30	4.38
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.12	4.07	4.17
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.03	4.08	4.18
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.16	4.18	4.29
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.08	4.14	4.21
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.11	4.15	4.25
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.11	4.19	4.25
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.14	4.23	4.31
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.07	4.10	4.19
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.25	4.31	4.39
13	この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）	4.04	4.13	4.22

経済学部についてみると、2023年前期の結果に比べ、設問1（出席について）と設問4（授業内容のわかりやすさ）の項目で評価がやや下がっている。この結果から、設問1については、教員として自主性を重んじつつも、欠席が続く学生に対しては早めの面談等を行い、出席を促すことも必要であると考

える。また、設問4については、これまで以上に学生の理解に配慮し、わかりやすさに努めるべきであり、そのためには現在の学生の特性や理解の仕方がどのようなものかに関心を寄せる必要があると言える。

基礎力の定着の講義も初年度教育の一環として行う必要があるのではないかと考える。また、留学生の割合が増加しているが、入学してくる学生の日本語力が低下しているように感じるので、初年度の留学生向けカリキュラムの検討も必要ではないかと考える。

経済学部としては、全般的に授業に対する評価は高くなっており、各授業の改善等の効果が出ていると言える。

4. 学生の属性別にみた結果

続いて、学生の属性別の結果を検討する。まず表4に、各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表4 経済学部教員開講科目における各設問ポイント平均値の、学生の属性別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	4.0	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1	4.4	4.2	4.2
留学生のみ	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5	4.4	4.2
留学生を除く	3.9	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1
スポーツ学生のみ	4.1	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4
スポーツ学生を除く	4.0	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1	4.4	4.2	4.2

表4から、この数年とは異なり留学生の回答が他の学生とほぼ変わらない。その要因としては、留学生の評価ポイントが平均で0.3下がっており、留学生への今まで以上の配慮が必要ではないかと考える。

また、スポーツ学生については多くの項目で評価が上がっており、平均では0.1上がっている。スポーツ学生は好きなことを学生生活の中心に置いているため、学生生活の満足度が高く、授業について前向きに取り組んでいるのではないかと考えられる。

次に、表5に、学年別の比較を示す。

表5 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1年生	4.4	4.2	4.4	4.2	4.2	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.3	4.4
2年生	3.9	4.1	4.4	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.4	4.1	4.2
3年生	4.0	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1
4年生	3.6	3.9	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1

各学年の得点について2023年度前期と比べ、0.1から0.2ポイント高くなっている。留学生のポイントは下がっているが、スポーツ学生が昨年に比べ高くなっており、全体の評価を挙げている。例年、4

年生になると評価が下がるが、今回の結果は3年生、4年生の評価ポイントが下がっておらず、少人数でのゼミや授業の工夫の効果であると考え。学年によって回答傾向の違いが2023年度は、設問1（出席したか）、設問2（意欲）、設問4（わかりやすいか）で出ていたが、今回の調査では顕著な傾向はなかった。

5. クラスサイズ別集計結果

次に、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均	全体
1～50人	3.8	4.5	4.0	4.5	4.8	4.7	4.7	4.7	4.3	4.4	4.3	4.8	4.7	4.5	4.4
51～100人	3.6	3.8	4.1	3.7	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9	4.1	3.8	3.8	4.2
101～150人	4.0	4.1	4.3	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2
151～200人	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2
201～250人	3.8	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.0
251～300人	4.1	3.8	4.0	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.6	4.1	3.6	3.8	4.2
301人以上	3.9	4.1	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2

経済学部でも全学部平均でもポイントが高かったのは1～50人のクラスの科目であった。少人数クラスの評価が高いことは明らかであるが、51人以上のクラスについても201～250人クラス以外はアンケート結果に大きな差はない。表における経済学部の平均はクラス数が少ないためデータとしてはあまり参考にならない。しかし、結果として言えることは、50人以下のクラス規模の授業は学生にとっても受講しやすいと思われる。

6. 設問11「授業の妨げに対する教員の対応」と設問4「授業のわかりやすさ」、設問8「教科書・配布資料の活用」、設問9「板書やスクリーン・モニターの見やすさ」、設問10「教員の声」の相関について

設問11で低い評価の学生については設問4、設問8、設問9、設問10の評価が低いわけではなく、分散した結果となっている。一方で設問11の評価が高い学生は設問4、設問8、設問9、設問10の評価が高い傾向にある。設問11の評価の高い学生は授業満足度が高く、ほとんどの設問で高い評価をつけていると考えられる。ただし、設問11の評価の高い学生のうち設問4についてはやや評価が低い学生の割合が大きい。「授業のわかりやすさ」の評価は全体の結果としてやや下がっており、要因はほかにあるのではないかと推測できる。

7. 専門共通基礎について

専門共通基礎Ⅰ・Ⅱについては、3学部学生全員が履修し、経済学部専門科目の入口となる科目であることから重要な科目である。また、学部別にクラスが分けられ、複数教員が分担する形式で開講されており、学生にとっての理解度や満足度にどのような影響を与えているか検討する必要がある。

表8に、経済学部専門共通基礎Ⅰ・Ⅱ科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較を示した。

表8 経済学部専門共通基礎Ⅰ・Ⅱ科目における、設問4「わかりやすさ」設問5「新しいものの見方」設問11「授業の妨げ」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較

科目名	対象	有効数	設問 04	設問 05	設問 11	教員
市民生活と経済 (済)(金2)	全学生	103	4.14	4.25	4.24	安部 伸哉 酒井 愛 佐藤 正之 佐藤 邦彦 木村 牧郎
	留学生のみ	31	3.97	4.00	4.06	
	留学生を除く	72	4.21	4.36	4.32	
	スポーツ学生のみ					
	スポーツ学生を除く					
市民生活と経済 (営)(金2)	全学生	107	3.97	4.10	4.13	ブ ティ ビック リエン 村山 徹 定森 亮 齋藤 敦 石川 啓雅
	留学生のみ	34	3.97	4.26	4.18	
	留学生を除く	73	3.97	4.03	4.11	
	スポーツ学生のみ	19	3.79	4.11	4.11	
	スポーツ学生を除く	88	4.01	4.10	4.14	
市民生活と経済 (法)(金2)	全学生	96	3.94	4.00	3.94	谷内 陽一
	留学生のみ	30	3.72	3.93	3.90	
	留学生を除く	66	4.03	4.03	3.95	
	スポーツ学生のみ	34	4.06	4.21	4.09	
	スポーツ学生を除く	62	3.87	3.89	3.85	
戦後日本経済の動き ①(木2)	全学生	98	4.34	4.24	4.38	安部 伸哉
	留学生のみ	12	4.50	4.58	4.67	
	留学生を除く	86	4.31	4.20	4.34	
	スポーツ学生のみ	5	4.40	4.00	4.20	
	スポーツ学生を除く	93	4.33	4.26	4.39	
戦後日本経済の動き ②(金1)	全学生	124	4.25	4.24	4.23	安部 伸哉
	留学生のみ	8	4.13	4.50	4.50	
	留学生を除く	116	4.26	4.22	4.21	
	スポーツ学生のみ	23	3.91	3.91	4.13	
	スポーツ学生を除く	101	4.33	4.31	4.25	

地域経済と産業① (水 3)	全学生	82	4.16	4.16	4.18	村山 徹 石川 啓雅
	留学生のみ	11	4.55	4.45	4.55	
	留学生を除く	71	4.10	4.11	4.13	
	スポーツ学生のみ	5	4.40	4.60	4.80	
	スポーツ学生を除く	77	4.14	4.13	4.14	
地域経済と産業② (水 3)	全学生	80	3.94	3.97	4.06	村山 徹 石川 啓雅
	留学生のみ	13	4.38	4.23	4.23	
	留学生を除く	67	3.85	3.92	4.03	
	スポーツ学生のみ	19	4.00	4.16	4.16	
	スポーツ学生を除く	61	3.92	3.92	4.03	

まず、専門共通基礎 I「市民生活と経済」の 3 つのクラスについて述べると、2023 年度はどの学部も傾向は変わらなかったが、2024 年度は学部ごとで多少結果に違いが出た。

経済学部では 2024 年度は 2023 年度よりどの項目も 0.15 程高くなっている。ただし、留学生の評価はどの設問も 0.2 下回っているのに対し、留学生以外の評価は昨年より 0.1 ほど高くなっている。留学生以外の評価が高くなったことは授業の工夫等の成果であると言える。

経営学部では 2024 年度は 2023 年度よりどの項目も 0.15 程低くなっている。特に留学生の設問 4「わかりやすさ」については 0.4 も評価が下がっており、留学生に対する授業の工夫が必要になってきていると言える。留学生以外の評価については 2023 年度と変化はない。

法学部では経済学部や経営学部と異なり、2023 年度と 2024 年度はほぼ同じ評価となっている。経済学部や経営学部より例年評価が低く、4 ポイントを下回っているが、スポーツ学生の評価だけは昨年度より 0.1 から 0.2 高くなっている。

次に、専門共通基礎 II「戦後日本経済の動き」「地域経済と産業」のそれぞれ 2 つのクラスについて述べる。①は経済学部向けクラス、②は他学部向けクラスである。2023 年度は経済学部の学生と他学部の学生のポイントはほぼ同じであったが、2024 年度は経済学部の学生の評価が他学部の評価よりどの設問も 0.1 から 0.2 高くなっている。また、3 学部とも 2024 年度は 2023 年度より 0.2 から 0.4 ほど高くなっている。

専門共通基礎 I、専門共通基礎 II ともに設問 4、設問 5、設問 11 についてはポイントの高低は一致しており、関連があるようである。ただ、専門共通基礎 I と専門共通基礎 II において留学生の評価ポイントが大きく異なっている。専門共通基礎 I は留学生の評価が昨年度より大幅に下がっているのに対し、専門共通基礎 II においては高くなっている。

設問 4 の専門共通基礎 II の評価は、専門共通基礎 I よりかなり高く、専門共通基礎 II の講義が専門共通基礎 I の参考になるのではないかと考える。

8. まとめ

2024 年度前期のアンケート結果は、経済学部においてほぼすべての項目で2 年続けてポイントが上がっており、教員の授業に対する改善や工夫の成果であると考ええる。一方で、学生の安易な欠席の増加、留学生の授業評価の低下は大きな問題であり、学部としても学生に対して今まで以上に学習意欲を引き出す授業の改善や工夫をし、「わかりやすい授業」の評価が上がるよう努める必要がある。また、留学生の入学割合の増加に対して授業の工夫だけでなく、留学生に対するカリキュラムの見直しを含めた教務的な対応の改革も必要であると思われる。

2024 年度前期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	18,742	18,742	11,715	62.51
経営学部	4,794	4,794	2,808	58.57

経営学部における授業評価アンケート対象科目である 50 科目すべての科目で実施がなされ、回収率は 100% であった。経営学部教員担当科目の回答率は 58.57% であり、全体平均 62.51% に比べ、3.94% 低かった。人間生活科学部の高い数値（教育保育学科：83.48%、管理栄養学科：84.08%）と比較すると低いものの、3 学部（経済学部：52.96%、法学部：55.32%）の中では一番高い数値であった。2023 年度前期における経営学部教員担当科目の回答率 65.34%（全体平均 65.38%）と比較すると 6.77% 低い数値であった。

2. 経営学部教員担当科目の平均値

設問	設問項目	2023 年度	2024 年度
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0	4.1
2	あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.3	4.3
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.1	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3	4.2
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.2	4.1
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.2

10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.2
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.1
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.3
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)	4.2	4.1

上表の集計データは、2023 年度前期と 2024 年度前期における経営学部教員担当科目の各設問項目の平均値をそれぞれ併記したものである。2024 年度前期の平均値を見ると、すべての設問で平均値 4.1 以上となっている。多くの設問で 2023 年度前期と同様の結果を示している。2023 年度前期の数値より上昇した設問（設問 1、2）は 2 項目であった。授業への出席や授業への意欲的な取り組みといった点が 2023 年度前期と比較して改善の傾向にあると考えられる。2023 年度前期の数値よりも低下した設問（設問 6、7、10、13）は 4 項目であった。教員の熱意、授業の速さや進め方、教員の声の聞き取りやすさといった点は今後改善が必要になると考えられる。また、エクセレントティーチャー選出のための設問についても 2023 年度前期の数値よりも低下していた。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

設問	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.0	4.4	3.9	3.8	4.0
2	4.1	4.4	4.1	4.0	4.2
3	4.3	4.4	4.3	4.1	4.3
4	4.1	4.3	4.1	4.0	4.1
5	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2
6	4.2	4.4	4.2	4.0	4.3
7	4.2	4.3	4.1	4.0	4.2
8	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2
9	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2
10	4.2	4.4	4.2	4.1	4.3
11	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2
12	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4

13	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2
----	-----	-----	-----	-----	-----

留学生はすべての設問において、4.3以上の高い数値を示している。一方、日本人学生（留学生を除く）はすべての設問において留学生より低い数値を示しており、設問1の授業への出席に関しては、2023年度前期同様、4.0未満の低い数値となった。これらのことから、授業への出席を促すことが必要である。

スポーツ学生のみに関しては、設問1については4.0未満となっており、授業への出席を促すことが必要である。設問1以外の設問においては4.0を超える結果となっている。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

設問	1～50 人	51～100 人	101～150 人	151～200 人	201～250 人
1	3.9	4.2	3.8	4.1	4.2
2	4.4	4.2	4.1	4.1	3.9
3	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1
4	4.5	4.2	4.1	4.0	3.7
5	4.5	4.2	4.1	4.1	3.8
6	4.6	4.3	4.2	4.2	4.0
7	4.5	4.2	4.2	4.1	3.8
8	4.5	4.3	4.2	4.1	4.1
9	4.5	4.3	4.2	4.1	3.8
10	4.5	4.3	4.2	4.2	4.0
11	4.4	4.2	4.1	4.0	3.8
12	4.5	4.4	4.3	4.2	4.3
13	4.5	4.3	4.0	4.0	3.8

※ 251～300 人、301 人以上は該当クラスなし。

※ 履修者数別の設問の中で、平均値 4.0 未満の数値を赤字表記。

上表は、経営学部教員担当科目の履修者数別の結果である。該当する授業数は、1～50 人で 15 授業、51～100 人で 15 授業、101～150 人で 8 授業、151～200 人で 7 授業、201～250 で 5 授業であった。平均して数値が一番高いのは 1～50 人規模の授業である。次に高いのは 51～100 人規模の授業であり、履修者数が多くなるにしたがって数値が低くなる傾向がみられる。特に、201～250 人規模の授業については 7 項目が 4.0 未満となった。

5. クロス集計について

下表は、設問 11「教室管理」と設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞き取りやすさ」の 4 つの設問のクロス集計の結果である。設問 11「教室管理」の数値が高ければ、設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞き取りやすさ」の数値も高い傾向がみられた。

＊「設問 11：教室管理」と「設問 4：わかりやすさ」

		設問 4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	2	3	1	1		
	5		816	198	44	8	3
	4		148	803	98	35	13
	3	1	39	148	248	33	3
	2		9	31	26	17	6
	1		9	4	9	8	44

＊「設問 11：教室管理」と「設問 8：教科書・配布資料の活用」

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	3		3			1
	5	28	880	120	35	5	1
	4	26	177	803	69	20	2
	3	23	65	138	228	16	2
	2	7	23	26	14	11	8
	1	2	11	9	4	4	44

＊「設問 11：教室管理」と「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	4	1	2			
	5		899	136	24	8	2

	4	2	165	824	78	27	1
	3	1	63	133	243	29	3
	2		17	27	23	20	2
	1		7	9	4	4	50

＊「設問 11：教室管理」と「設問 10：教員の声の聞き取りやすさ」

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	3	1	2		1	
	5	5	943	98	15	6	2
	4	5	200	809	53	25	5
	3		73	135	233	26	5
	2	1	24	29	16	14	5
	1		12	4	7	2	49

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の分析

	科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室管理
1	プレゼンテーション(木 2)	4. 67	4. 80 ②	4. 67 ②
2	(留)アカデミック日本語レベル 7(月 2)	4. 67	4. 67 ④	4. 80 ①
3	(留)日本事情 II(木 1)	4. 67	4. 67 ④	4. 63 ③
4	国際経済・ビジネス事情(金 3)	4. 60	4. 60 ⑥	4. 58 ⑤
5	ビジネス情報処理 I (金 3)	4. 57	4. 50 ⑩	4. 57 ⑥
6	メディア表現(木 1)	4. 56	4. 33	4. 28
7	情報(Word) (2) (金 2)	4. 55	4. 45	4. 18
8	(日)公務員・就職試験対策 I (SPI 含む) (火 2)	4. 54	4. 59 ⑦	4. 38
9	(留)日本事情 V(木 2)	4. 54	4. 54 ⑧	4. 54 ⑦
10	データ解析(水 3)	4. 48	4. 42	4. 35
11	英語リーディング (1)／英語リーディング (再) (1) (月 4)	4. 45		4. 41 ⑩
12	スキルアップ英語 I(A) (金 3)	4. 44		
13	スキルアップ英語 I(G) (金 4)	4. 44	4. 50 ⑩	4. 48 ⑨
14	英語ライティング(木 3)	4. 43	4. 52 ⑨	
15	プログラム入門(月 1)	4. 41	4. 74 ③	4. 62 ④

16	市民生活とキャリア形成(再 4) (月 1)	4. 40		4. 50 ⑧
17	情報リテラシー(営 2) (火 2)	4. 40		
18	簿記 II(製造業会計) (金 2)	4. 39		
19	(留)日本事情 I (火 2)	4. 38		
20	経営統計論(火 1)	4. 38		
21	市民生活とビジネス(済) (月 1)	4. 34		
22	キャリア支援講座 I(人間) (月 2)	4. 31		
23	キャリア支援講座 I(済) (水 3)	4. 30		
24	簿記 I(株式会社会計) (金 1)	4. 30		
25	(日)基礎力養成 I(B) (木 4)	4. 30		
26	トピック対策英語 I(1) (木 2)	4. 28		
27	地域調査(火 3. 火 4)	4. 27	4. 82 ①	
28	アジア史Ⅲ(月 3)	4. 25		
29	アジアの中の思想(木 3)	4. 24		
30	情報システムの世界(月 1)	4. 22		
31	経営情報論(月 1)	4. 21		
32	日本史(木 2)	4. 18		
33	会計と資金の経営学②(水 2)	4. 17		
34	会計と資金の経営学①(火 2)	4. 16		
35	人的資源管理論(水 2)	4. 14		
36	情報リテラシー(法 2)／情報リテラシー(再 1) (火 1)	4. 13		
37	環境共生の探究 I(金 2)	4. 12		
38	財務会計(水 1)	4. 12		
39	基本簿記(法)／基本簿記(法再) (月 2)	4. 07		
40	販売管理論(木 3)	4. 04		
41	市民生活とビジネス(営) (月 1)	4. 01		

上表では、設問 4「わかりやすさ」の評価値が 4.0 以上の科目を高い順に並べ、中央列に設問 5「新しいものの見方」、右列に設問 11「教室管理」の評価値が高い上位 10 科目について丸囲み数字でその順番を示した。設問 4 の評価値上位 10 科目における設問 4 に対する評価値と設問 5 に対する評価値の相関係数は約 0.80 であり、高い相関が認められる。また、設問 4 の評価値上位 10 科目における設問 4 に対する評価値と設問 11 に対する評価値の相関係数は約 0.78 であり、こちらも高い相関が認められる。なお、設問 4「わかりやすさ」の評価値が 4.0 以上の科目は 50 科目中 41 科目（82%）であった。この割合は 2023 年度前期（55 科目中 47 科目：85%）に比べ約 3%低下した。

*** 設問5「新しいものの見方」結果**

	科目名	評価
1	地域調査(火3,火4)	4.82
2	プレゼンテーション(木2)	4.80
3	プログラム入門(月1)	4.74
4	(留)アカデミック日本語レベル7(月2)	4.67
5	(留)日本事情II(木1)	4.67
6	国際経済・ビジネス事情(金3)	4.60
7	(日)公務員・就職試験対策I(SPI含む)(火2)	4.59
8	(留)日本事情V(木2)	4.54
9	英語ライティング(木3)	4.52
10	スキルアップ英語I(G)(金4)	4.50
11	ビジネス情報処理I(金3)	4.50
12	情報(Word)(2)(金2)	4.45
13	データ解析(水3)	4.42
14	(留)日本事情I(火2)	4.38
15	情報リテラシー(営2)(火2)	4.37
16	英語ライティング(1)/英語ライティング(再)(1)(月4)	4.36
17	トピック対策英語I(1)(木2)	4.36
18	キャリア支援講座I(済)(水3)	4.35
19	キャリア支援講座I(人間)(月2)	4.35
20	メディア表現(木1)	4.33
21	情報システムの世界(月1)	4.33
22	市民生活とビジネス(済)(月1)	4.24
23	アジアの中の思想(木3)	4.24
24	経営統計論(火1)	4.23
25	アジア史Ⅲ(月3)	4.21
26	市民生活とキャリア形成(再4)(月1)	4.20
27	経営情報論(月1)	4.19
28	会計と資金の経営学②(水2)	4.17
29	(日)基礎力養成I(B)(木4)	4.16
30	簿記I(株式会社会計)(金1)	4.16
31	簿記II(製造業会計)(金2)	4.16
32	会計と資金の経営学①(火2)	4.15
33	情報リテラシー(法2)/情報リテラシー(再1)(火1)	4.15

34	環境共生の探究 I (金 2)	4. 15
35	人的資源管理論 (水 2)	4. 12
36	日本史 (木 2)	4. 09
37	市民生活とビジネス (営) (月 1)	4. 06
38	市民生活とビジネス (法) (月 1)	4. 03
39	財務会計 (水 1)	4. 00
40	スキルアップ英語 I (A) (金 3)	4. 00
41	情報リテラシー (済 2) (木 2)	4. 00
42	販売管理論 (木 3)	4. 00

設問 5「新しいものの見方」において評価値が 4.0 以上の科目は 50 科目中 42 科目（84%）であった。これは 2023 年度前期（55 科目中 46 科目：84%）とほぼ同じ割合であった。

* 設問 11「教室管理」の結果

	科目	評価
1	(留)アカデミック日本語レベル 7 (月 2)	4. 80
2	プレゼンテーション (木 2)	4. 67
3	(留)日本事情 II (木 1)	4. 63
4	プログラム入門 (月 1)	4. 62
5	国際経済・ビジネス事情 (金 3)	4. 58
6	ビジネス情報処理 I (金 3)	4. 57
7	(留)日本事情 V (木 2)	4. 54
8	市民生活とキャリア形成 (再 4) (月 1)	4. 50
9	スキルアップ英語 I (G) (金 4)	4. 48
10	英語リーディング (1) / 英語リーディング (再) (1) (月 4)	4. 41
11	英語ライティング (木 3)	4. 38
12	(日)公務員・就職試験対策 I (SPI 含む) (火 2)	4. 38
13	データ解析 (水 3)	4. 35
14	スキルアップ英語 I (A) (金 3)	4. 31
15	(日)基礎力養成 I (B) (木 4)	4. 31
16	メディア表現 (木 1)	4. 28
17	アジアの中の思想 (木 3)	4. 28
18	市民生活とビジネス (済) (月 1)	4. 27
19	情報リテラシー (営 2) (火 2)	4. 27
20	会計と資金の経営学① (火 2)	4. 26

21	キャリア支援講座Ⅰ(人間)(月 2)	4. 23
22	アジア史Ⅲ(月 3)	4. 21
23	キャリア支援講座Ⅰ(済)(水 3)	4. 20
24	会計と資金の経営学②(水 2)	4. 20
25	情報システムの世界(月 1)	4. 19
26	情報(Word)(2)(金 2)	4. 18
27	地域調査(火 3. 火 4)	4. 18
28	簿記Ⅱ(製造業会計)(金 2)	4. 18
29	人的資源管理論(水 2)	4. 14
30	経営統計論(火 1)	4. 13
31	日本の文化と社会(金 4)	4. 09
32	簿記Ⅰ(株式会社会計)(金 1)	4. 09
33	トピック対策英語Ⅰ(1)(木 2)	4. 08
34	販売管理論(木 3)	4. 07
35	情報リテラシー(済 2)(木 2)	4. 06
36	経営情報論(月 1)	4. 05
37	市民生活とビジネス(営)(月 1)	4. 04
38	情報リテラシー(法 2)／情報リテラシー(再 1)(火 1)	4. 03
39	日本史(木 2)	4. 03
40	基本簿記(法)／基本簿記(法再)(月 2)	4. 02
41	財務会計(水 1)	4. 01
42	(留)日本事情Ⅰ(火 2)	4. 00

設問 11「教室管理」において評価値が 4.0 以上の科目は 50 科目中 42 科目（84%）であった。これは 2023 年度前期（55 科目中 47 科目：85%）とほぼ同じ割合であった。

「わかりやすさ」については 2023 年度前期よりもやや低下し、「新しいものの見方」、「教室管理」については 2023 年度前期とほぼ同じ評価であった。「新しいものの見方」、「教室管理」については、学生および教員双方の努力によって継続してこのような結果を得ることができていると考えられる。その一方で、「わかりやすさ」については授業において配慮する必要があると考えられる。今後のアンケート結果を注視していきたい。

7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅰ、Ⅱについて

* 専門共通基礎Ⅰ

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	123	市民生活とビジネス(済)(月 1)	4. 34	4. 24	4. 27
留学生のみ	40		4. 45	4. 33	4. 31
留学生を除く	83		4. 29	4. 20	4. 25
スポーツ学生のみ	7		4. 29	4. 29	4. 14
スポーツ学生を除く	116		4. 34	4. 24	4. 28
全学生	124	市民生活とビジネス(営)(月 1)	4. 01	4. 06	4. 04
留学生のみ	31		4. 06	4. 26	4. 10
留学生を除く	93		3. 99	3. 99	4. 02
スポーツ学生のみ	24		3. 96	4. 04	4. 05
スポーツ学生を除く	100		4. 02	4. 06	4. 04
全学生	104	市民生活とビジネス(法)(月 1)	3. 89	4. 03	3. 96
留学生のみ	42		3. 95	4. 12	4. 00
留学生を除く	62		3. 85	3. 97	3. 94
スポーツ学生のみ	33		4. 06	4. 12	4. 06
スポーツ学生を除く	71		3. 82	3. 99	3. 92

オムニバス科目として、経済学部向けクラスでは「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」において、対象「スポーツ学生のみ」における「教室管理」に対する評価を除き、大学全体の平均評価値を上回った。経営学部向けクラスでは、対象「留学生のみ」における「新しいものの見方」に対する評価は大学全体の平均評価値を上回ったが、それ以外では大学全体の平均評価値に到達しなかった。法学部向けクラスにおいては、「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」いずれにおいても大学全体の平均評価値に到達しなかった。

経済学部向けクラスでは、すべての学生において「わかりやすさ」の評価値が特に高かった。

経営学部向けクラスでは、留学生以外の学生において「わかりやすさ」、「新しいものの見方」の評価値がやや低かった。引き続き教員による分かりやすい講義および日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。

法学部向けクラスでは、留学生以外の学生やスポーツ学生以外の学生において「わかりやすさ」の評価値が低かった。経営学部向けクラスと同様、引き続き教員による分かりやすい講義および日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。

*** 専門共通基礎Ⅱ**

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	110	会計と資金の経営学①(火 2)	4. 16	4. 15	4. 26
留学生のみ	19		4. 42	4. 26	4. 32
留学生を除く	91		4. 11	4. 13	4. 25
スポーツ学生のみ	7		4. 43	4. 57	4. 43
スポーツ学生を除く	103		4. 15	4. 13	4. 25
全学生	76	会計と資金の経営学②(水 2)	4. 17	4. 17	4. 20
留学生のみ	6		4. 33	4. 67	4. 50
留学生を除く	70		4. 16	4. 13	4. 17
スポーツ学生のみ	13		4. 38	4. 62	4. 62
スポーツ学生を除く	63		4. 13	4. 08	4. 11

— 「会計と資金の経営学」①（経営学部必修）

経営学部全学生における「わかりやすさ」、「新しいものの見方」の評価値はそれぞれ 4. 16、4. 15 であり、2023 年度前期の 4. 01、4. 02 に比べてやや上昇した。「教室管理」の評価値は 4. 26 であり、2023 年度前期の 4. 05 から上昇した。いずれも対象「スポーツ学生のみ」においては他の学生に比べて評価が高かった。

— 「会計と資金の経営学」②（経済・法学部選択）

「会計と資金の経営学」①同様に、全学生における「わかりやすさ」、「新しいものの見方」の評価値はそれぞれ 4. 17 であり、いずれも 2023 年度前期の 4. 10、4. 03 に比べてやや上昇した。留学生、スポーツ学生においては他学生に比べていずれもやや高い評価値であった。

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	134	商品と流通の経営学①(火 4)	3. 25	3. 57	3. 60
留学生のみ	15		3. 80	4. 13	3. 60
留学生を除く	119		3. 18	3. 50	3. 60
スポーツ学生のみ	17		3. 00	3. 00	3. 12
スポーツ学生を除く	117		3. 28	3. 65	3. 67
全学生	103	商品と流通の経営学②(木 1)	3. 08	3. 58	3. 48
留学生のみ	6		3. 83	4. 50	4. 50
留学生を除く	97		3. 03	3. 53	3. 41
スポーツ学生のみ	19		3. 68	4. 16	4. 16
スポーツ学生を除く	84		2. 94	3. 45	3. 32

—「商品と流通の経営学」①（経営学部必修）

経営学部全学生における「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目の評価値は3.25～3.60であり、大学全体の平均評価値を下回った。特に日本人学生にとって低い評価値となっており、教員による分かりやすい講義および日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。なお、留学生においては日本人学生に比べて相対的に評価が高かった。

—「商品と流通の経営学」②（経済・法学部選択）

全学生における「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目の評価値は3.08～3.58であり、大学全体の平均評価値を下回った。「商品と流通の経営学」①と同様に、特に日本人学生にとって低い評価値となっており、教員による分かりやすい講義および日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。なお、留学生やスポーツ学生においては他の学生に比べて3項目の評価が高くなった。

2024 年度前期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	3,169	3,169	1,753	55.32
【全体】	18,742	18,742	11,715	62.51

法学部の専任教員担当科目のうち 22 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 55.32%と、前年度後期より 5.29 ポイント下落した。全体と比べて低い数値にはなっており、大きく下落してしまったので、今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.2

前年度後期の結果と比較すると、いくつかの項目で、ポイント上昇している。項目 5, 6, 7, 11 である。低下した項目はひとつも見られなかった。昨年度も多く項目で上昇が見られたので、中長期的に改善、上昇が見られると言ってよいだろう。これらの成果を項目 1 の学生の出席率向上に結び付けたい。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	4.0	4.3	3.9	3.9	3.6
2	あなたは予習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.4	4.5	4.4	4.3	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	74.7	72.8	76.1	75.9	74.7

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.7	4.2	3.8	3.7	3.7
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	4.2	4.1	4.0	4.2
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.5	4.4	4.1	4.5
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.2	4.2	4.0	4.3
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.2	4.2	4.0	4.3
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.3	4.3	4.1	4.4
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.2	4.2	4.0	4.3
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.1	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.4	4.2	4.0	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.2	4.1	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.3	4.1	4.0	4.3
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.5	4.2	4.1	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.3	4.1	4.1	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	66.0	59.5	70.6	77.6	67.0

まず、学生全体について、設問毎にみると、設問 1 (学生の授業出席) の数値が低いですが、昨年度と大きな変化が見られない。しかし、4 年生が昨年度と比較すると全体的に低い数値になっているため、就職支援活動に影響を与えないような指導・支援が必要になる。

次に、スポーツ学生について、特に 1 年生が多く項目で大きな上昇が見られた。全学生と比較しても高い項目が少なくないため積極的な姿勢と態度が伺える。今後の成長に結び付けていきたい。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.6	3.8	3.9	4.1	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.2	4.2	4.0	4.2	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかだと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.6	4.5	4.3	4.3	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.6	4.3	4.1	4.2	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.5	4.5	4.2	4.3	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.3	4.1	4.2	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.6	4.4	4.1	4.1	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	4.2	4.0	4.2	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.2	4.3	4.1
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	3.7	4.4	4.2	4.4	4.2
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.1	4.4	4.0	4.3	4.0

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1～50 名規模のものが 1、51～100 名規模のものが 3、101～150 名規模のものが 8、151～200 名規模のものが 7、201～250 名規模のものが 2 である。

大規模履修者と小規模履修者と見比べても大きな変容は見られず、おおよそ項目で 4.0 以上を維持している。大規模履修者数の授業でも創意工夫により改善の成果がある程度現れているとみていいだろう

5 授業のわかりやすさ（設問 4）及び新しいものの見方（設問 5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
政治の世界(木 4)	4.66	4.66①
歴史との対話(水 3)	4.65	4.57③
(日)公務員・就職試験基礎力養成Ⅱ(SPI 含む)(火 3)	4.53	4.35⑥
西洋史(木 3)	4.51	4.51④
情報と法(木 4)	4.41	4.42⑤
刑法総論(金 1)	4.25	4.58②
債権各論(火 2)	4.21	4.17
知的財産法(金 4)	4.20	4.29⑧
裁判と法②(水 2)	4.18	4.32⑦
国際社会と法①(火 2)	4.15	4.26⑨
市民生活と法(営)(水 2)	4.11	4.15
市民生活と法(法)(水 2)	4.09	4.18⑩
裁判と法①(水 2)	4.08	4.06
市民生活と法(済)(水 2)	4.02	4.17
租税法(金 3)	4.01	3.89
国際社会と法②(火 1)	4.00	4.07
企業と法①(水 1)	4.00	4.11
行政法総論(水 1)	3.93	3.97
企業と法②(水 1)	3.89	4.02
民法総則(火 1)	3.81	3.87
商法(金 1)	3.80	3.85
刑法各論(金 2)	3.40	3.60

上の表では、授業のわかりやすさ（設問 4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問 5）の値が高い上位 10 科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問 4 の値が高い科目と設問 5 の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
政治の世界(木 4)	4.64
(日)公務員・就職試験基礎力養成	4.48
歴史との対話(水 3)	4.43
情報と法(木 4)	4.40
西洋史(木 3)	4.38
刑法総論(金 1)	4.33
知的財産法(金 4)	4.33
裁判と法②(水 2)	4.32
国際社会と法①(火 2)	4.22
債権各論(火 2)	4.21

授業及び教室管理について、高評価順に 10 科目を示すと、左記の通りである。

2023年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	24	24	100.00	24	100.00
経営学部	55	55	100.00	55	100.00
法学部	27	27	100.00	27	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	41	41	100.00	41	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	49	49	100.00	49	100.00
非常勤	95	91	95.79	91	100.00
【全体】	291	287	98.63	287	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,656	3,656	1,998	54.65
経営学部	4,532	4,532	2,961	65.34
法学部	3,602	3,602	2,183	60.61
人間生活科学部・教育保育学科	1,140	1,140	920	80.70
人間生活科学部・管理栄養学科	1,624	1,624	1,403	86.39
非常勤	3,956	3,835	2,557	66.68
【全体】	18,510	18,389	12,022	65.38

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	3	3	3			
		5	1	558	136	28	5	
		4	1	71	474	75	16	5
		3	1	21	97	166	25	2
		2		5	17	11	9	3
		1		2	3	6		6
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	3	4	2			
		5	46	541	108	26	6	1
		4	13	94	461	62	7	5
		3	5	27	91	170	16	3
		2		7	19	8	8	3
		1		1	2	4	2	8
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	3	3	1	2		
		5		592	92	32	10	2
		4	1	70	493	57	14	7
		3		24	88	184	16	
		2		6	15	12	9	3
		1		1	2	1	3	10
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4	3	1		1	
		5	1	634	71	18	4	
		4	1	115	478	41	6	1
		3	1	48	85	165	12	1
		2		12	15	10	6	2
		1		2	7	1	2	5

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問4、設問8、設問9、設問 10 とで行なわれている。今年度前期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	99	市民生活と法(済)(水2)	4.02	4.17	4.02
留学生のみ	33		3.79	4.15	3.88
留学生を除く	66		4.14	4.18	4.09
スポーツ学生のみ	5		4.40	4.60	4.20
スポーツ学生を除く	94		4.00	4.15	4.01
全学生	130	市民生活と法(営)(水2)	4.11	4.15	4.15
留学生のみ	37		4.24	4.35	4.38
留学生を除く	93		4.05	4.08	4.06
スポーツ学生のみ	28		3.82	3.79	3.79
スポーツ学生を除く	102		4.19	4.25	4.25
全学生	112	市民生活と法(法)(水2)	4.09	4.18	4.11
留学生のみ	41		3.83	4.20	4.20
留学生を除く	71		4.24	4.17	4.06
スポーツ学生のみ	39		4.23	4.23	4.26
スポーツ学生を除く	73		4.01	4.15	4.03

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）
専門共通基礎Ⅱ

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	64	企業と法①(水1)	4.00	4.11	4.00
留学生のみ	9		4.11	4.22	4.11
留学生を除く	55		3.98	4.09	3.98
スポーツ学生のみ	23		4.09	4.35	4.04
スポーツ学生を除く	41		3.95	3.98	3.98
全学生	98	企業と法②(水1)	3.89	4.02	4.06
留学生のみ	14		3.86	4.14	4.14
留学生を除く	84		3.89	4.00	4.05
スポーツ学生のみ	7		4.29	4.57	4.71
スポーツ学生を除く	91		3.86	3.98	4.01
全学生	88	裁判と法①(水2)	4.08	4.06	3.98
留学生のみ	9		4.22	4.22	4.33
留学生を除く	79		4.06	4.04	3.94
スポーツ学生のみ	36		4.03	3.94	3.91
スポーツ学生を除く	52		4.12	4.14	4.02
全学生	34	裁判と法②(水2)	4.18	4.32	4.32
留学生のみ	6		4.33	4.50	4.33
留学生を除く	28		4.14	4.29	4.32
全学生	74	国際社会と法①(火2)	4.15	4.26	4.22
留学生のみ	6		3.83	3.83	3.83
留学生を除く	68		4.18	4.29	4.25
スポーツ学生のみ	28		3.82	3.96	4.04
スポーツ学生を除く	46		4.35	4.43	4.33
全学生	135	国際社会と法②(火1)	4.00	4.07	4.05
留学生のみ	23		4.17	4.26	4.09
留学生を除く	112		3.96	4.04	4.04
スポーツ学生のみ	16		4.25	4.19	4.19
スポーツ学生を除く	119		3.97	4.06	4.03

今学期前期の専門共通基礎Ⅰは、「市民生活と法（済）」「市民生活と法（営）」「市民生活と法（法）」が分析の対象となっている。「市民生活と法」では、留学生と全学生との差異は大きくなく、全体的に満足度が高くなっている。これまでは、スポーツ学生と全学生に比較的差異が見られることもあったが、大きな差異は認められなかった。

専門共通基礎Ⅱについては、「企業と法」「裁判と法」「国際社会と法」が分析の対象となっている。それぞれの科目の①が科目設置学部学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。いずれの科目においても、全体的に留学生で平均値が高い傾向になっている。これまでに比べて、スポーツ学生の満足度が高まっていることが認められる。

2024 年度前期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科 FD 委員

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは 36 科目について行われた。学生の回答率は約 84%であった。大学全体の回答率は約 63%であり、本学科の回答率は高いといえる(表 1)。

【表 1】

所属	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数(F)	回答率(F/E)
教保	1,047	1,047	874	83.48
全体	18,742	18,742	11,715	62.51

2. 本学科の教員担当科目の概要

【表 2】

所属/設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全体	4.09	4.17	4.38	4.17	4.18	4.29	4.21	4.25	4.25	4.31	4.19	4.39	4.22
教保	4.28	4.5	4.62	4.52	4.55	4.6	4.56	4.43	4.56	4.61	4.56	4.63	4.52

※設問

- あなたはこの授業によく出席しましたか
- あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
- この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること
- 授業内容はわかりやすかったと思いますか
- この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
- 教員の教え方には熱意があったと思いますか
- 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
- 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
- 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
- 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
- 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
- 教員は授業時間を守っていたと思いますか
- この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

表 2 から、全ての設問について全体平均を上回り、相対的に高いポイントとなっている。とりわけ設問 1 (出席) および 8 (資料活用) を除き、全て 4.5 以上であり、最も高い評価(= 5)が多数を占めていることが分かる。その中で特に高い設問は 3 (シラバス)、6 (熱意)、10 (声量) および 12 (時間) など、授業内容に直接関わるものではないが、適切な進行や講師に対する評価について、それぞれ 4.6 以上となっている。授業内容および内容理解に関する項目(設問 3、4)も 4.5 を超えており、十分に高いといえる。

3. 「クロス集計」(授業管理)結果

【表3】

		設問4						設問8						設問9						設問10						
		無回答	5	4	3	2	1	無回答	5	4	3	2	1	無回答	5	4	3	2	1	無回答	5	4	3	2	1	
設 問 1 1	無回答		1					無回答	1					無回答		1				無回答		1				
	5		491	47	7	1		5	65	415	36	24	1	5	5	9	504	28	4	1	5	1	524	17	2	1
	4		34	222	21	2		4	27	27	203	16	2	4	4		39	224	14	2		4	51	216	12	
	3		5	12	25		1	3	6	4	7	24	1	1	3	1	8	8	24	2		3	10	14	19	
	2			1				2			1				2			1			2			1		
	1						4	1	1				3	1						4	1				4	

授業管理に関する設問のクロス集計結果は表3のとおりである。表中の網掛け部のとおり、適切な授業環境の維持と、授業理解、資料活用、板書・スクリーン活用および声量に関する設問とのあいだに相関性があることがわかる。

4. 「学生視点」集計結果

(1) 学年別

【表4】

設問	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.3	4.2	3.9
2	4.6	4.3	4.4	4.4
3	4.7	4.4	4.5	4.7
4	4.7	4.3	4.3	4.4
5	4.7	4.3	4.3	4.4
6	4.7	4.5	4.3	4.6
7	4.6	4.4	4.3	4.4
8	4.6	4.1	4.3	4.5
9	4.7	4.3	4.3	4.5
10	4.8	4.5	4.4	4.6
11	4.7	4.4	4.3	4.4
12	4.8	4.5	4.3	4.6
13	4.7	4.3	4.3	4.4
平均	4.7	4.4	4.3	4.4

学年別の結果を4.5以上の数値を網掛けで示した(表4参照。ただし科目等履修生、所属不明者のデータを除く)。全学年をとおしてみると設問3(シラバス)および10(声量)のポイントが相対的に高い。ただし、設問E(シラバス理解)の回答結果は「はい」79件(66.4%)、「いいえ」40件(33.6%)であり、設問3の回答率自体が回答者全体の66.4%であることに留意を要する。また、4年の設問1(出席)を除き、全設問の回答で4点台となった。

学年別にみた際、1年生のポイントが相対的に高く、設問1を除く全設問の回答が4.5以上となっている。1年生のポイントが高い傾向は、過年度においても同様の結果がみられるが、少なくとも昨年度(4.4-4.6)よりもポイントが高く(4.4-4.8)なっている。なお、このことは上級学年になるとポイントが下がることを意味しており、例年の分析において実習開始によるモチベーシ

ョン低下が指摘されている。五月雨式に学生が抜け、授業の継続性が遮断される中で、全ての履修者に対して十分なフォローをすることは難しく、そもそも2、3年生の結果は十分に高い数値であるといえるが、理論(座学)と実践(実習)の往還こそが教育学・保育学の修得において重要であることを学生に意識づけさせ、理解させること、そして実習での学びと各授業内容をつなげる工夫をすることなどが必要と考えられる。

(2) スポーツ推薦入学の学生

「スポーツ学生」を分類基準とした学年別の結果は表5のとおりである。4.0未満の数値を明朝斜体で示した。平均値をみると、全体ではスポーツ学生が高く、1年および3年でスポーツ学生が高く、そして2年および4年で一般学生が高くなった(網掛け部参照)。学年ごとに数値の傾向が異なること、また昨年度の結果を比較した場合、例えば2年ではスポーツ学生の方が高かったこと(おおよそ、スポーツ：一般＝4点台後半：4点台前半)などから、本データのみからの考察は難しい。例えば、昨年度数値の高かった「2年スポーツ学生」が、今回「3年スポーツ学生」においても相対的に数値が高いことから、授業・教員側の要因よりも学生側の要因に起因した結果である可能性は考えられる。しかし、昨年度高かった「1年スポーツ学生」が、今回「2年スポーツ学生」において数値が低いことは、上記(1)の分析が当てはまり、2年次における部活・実習・授業の三者が鼎立しているような状況が推測できる。一方で同じく実習のある3年次におい

てはスポーツ学生の評価が相対的に高いことから、やはり本結果から何らかの分析結果を示すことは難しい。
 そもそも、授業評価アンケートは全体の結果は平均値でしかなく、個別の事情までは反映されないことは言うまでもないため、数値に囚われることなく、各学生の状況に応じた授業内・授業外での学習支援やモチベーションのフォローが必要であろう。

【表 5】

設問	全体		1年		2年		3年		4年	
	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生
1	4.2	4.3	4.3	4.5	4.0	4.4	4.2	4.2	3.6	3.9
2	4.5	4.5	4.7	4.6	3.8	4.4	4.8	4.4	4.3	4.4
3	4.7	4.6	4.8	4.7	4.0	4.5	4.7	4.5	4.4	4.7
4	4.6	4.4	4.7	4.7	4.0	4.3	4.7	4.3	4.3	4.4
5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.1	4.4	4.6	4.3	4.2	4.5
6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.1	4.6	4.7	4.3	4.5	4.6
7	4.6	4.5	4.7	4.6	4.0	4.4	4.7	4.3	4.0	4.5
8	4.5	4.4	4.6	4.5	4.0	4.2	4.6	4.3	4.1	4.5
9	4.6	4.5	4.7	4.7	4.0	4.3	4.6	4.3	4.1	4.5
10	4.7	4.6	4.8	4.8	4.3	4.5	4.7	4.4	4.2	4.6
11	4.6	4.5	4.7	4.7	4.1	4.5	4.7	4.3	4.0	4.5
12	4.7	4.6	4.8	4.7	4.1	4.5	4.4	4.3	4.3	4.6
13	4.5	4.4	4.7	4.7	3.9	4.3	4.7	4.3	3.9	4.4
平均	4.6	4.5	4.7	4.6	4.0	4.4	4.6	4.3	4.1	4.5
件数	322	808	256	284	40	201	15	212	11	110

2024 年度前期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

実施予定 54 科目の全てが実施され回収率は 100%であった。回答率は 84.08%で、全体の回答率 62.51%よりも高い回答率であった。また、2023 年度前期の回答率 86.39%と比べて約 2 ポイント低かった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
人間生活科学部・管理栄養学科	54	54	100.00	1,658	1,658	1,394	84.08
【全体】	300	300	100.00	18,742	18,742	11,715	62.51

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについて(2022 年度前期との比較)

設 問	内 容	2024年度前期		2023年度前期	
		管理栄養学科	全体	管理栄養学科	全体
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.35	4.09	4.45	4.06
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか	4.18	4.17	4.19	4.09
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.56	4.38	4.55	4.35
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.16	4.17	4.18	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.15	4.18	4.19	4.14
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.28	4.29	4.28	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.24	4.21	4.18	4.18
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.35	4.25	4.26	4.21
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.31	4.25	4.24	4.19
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.30	4.31	4.25	4.27
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.27	4.19	4.21	4.16
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.40	4.39	4.36	4.34
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)	4.18	4.22	4.16	4.16
	全平均値	4.29	4.24	4.27	4.20

2023 年度前期と比較し、いずれの質問の平均ポイント大きな変化はみとめられなかった。

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

設問	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
1	468	4.6	489	4.2	490	4.3	98	3.9
2	469	4.2	489	4.2	492	4.1	98	4.2
3	165	4.5	284	4.6	202	4.6	48	4.4
4	469	4.1	489	4.2	492	4.0	98	4.3
5	467	4.2	450	4.3	490	4.0	97	4.3
6	469	4.3	487	4.3	490	4.2	97	4.4
7	469	4.2	490	4.3	492	4.1	98	4.4
8	433	4.3	478	4.3	433	4.3	96	4.4
9	432	4.3	450	4.3	491	4.2	97	4.4
10	468	4.4	489	4.3	491	4.2	98	4.5
11	469	4.3	489	4.3	492	4.1	97	4.4
12	469	4.5	490	4.4	492	4.3	98	4.5
13	469	4.2	484	4.3	488	4.0	97	4.3
平均	440	4.3	466	4.3	464	4.2	94	4.3

出席率は4年生で若干低かったが、就職活動によるものが原因と考えられた。

「設問 4: わかりやすさ」「設問 5: 新しいものの見方」が 3 年生で少し低い傾向にあった。

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1 年生	2 年生	3 年生	平均	1 年生	2 年生	3 年生	平均
1	4.4	4.6	4.2	4.4	4.7	4.2	4.3	4.4
2	4.1	4.7	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.1
3	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5
4	4.1	4.6	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0	4.1
5	4.1	4.6	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0	4.1
6	4.3	4.7	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2
7	4.2	4.7	4.3	4.4	4.2	4.3	4.1	4.2
8	4.3	4.7	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
9	4.3	4.7	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3
10	4.4	4.6	4.4	4.4	4.4	4.3	4.1	4.3
11	4.3	4.7	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1	4.2
12	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4
13	4.3	4.6	4.3	4.4	4.2	4.2	4.0	4.1
平均	4.3	4.6	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3

1年生と3年生の学年において、非スポーツ学生とスポーツ学生の間で、いずれの設問も顕著な差は見られなかった。2年生でスポーツ学生の方が非スポーツ学生よりいずれの設問もポイントが高い傾向がみられた。

4. 「設問4:授業内容のわかりやすさ」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生	科目	平均	1組	2組	2年生	科目	平均	1組	2組
	食品学実験Ⅰ	4.78	4.80	4.76		栄養調理学実習	4.53	4.36	4.71
	食品学Ⅰ	4.46	4.57	4.35		給食経営管理論Ⅰ	4.4	4.27	4.52
	調理学	4.4	4.53	4.27		食品衛生学実習Ⅰ	4.34	4.19	4.50
	調理科学実験	4.3	3.79	4.80		応用栄養学Ⅰ	4.23	3.94	4.52
	健康管理論	4.23	4.33	4.13		平均	4.22	4.03	4.42
	平均	4.07	4.11	4.03					

3年生	科目	平均	1組	2組	4年生	科目	平均	1組	2組
	栄養教育論Ⅱ	4.61	4.66	4.57		臨床栄養学演習	4.52	4.58	4.46
	栄養教育論実習Ⅱ	4.53	4.58	4.48					
	臨床栄養学Ⅱ	4.43	4.41	4.44					
	臨床栄養学実習Ⅰ	4.4	4.65	4.14					
	公衆衛生学Ⅰ	4.37	4.50	4.23					
	平均	3.95	4.03	3.86					

1年生では、1組の平均ポイントが 4.11 と、2組の平均ポイントが 4.03 と比較して、少し高い傾向を示した。しかし、科目によっては、2組よりも1組のポイントの方が高い科目がみられた。2年生では、1組の平均ポイントが 4.03 に比較し、2組の平均ポイントが 4.42 と著明に高い傾向をしめした。科目によって1組と2組のポイント差が大きく 1.0 近く差があるものもあった。

5. 「設問5:新しいものの見方や考え方」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生	科目	平均	1組	2組	2年生	科目	平均	1組	2組
	食品学実験Ⅰ	4.66	4.75	4.57		栄養調理学実習	4.53	4.35	4.71
	食品学Ⅰ	4.49	4.67	4.30		給食経営管理論Ⅰ	4.44	4.19	4.70
	調理学	4.47	4.58	4.36		食品衛生学実習Ⅰ	4.38	4.22	4.54
	健康管理論	4.17	4.30	4.04		応用栄養学Ⅰ	4.25	3.97	4.52
	平均	4.12	4.25	3.99		平均	4.25	4.05	4.45

3年生	科目	平均	1組	2組	4年生	科目	平均	1組	2組
	栄養教育論Ⅱ	4.56	4.66	4.46		臨床栄養学演習	4.52	4.46	4.58
	栄養教育論実習Ⅱ	4.49	4.54	4.44					
	臨床栄養学実習Ⅰ	4.41	4.62	4.21					
	公衆衛生学Ⅰ	4.27	4.35	4.20					
	臨床栄養学Ⅱ	4.26	4.32	4.21					
	平均	3.91	3.96	3.86					

1年生では、1組のポイント4.25と2組のポイント3.99よりも高い傾向にあった。2年生では、1組の平均ポイントが4.05に比較し、2組の平均ポイントが4.45と著明に高い傾向をしめし、「設問4：授業内容のわかりやすさ」と同様の傾向をしめした。

6. 「設問11：教室管理」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生	科目	平均	1組	2組	2年生	科目	平均	1組	2組
	食品学実験Ⅰ	4.71	4.80	4.62		栄養調理学実習	4.48	4.27	4.70
	食品学Ⅰ	4.51	4.67	4.35		食品衛生学実習Ⅰ	4.48	4.33	4.63
	調理学	4.51	4.53	4.50		基礎栄養学Ⅰ	4.39	4.19	4.59
	調理科学実験	4.49	4.13	4.85		給食経営管理論Ⅰ	4.38	4.12	4.65
	健康管理論	4.47	4.47	4.48		応用栄養学Ⅰ	4.35	4.13	4.57
	平均	4.31	4.38	4.24		平均	4.32	4.13	4.51

3年生	科目	平均	1組	2組	4年生	科目	平均	1組	2組
	栄養教育論Ⅱ	4.62	4.63	4.61		臨床栄養学演習	4.45	4.46	4.44
	栄養教育論実習Ⅱ	4.57	4.69	4.44					
	臨床栄養学実習Ⅰ	4.49	4.58	4.41					
	臨床栄養学Ⅱ	4.39	4.41	4.37					
	公衆衛生学Ⅰ	4.24	4.35	4.13					
	平均	4.1	4.15	4.05					

1年生と3年生では平均ポイントが上位にきている科目はおおむね、「設問4：授業内容のわかりやすさ」で平均ポイントが上位にくる傾向がみられ、「設問11：教室管理」と「設問4：授業内容のわかりやすさ」の間には、ある程度関連性があることが推測された。しかし、2年生では平均ポイントが上位にきている科目と「設問4：授業内容のわかりやすさ」で平均ポイントが上位にきている科目が必ずしも一致しておらず、「設問11：教室管理」は、「設問4：授業内容のわかりやすさ」や「設問5：新しいものの見方や考え方」以外の別の要因も関連していると思われる。

7. 「設問 13:授業の教え方」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生	科目	平均	1組	2組	2年生	科目	平均	1組	2組
	食品学実験Ⅰ	4.78	4.75	4.81		栄養調理学実習	4.51	4.32	4.71
	食品学Ⅰ	4.71	4.86	4.57		食品衛生学実習Ⅰ	4.46	4.37	4.54
	健康管理論	4.44	4.40	4.48		基礎栄養学Ⅰ	4.41	4.19	4.63
	調理学	4.42	4.47	4.36		給食経営管理論Ⅰ	4.38	4.19	4.57
	調理科学実験	4.4	4.00	4.80		食品衛生学Ⅰ	4.36	4.26	4.46
	平均	4.12	4.17	4.08		応用栄養学Ⅰ	4.25	3.97	4.52
						平均	4.25	4.06	4.44

3年生	科目	平均	1組	2組	4年生	科目	平均	1組	2組
	栄養教育論Ⅱ	4.62	4.70	4.54		臨床栄養学演習	4.46	4.50	4.42
	栄養教育論実習Ⅱ	4.57	4.65	4.48					
	臨床栄養学演習	4.46	4.50	4.42					
	臨床栄養学Ⅱ	4.45	4.41	4.48					
	公衆衛生学Ⅰ	4.42	4.54	4.30					
	平均	3.95	4.00	3.90					

1年生、2年生、3年生で平均ポイントが上位にきている科目はおおむね、「設問4:授業内容のわかりやすさ」、「設問5:新しいものの見方や考え方」、「設問11:教室管理」で平均ポイントが上位にきている傾向がみられ、「設問4:授業内容のわかりやすさ」、「設問5:新しいものの見方や考え方」、「設問11:教室管理」が「授業の教え方」の高評価につながっていることが推測された。

8. 「設問 11:教室管理」に対する各設問のクロス集計

		設問 4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし		1	1			
	5	1	562	84	20	3	4
	4		57	376	48	17	1
	3	1	8	33	99	14	13
	2		2	3	3	12	5
	1					3	23

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし		1	1			
	5	24	596	43	8	1	2
	4	26	67	381	18	6	1
	3	18	15	33	94	5	3
	2	6		4	7	7	1
	1	12		3			11

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし		1	1			
	5	39	591	31	10	1	2
	4	28	76	364	28	3	
	3	9	12	38	100	3	6
	2	2	2		6	11	4
	1	2		2	2	1	19

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし		2				
	5		632	32	4	2	4
	4	2	76	390	22	8	1
	3	1	15	38	98	10	6
	2		2	2	4	13	4
	1			2	2	2	20

「設問 11:教室管理」が高いと、「設問 4:授業内容のわかりやすさ」、「設問 8:教科書・配布資料の活用」、「設問 9:板書、スクリーン・モニターの見やすさ」、「設問 10:声の聞き取りやすさ」も高く、関連性が認められた。授業内容のわかりやすさはもちろんのことであるが、教科書・配布資料の活用、板書やスクリーン・モニターの見やすさ、声の聞き取りやすさなどを改善することによって、「設問 11:教室管理」を上げることができると考えられる。

9. 考察

回答率は全体より高かったが、2023 年度の前期よりも回答率は低かった。「設問 2: 学習意欲」は 2023 年度と変わりはないかった。

クラス間(1組と2組)で評価ポイントに差が生じたのは 2023 年度と同様であった。毎年のものであるが、新しく入学生が入ると1組と2組のクラス間で理解度にある程度差が出てしまうことが予想される。最初に理解度に差が出ないように、1組と2組のクラスに振り分けるなどの対応が必要になってくるかもしれないと思われた。

また、教員側が、「設問 4: 授業内容のわかりやすさ」を改善するのはそう簡単ではないと思われるが、「設問 8: 教科書・配布資料の活用」、「設問 9: 板書、スクリーン・モニターの見やすさ」、「設問 10: 声の聞き取りやすさ」を改善することはそれほど難しいことではないのではないかと考えられ、これらを改善することから始めて教育の質をあげていくことが重要ではないかと考えられた。

2024 年度後期「学生による授業評価アンケート」結果報告

2024 年度名古屋経済大学 FD 委員会

2020 年度に新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったマークシート方式でのアンケートを 2022 年度から再開し、その後、この方針を継続して本年度も実施した。

また、本学では 2022 年度から、次の科目を除く全ての科目に授業評価アンケートの対象を拡大して実施している。

(対象除外科目)

- ・必修演習科目
- ・教育実習等の学外実習科目
- ・オンデマンド科目
- ・履修者 10 名以下の科目。

今年度後期の専任教員担当授業と非常勤講師担当授業での授業評価アンケート実施率は昨年度及び今年度前期に引き続き全学部・学科で 100%(282/282)に達した。また専任教員による授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出率は 98%(164/166)であった。

後期は 282 科目で授業評価アンケートを実施し、それぞれの結果について学部学科ごとに分析し、コメントを作成して教授会に報告した。実施科目の個別結果と考察は学内ウェブページに掲載した。

なお一昨年度にアンケートの質問の一部を次のように修正した。目的は質問に多義性が生じないようにするためであり、年度を超えた結果の比較ができるよう、基本的に意味は変えなかった。

設問 2

旧：あなたは予習復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。

新：あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか。

設問 13

旧：この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか、この授業の教え方はよいですか。

新：この授業の教え方はよいですか。（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます。）

このアンケートを今年度も使用した。

なお、これ以降に掲載される本文による報告と表中のデータとは数値にわずかな違いが見られる場合があるが、それはそれぞれの作成日時の違いにより情報の更新状況が異なるためである。

以上。

2024年度後期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	19	19	100.00	0	0.00
経営学部	46	46	100.00	0	0.00
法学部	22	22	100.00	0	0.00
人間生活科学部・教育保育学科	26	26	100.00	0	0.00
人間生活科学部・管理栄養学科	53	53	100.00	0	0.00
非常勤	116	116	100.00	0	0.00
【全体】	282	282	100.00	0	0.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	2,924	2,924	1,167	39.91
経営学部	4,138	4,138	2,176	52.59
法学部	2,189	2,189	1,141	52.12
人間生活科学部・教育保育学科	766	766	620	80.94
人間生活科学部・管理栄養学科	1,744	1,744	1,313	75.29
非常勤	4,455	4,455	2,758	61.91
【全体】	16,216	16,216	9,175	56.58

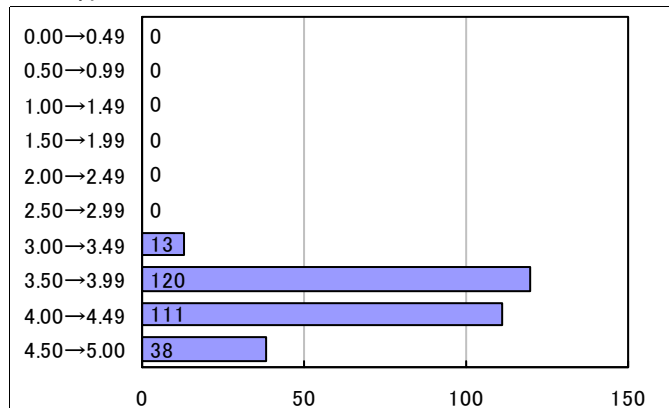
[名古屋経済大学] 2024年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	3.98	4.21	4.42	4.26	4.26	4.35	4.29	4.32	4.31	4.37	4.27	4.41	4.29
経済学部	3.93	4.07	4.27	4.04	4.09	4.15	4.15	4.17	4.19	4.16	4.11	4.28	4.10
経営学部	3.92	4.16	4.39	4.25	4.23	4.34	4.26	4.32	4.29	4.35	4.23	4.38	4.31
法学部	3.85	4.13	4.36	4.18	4.21	4.31	4.20	4.23	4.20	4.31	4.21	4.31	4.22
人間生活科学部・教育保育学科	4.11	4.45	4.65	4.50	4.49	4.57	4.51	4.39	4.50	4.58	4.51	4.58	4.52
人間生活科学部・管理栄養学科	4.17	4.25	4.54	4.29	4.28	4.38	4.33	4.36	4.37	4.37	4.32	4.43	4.31
非常勤	3.99	4.27	4.45	4.34	4.32	4.40	4.33	4.38	4.36	4.44	4.30	4.47	4.34

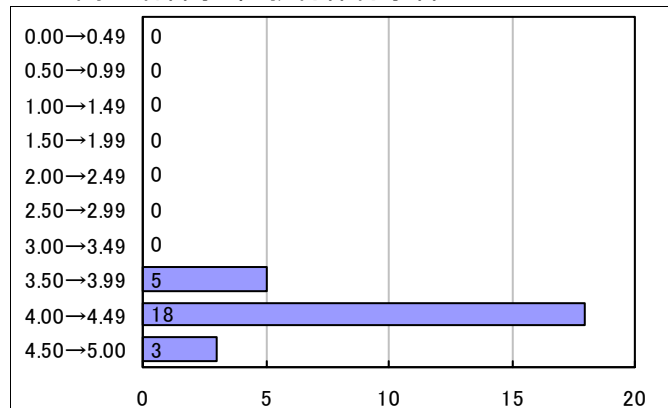
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



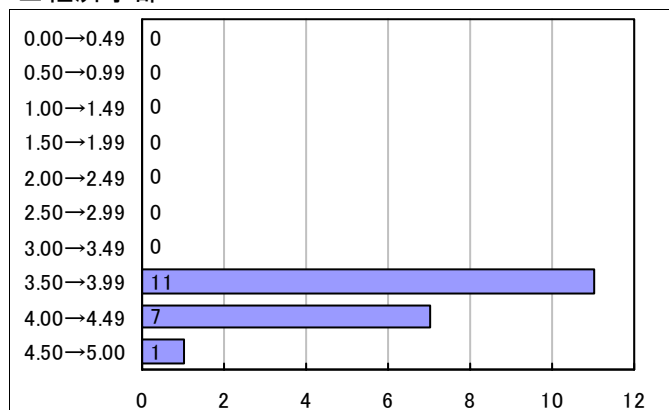
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・教育保育学科



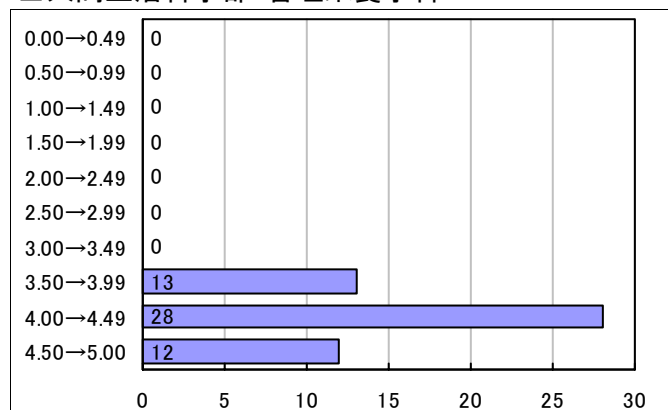
平均値 = 4.11

■経済学部



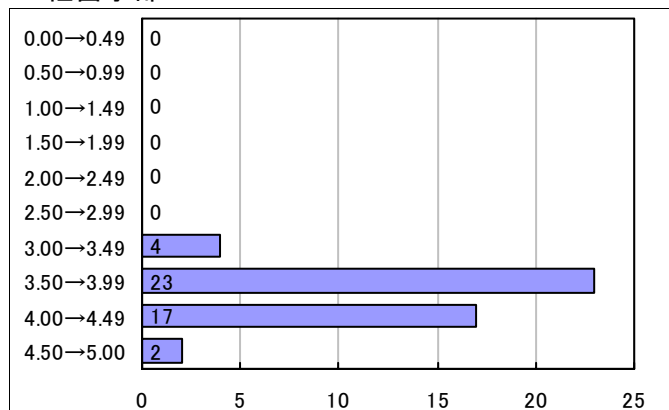
平均値 = 3.93

■人間生活科学部・管理栄養学科



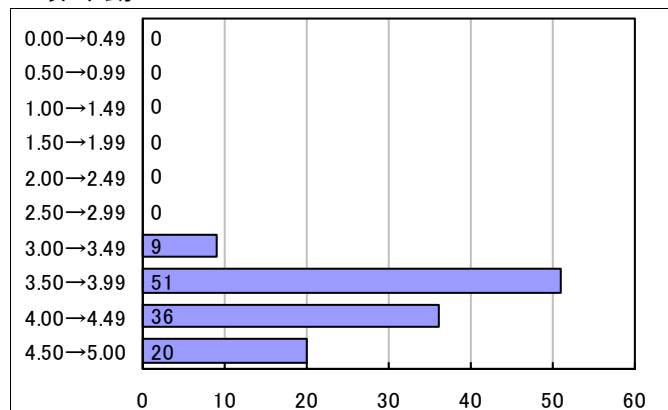
平均値 = 4.17

■経営学部



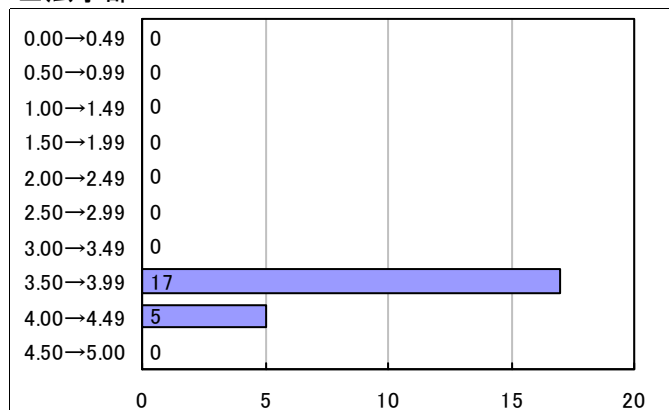
平均値 = 3.92

■非常勤



平均値 = 3.99

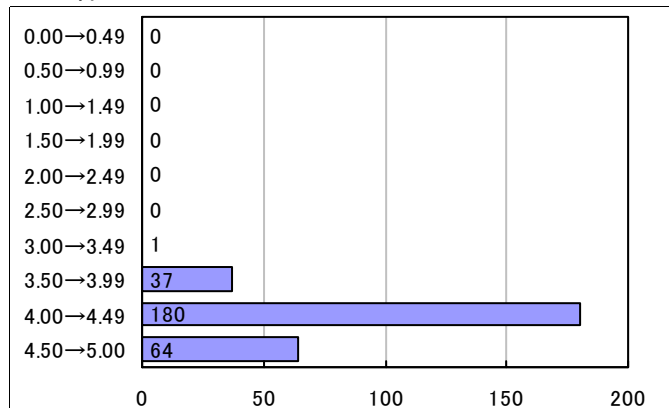
■法学部



平均値 = 3.85

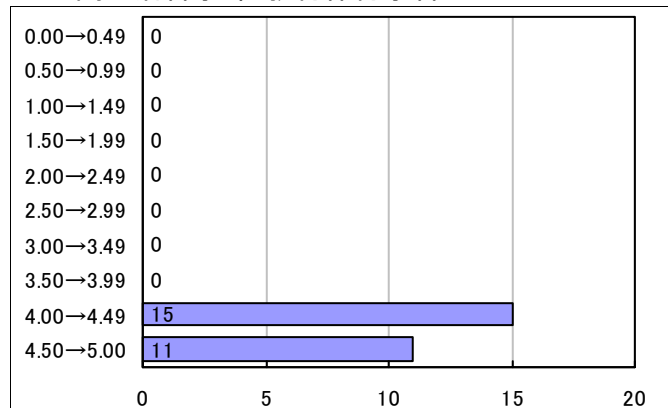
●2.あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



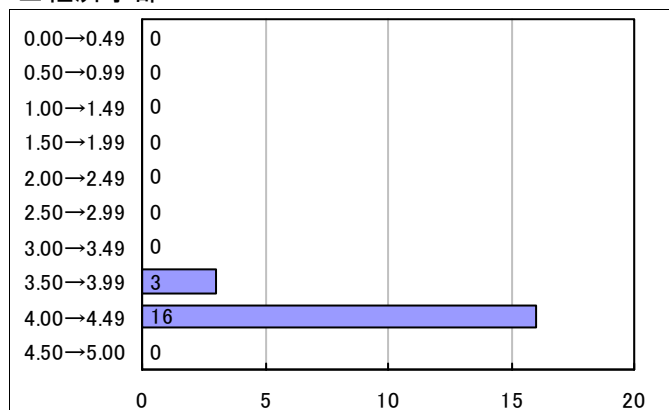
平均値 = 4.21

■人間生活科学部・教育保育学科



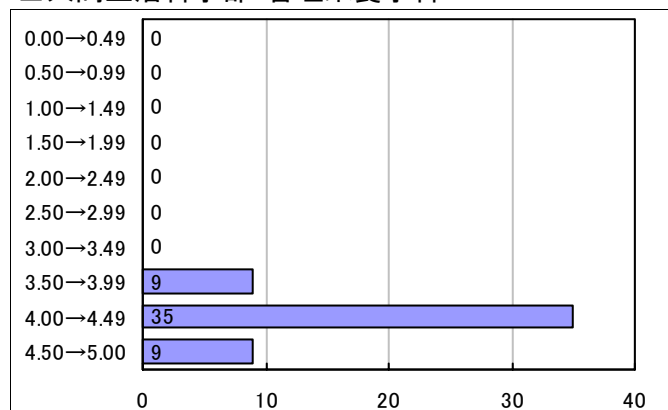
平均値 = 4.45

■経済学部



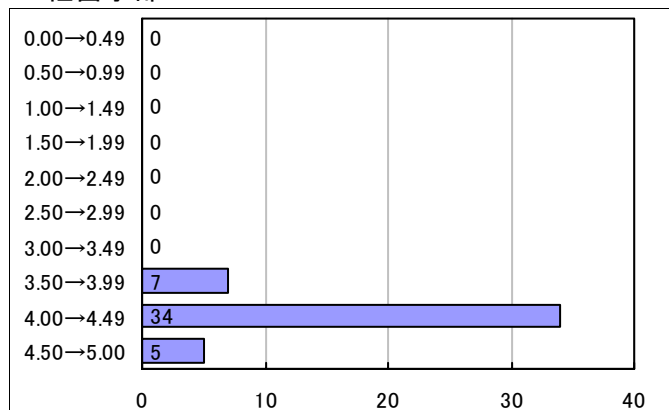
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



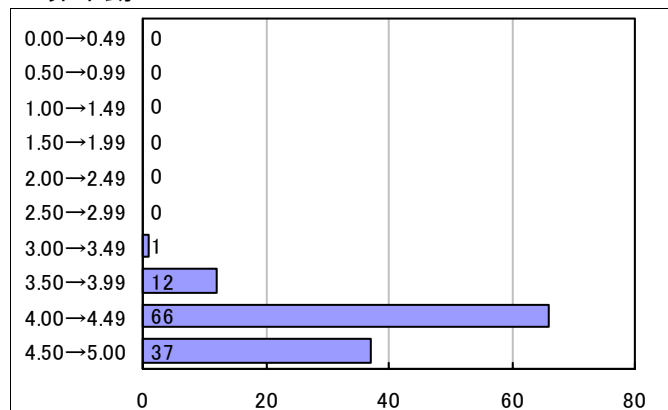
平均値 = 4.25

■経営学部



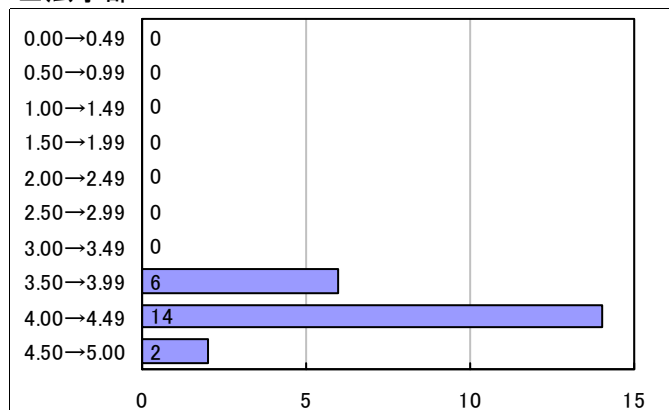
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.27

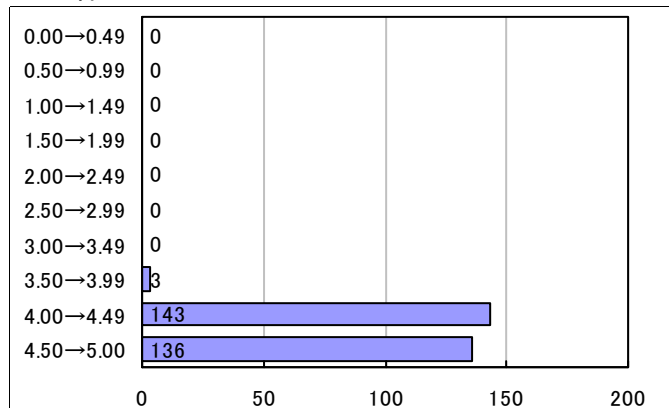
■法学部



平均値 = 4.13

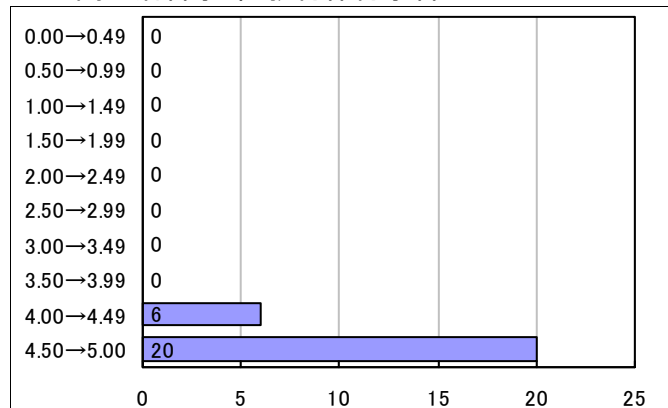
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること

■全体



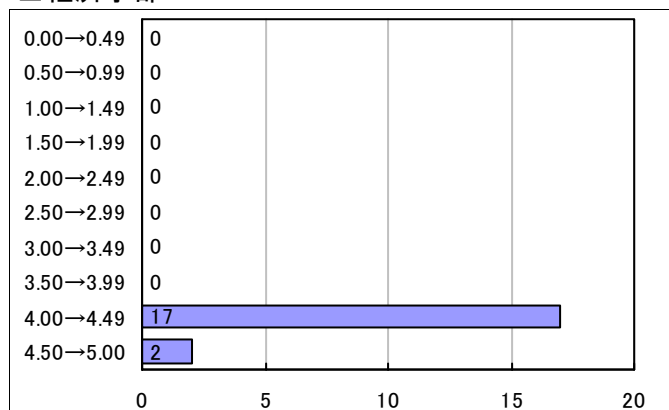
平均値 = 4.42

■人間生活科学部・教育保育学科



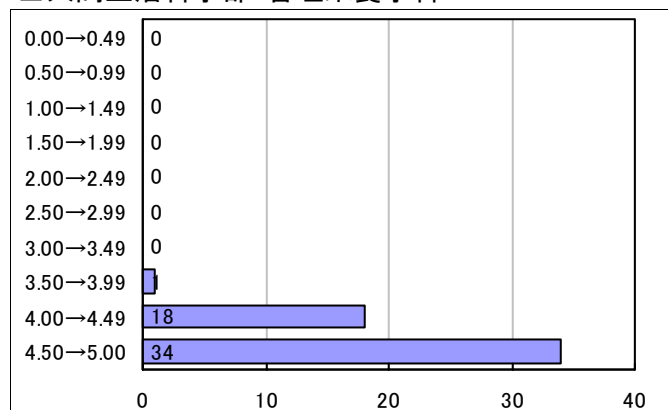
平均値 = 4.65

■経済学部



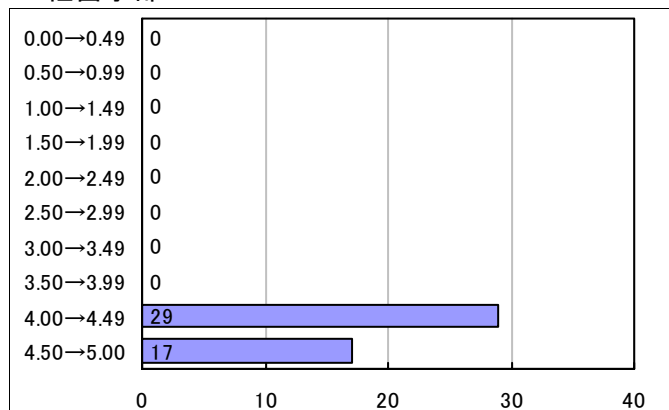
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・管理栄養学科



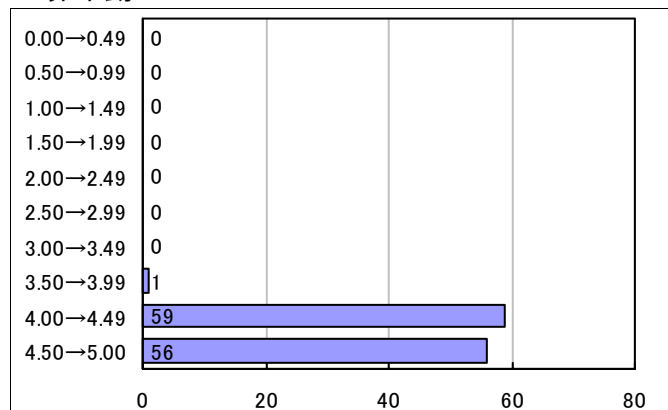
平均値 = 4.54

■経営学部



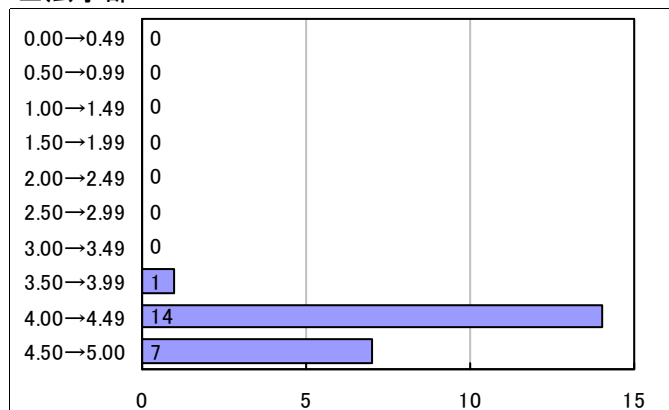
平均値 = 4.39

■非常勤



平均値 = 4.45

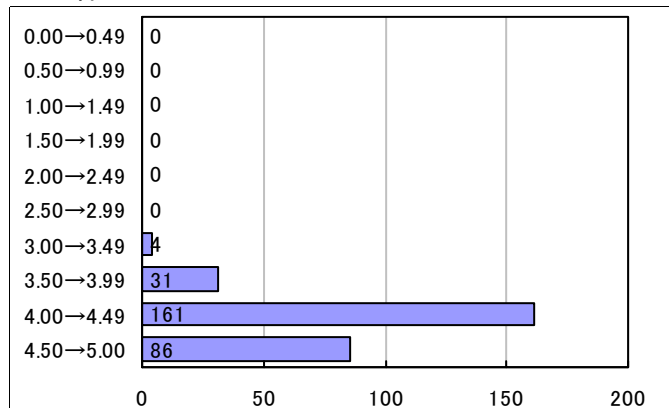
■法学部



平均値 = 4.36

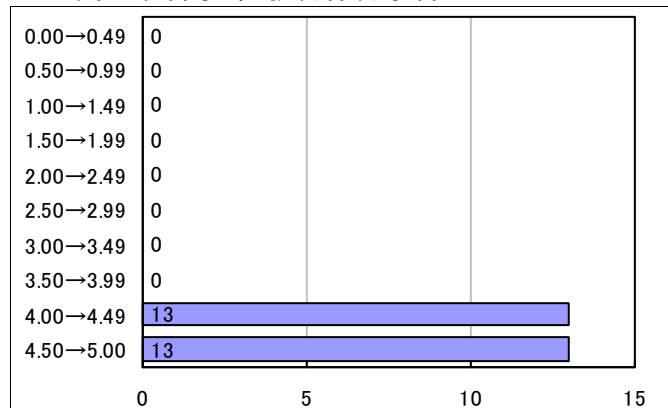
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



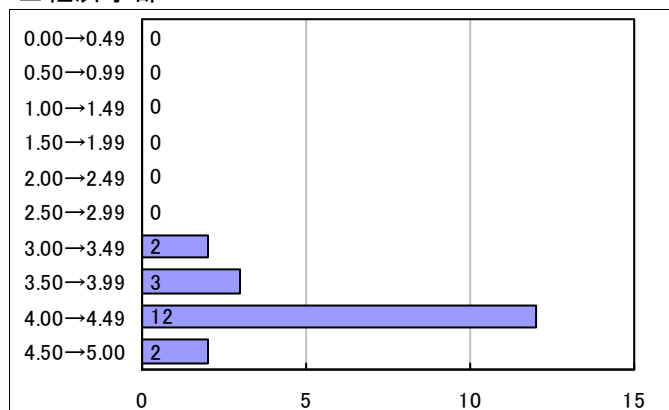
平均値 = 4.26

■人間生活科学部・教育保育学科



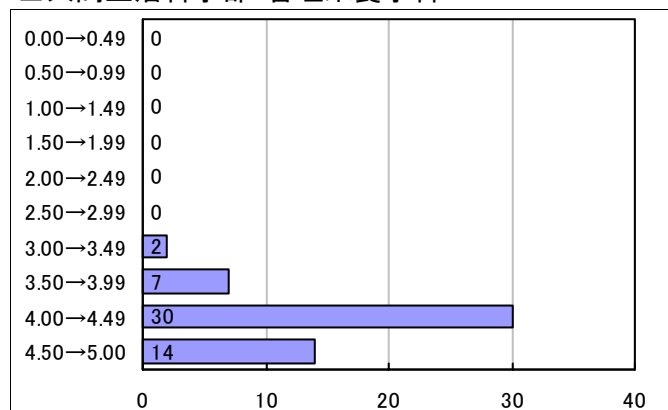
平均値 = 4.50

■経済学部



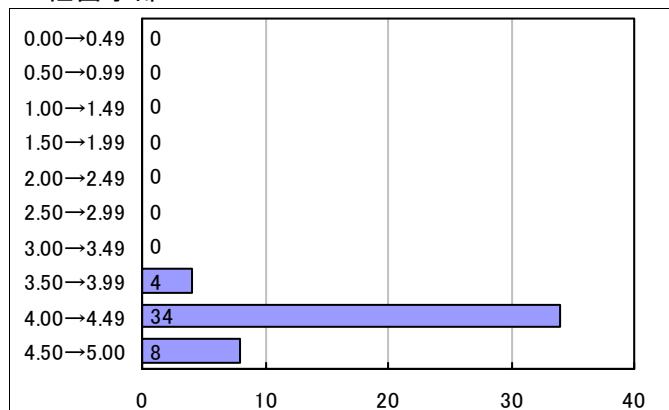
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



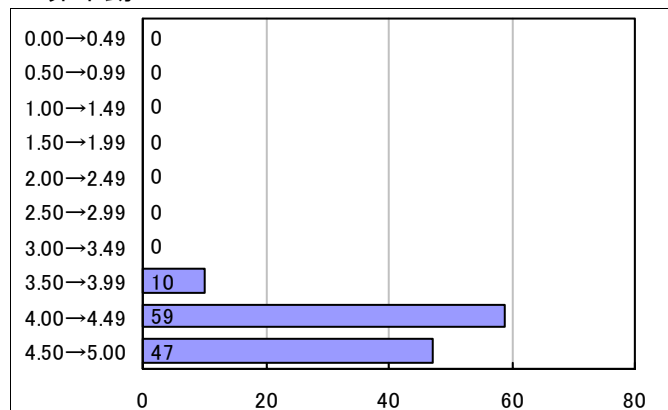
平均値 = 4.29

■経営学部



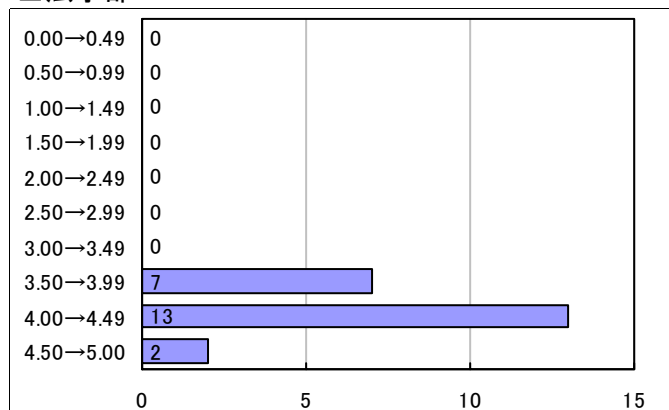
平均値 = 4.25

■非常勤



平均値 = 4.34

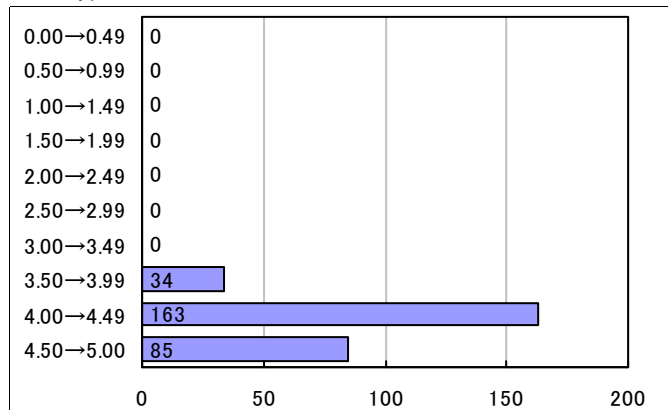
■法学部



平均値 = 4.18

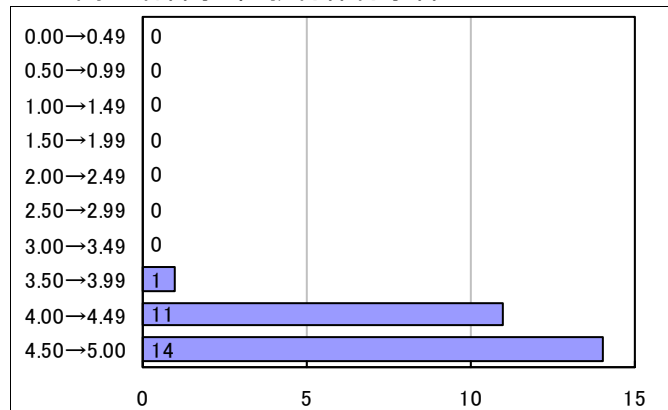
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



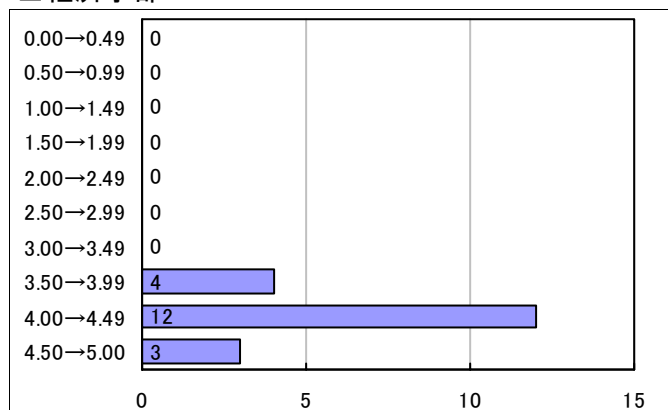
平均値 = 4.26

■人間生活科学部・教育保育学科



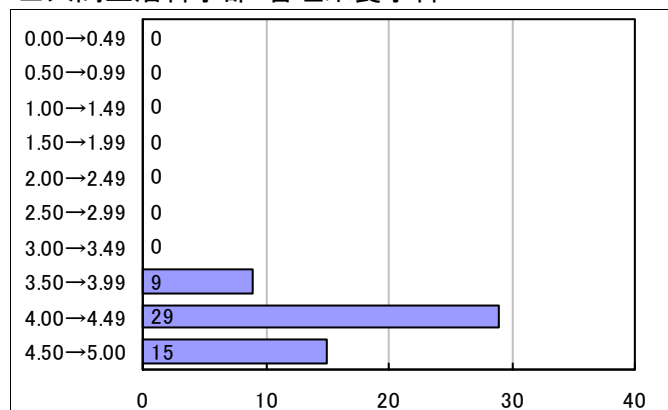
平均値 = 4.49

■経済学部



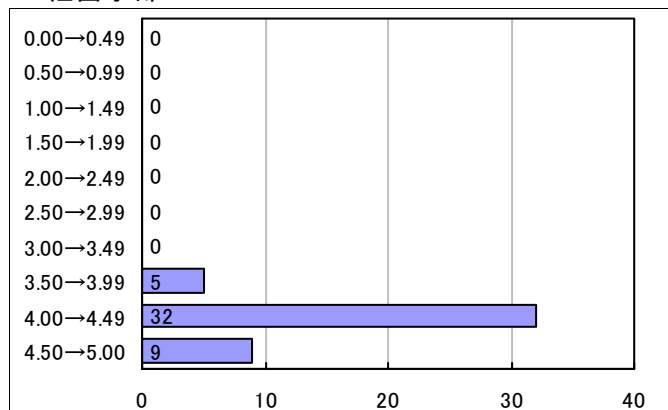
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・管理栄養学科



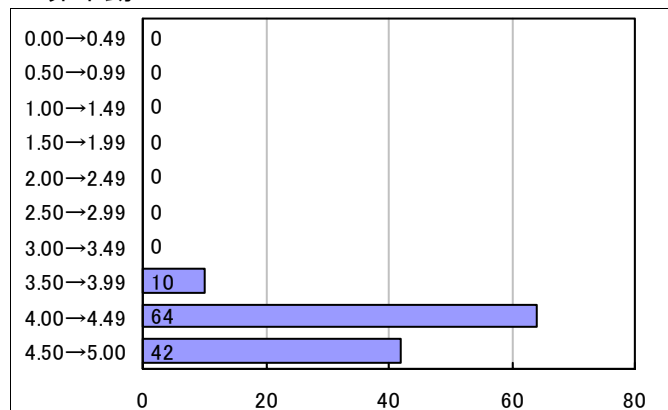
平均値 = 4.28

■経営学部



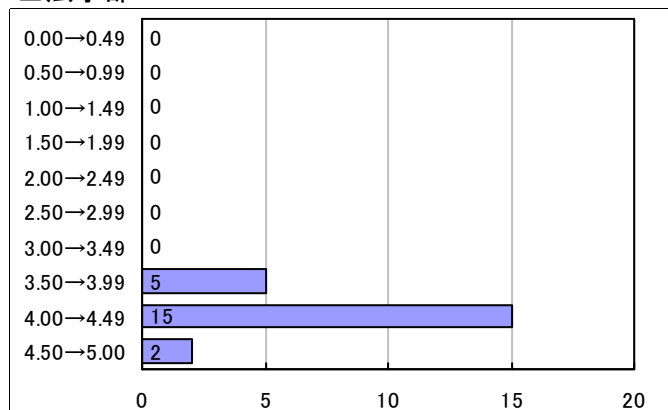
平均値 = 4.23

■非常勤



平均値 = 4.32

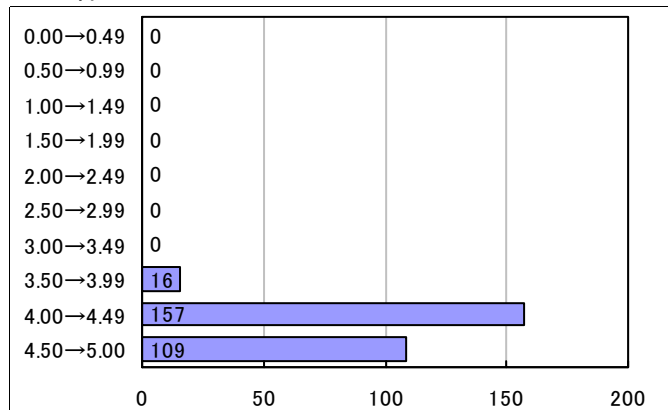
■法学部



平均値 = 4.21

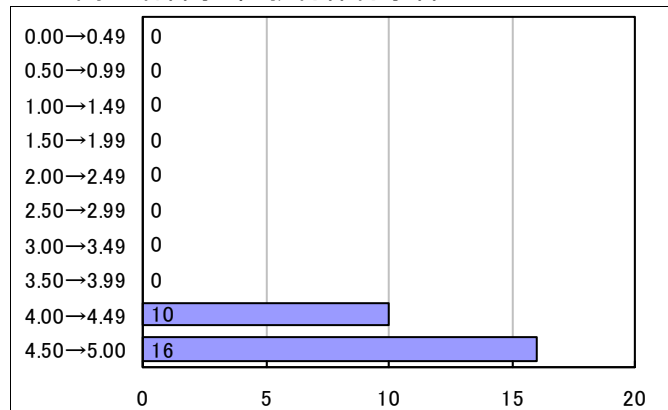
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



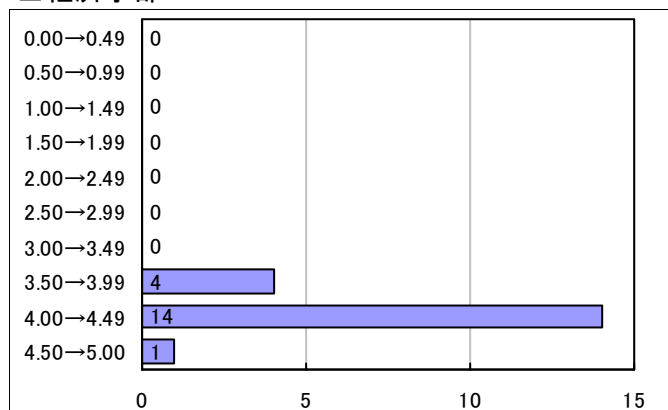
平均値 = 4.35

■人間生活科学部・教育保育学科



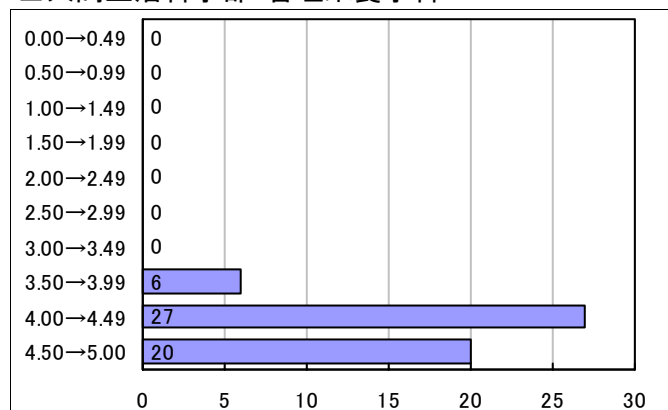
平均値 = 4.57

■経済学部



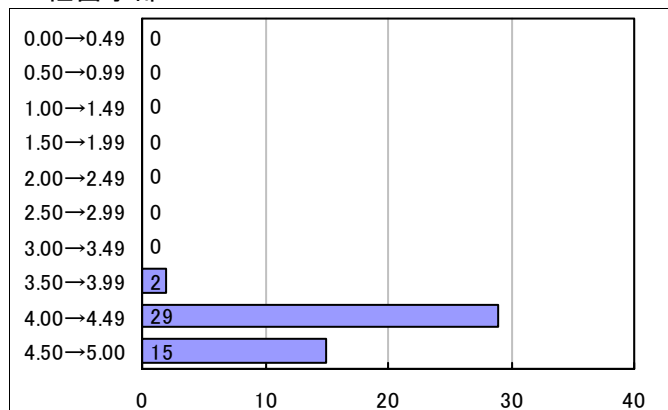
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



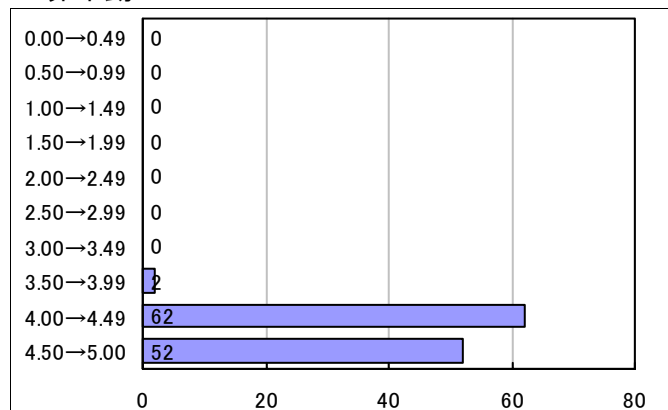
平均値 = 4.38

■経営学部



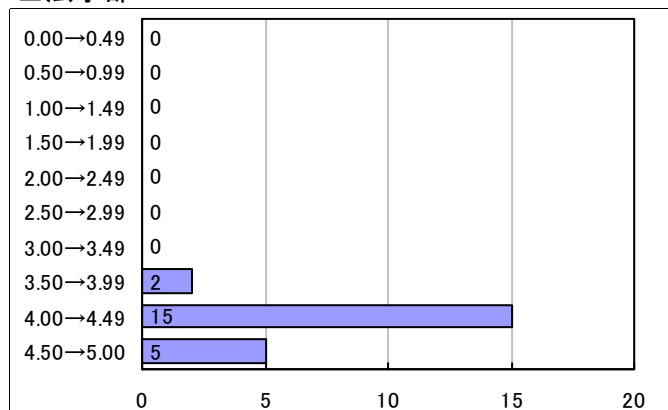
平均値 = 4.34

■非常勤



平均値 = 4.40

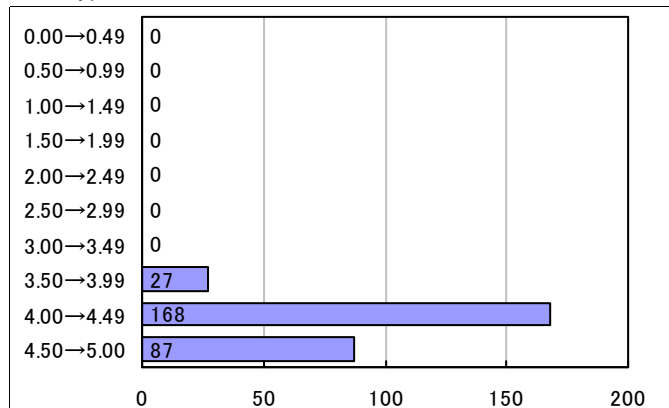
■法学部



平均値 = 4.31

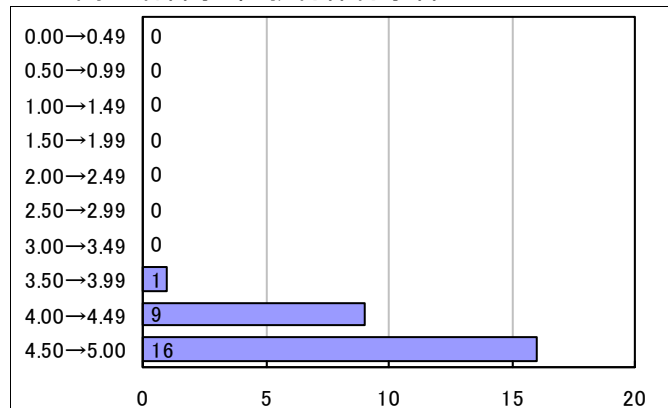
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



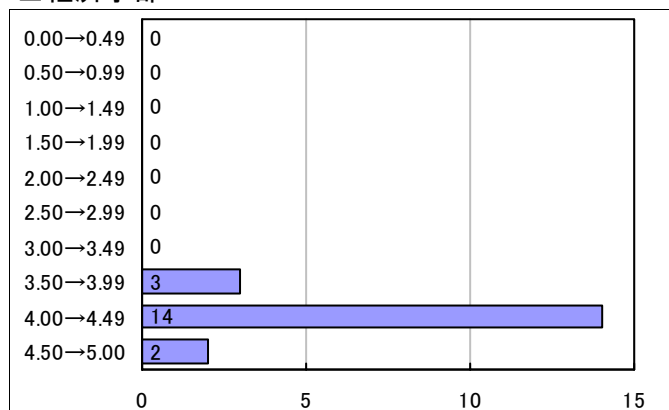
平均値 = 4.29

■人間生活科学部・教育保育学科



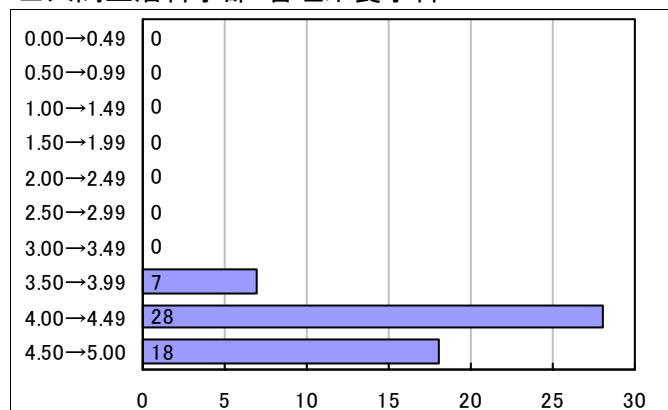
平均値 = 4.51

■経済学部



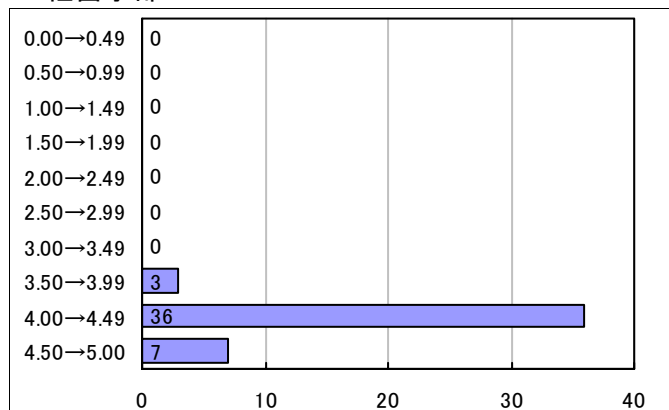
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



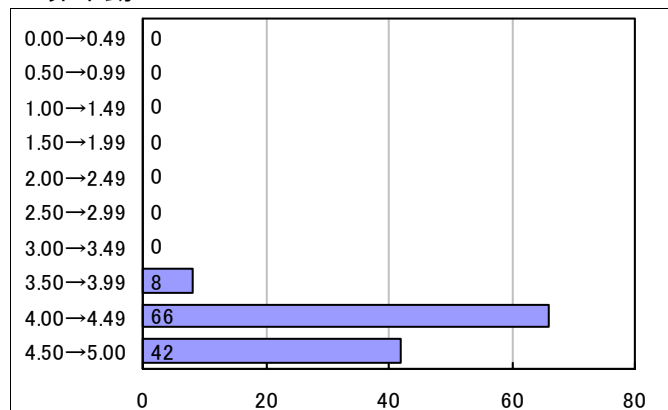
平均値 = 4.33

■経営学部



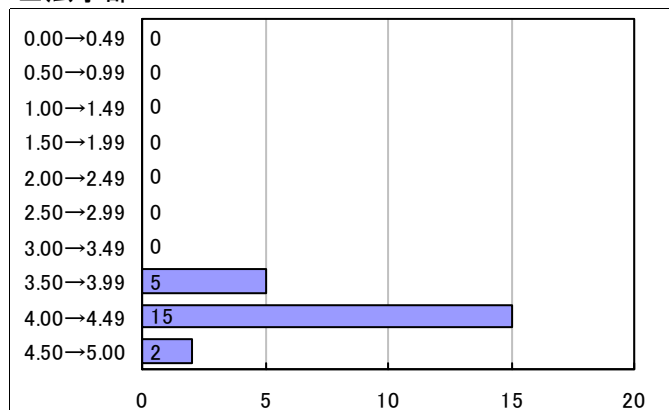
平均値 = 4.26

■非常勤



平均値 = 4.33

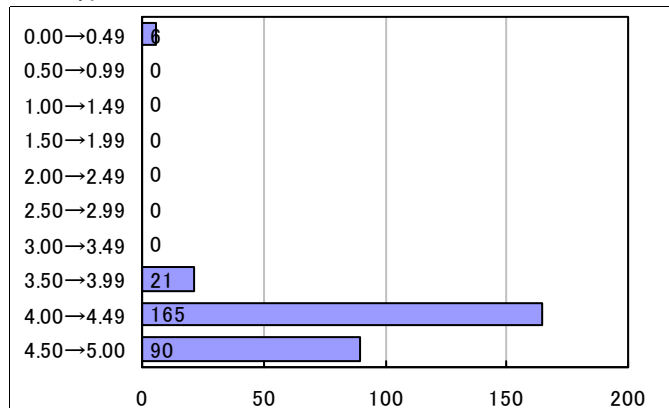
■法学部



平均値 = 4.20

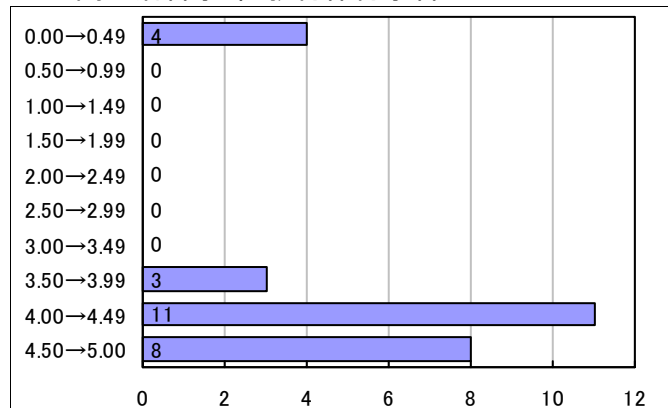
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



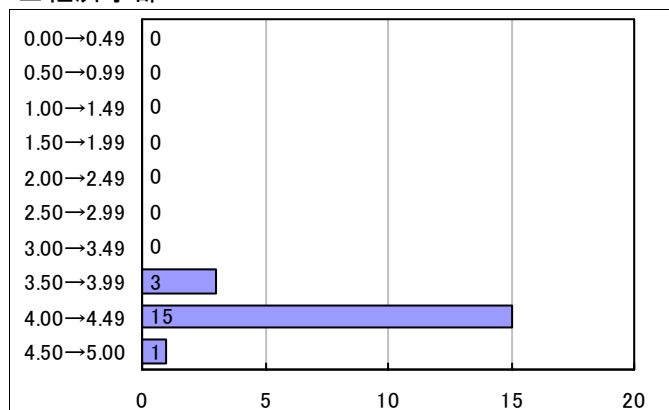
平均値 = 4.32

■人間生活科学部・教育保育学科



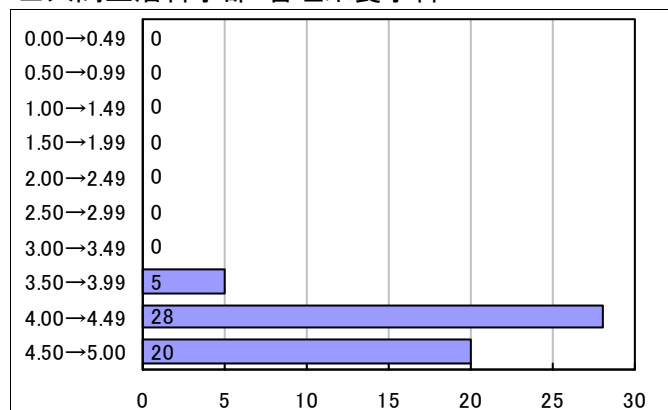
平均値 = 4.39

■経済学部



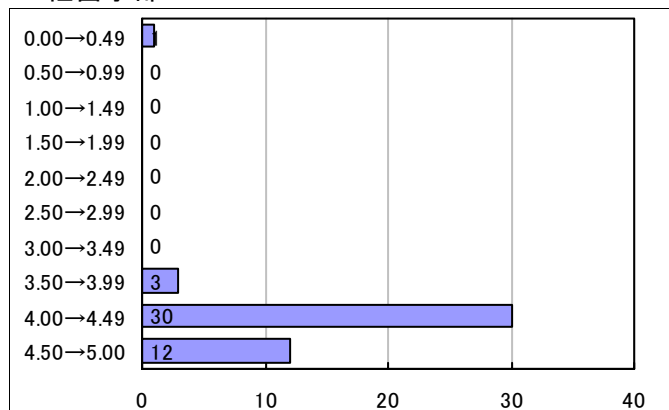
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・管理栄養学科



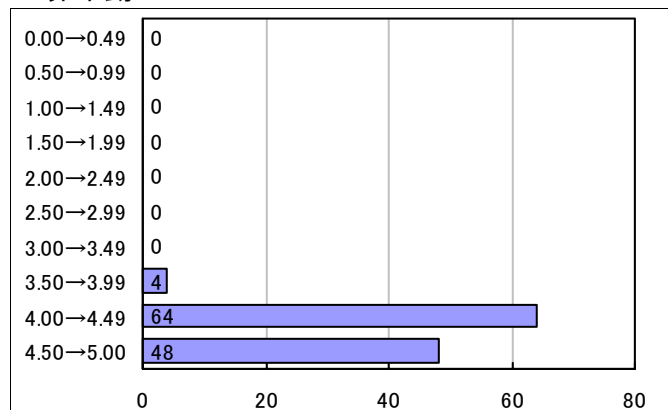
平均値 = 4.36

■経営学部



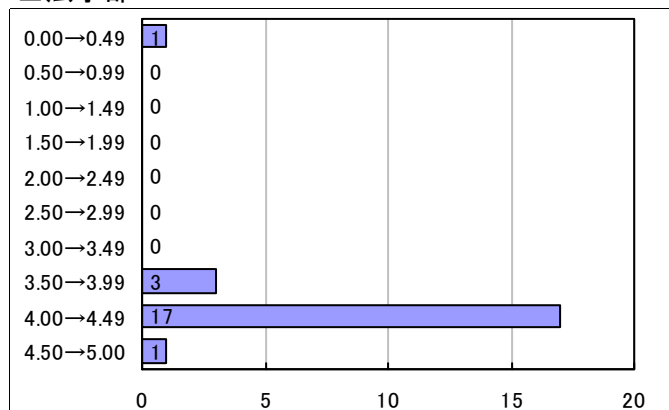
平均値 = 4.32

■非常勤



平均値 = 4.38

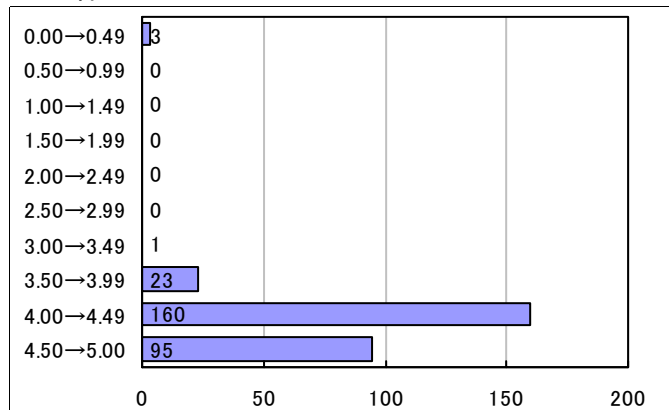
■法学部



平均値 = 4.23

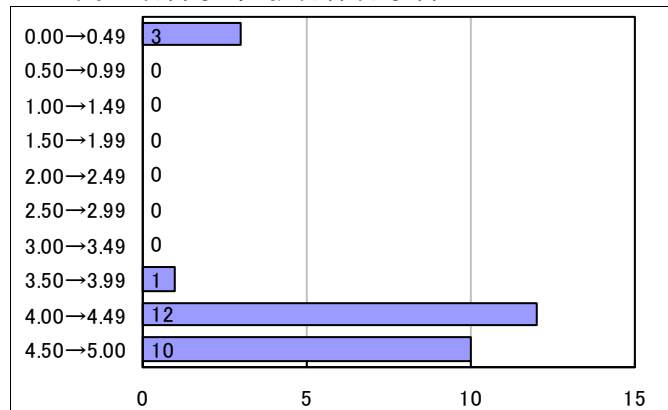
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



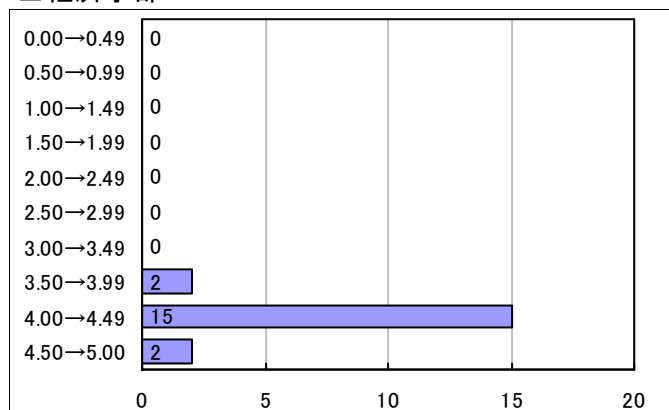
平均値 = 4.31

■人間生活科学部・教育保育学科



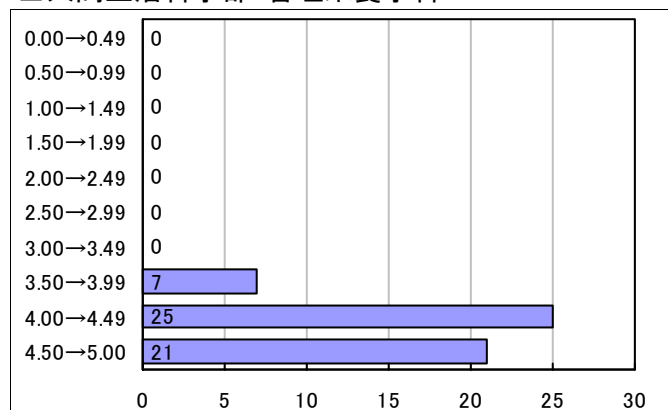
平均値 = 4.50

■経済学部



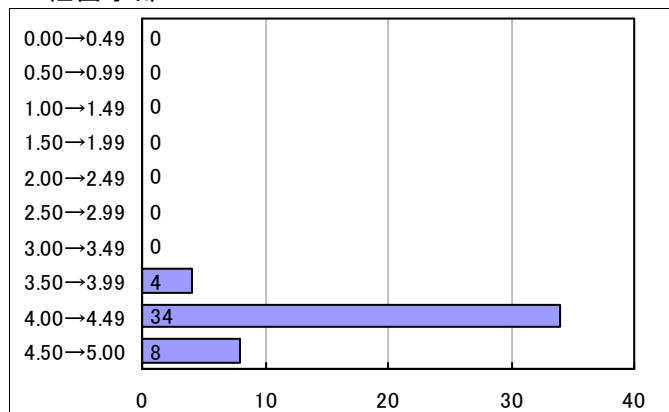
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・管理栄養学科



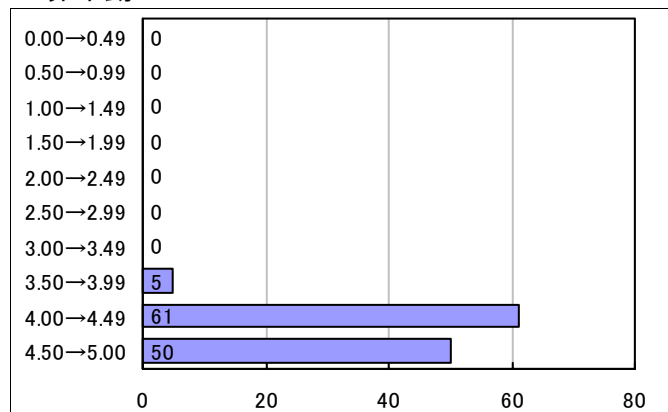
平均値 = 4.37

■経営学部



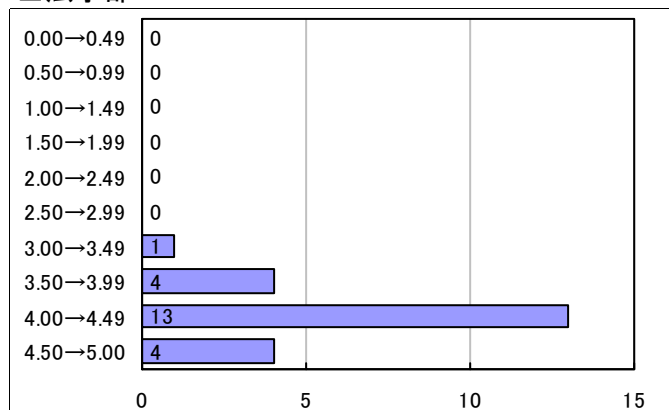
平均値 = 4.29

■非常勤



平均値 = 4.36

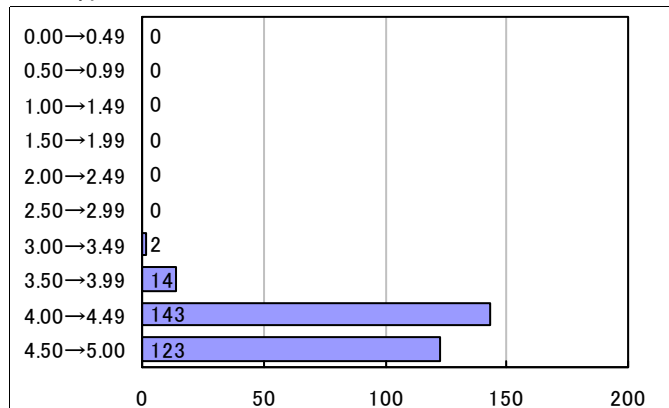
■法学部



平均値 = 4.20

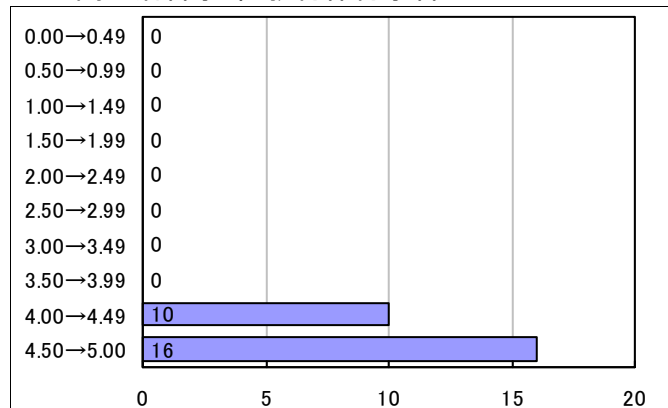
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



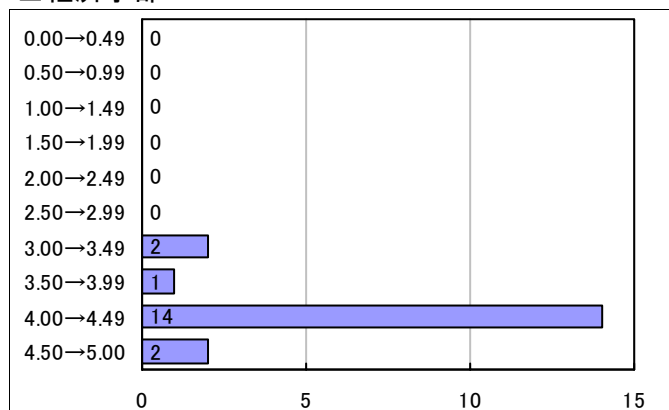
平均値 = 4.37

■人間生活科学部・教育保育学科



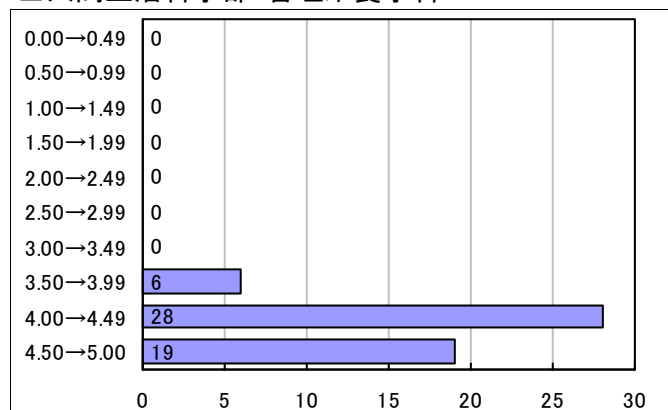
平均値 = 4.58

■経済学部



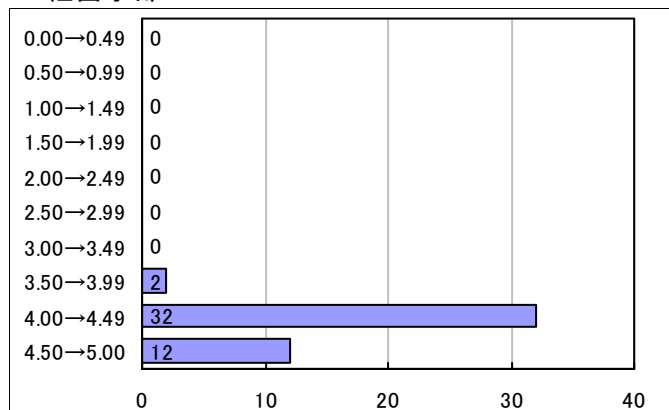
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・管理栄養学科



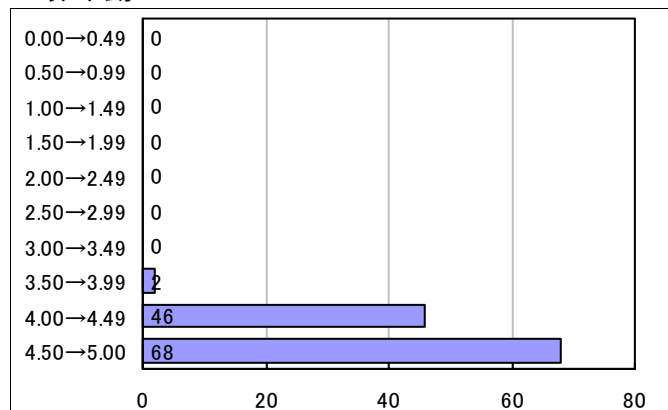
平均値 = 4.37

■経営学部



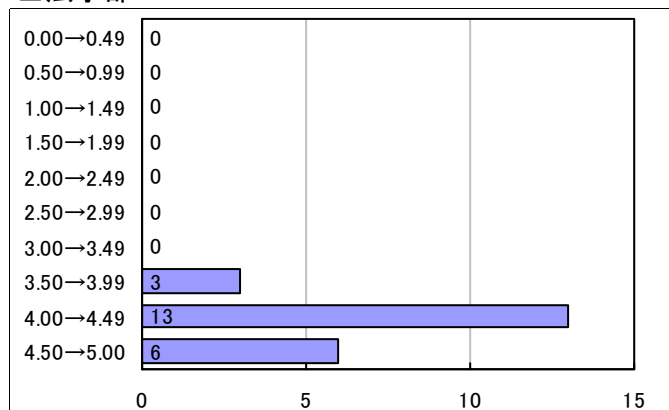
平均値 = 4.35

■非常勤



平均値 = 4.44

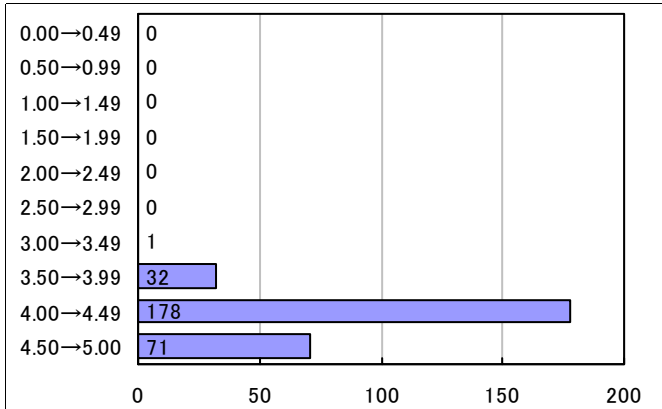
■法学部



平均値 = 4.31

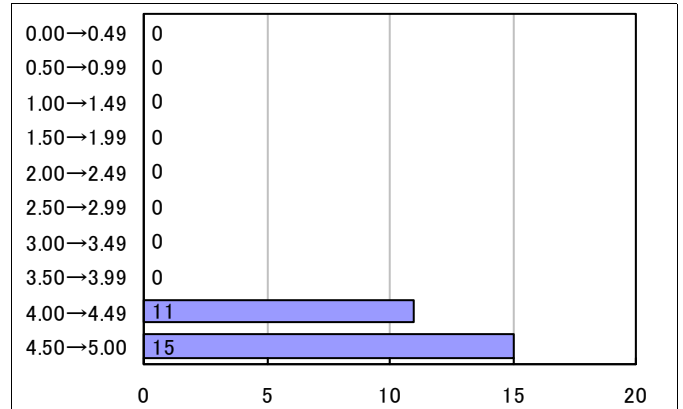
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



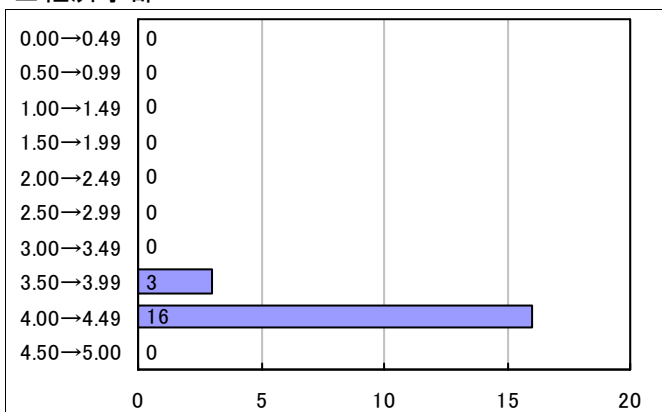
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・教育保育学科



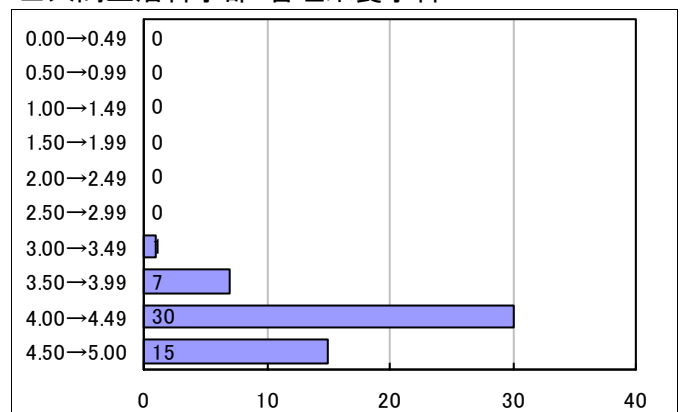
平均値 = 4.51

■経済学部



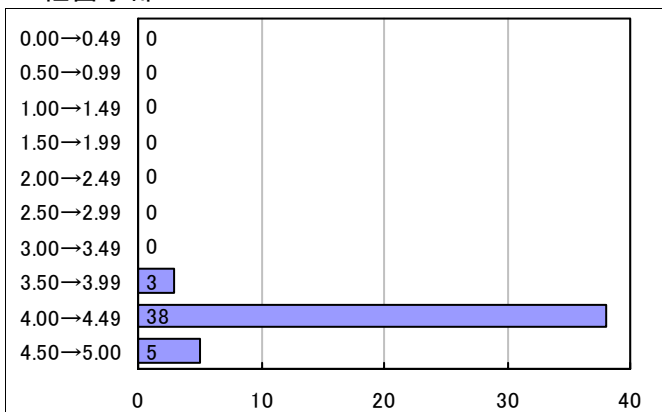
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



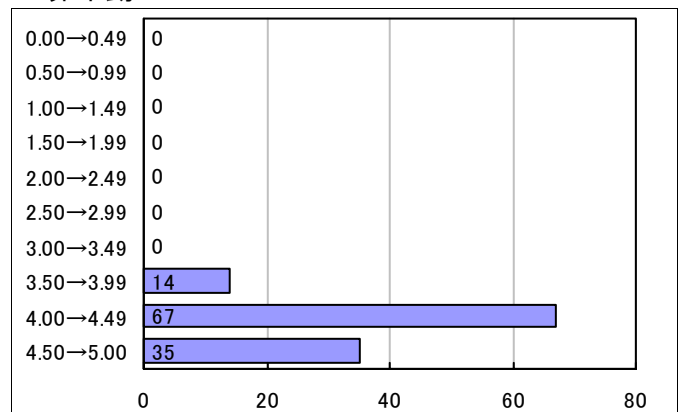
平均値 = 4.32

■経営学部



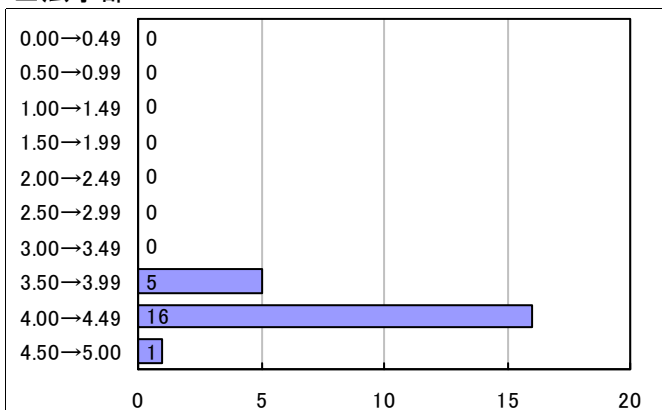
平均値 = 4.23

■非常勤



平均値 = 4.30

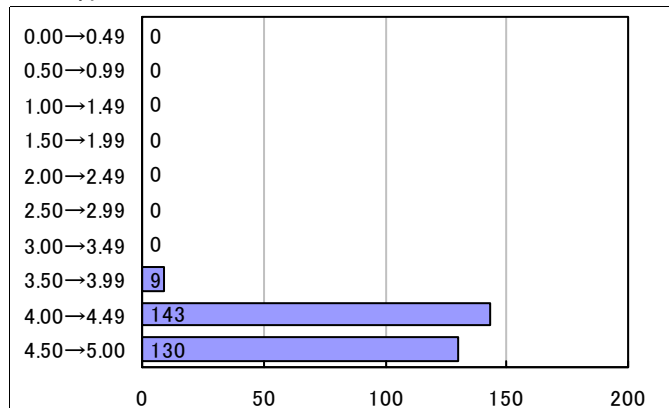
■法学部



平均値 = 4.21

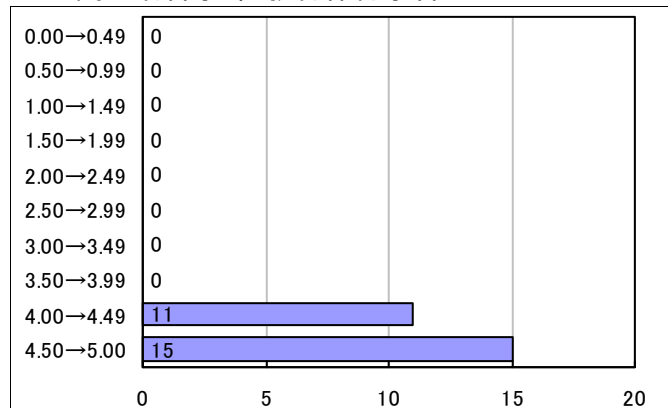
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



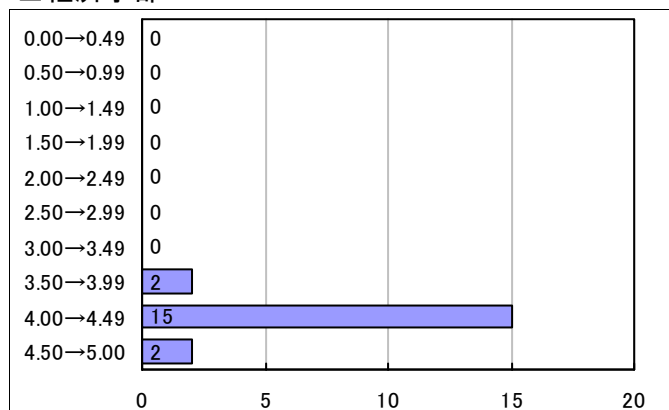
平均値 = 4.41

■人間生活科学部・教育保育学科



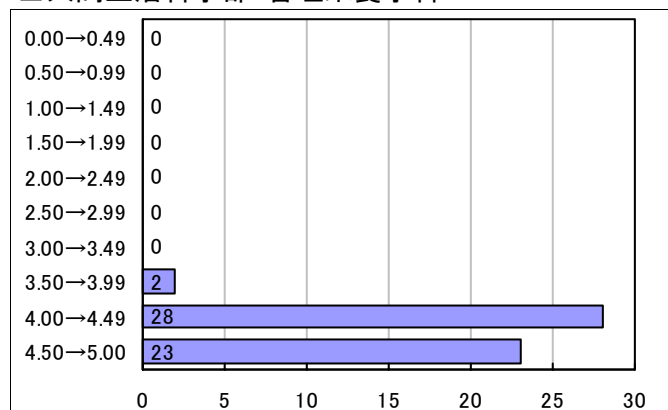
平均値 = 4.58

■経済学部



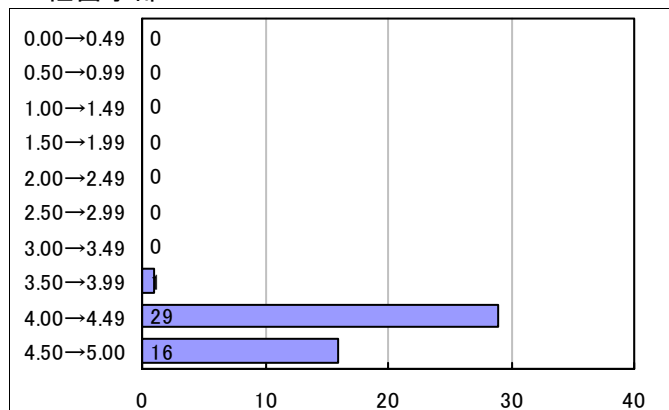
平均値 = 4.28

■人間生活科学部・管理栄養学科



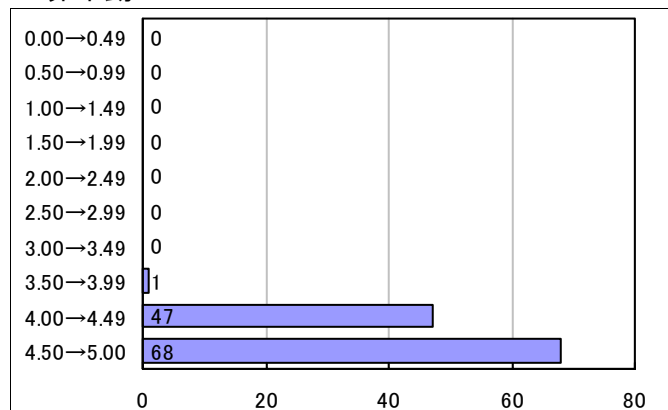
平均値 = 4.43

■経営学部



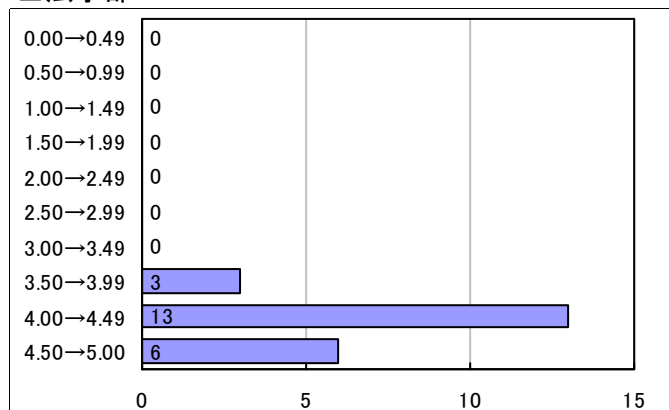
平均値 = 4.38

■非常勤



平均値 = 4.47

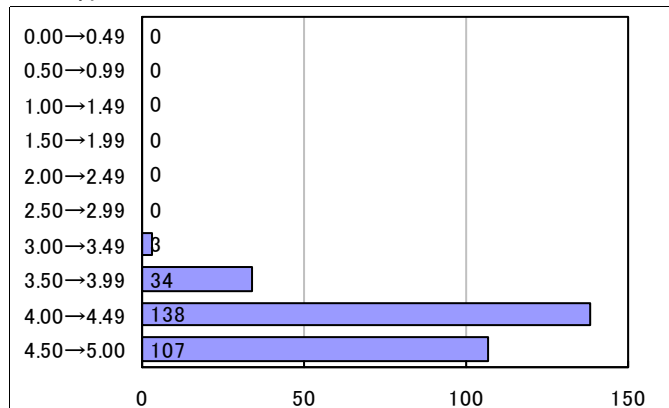
■法学部



平均値 = 4.31

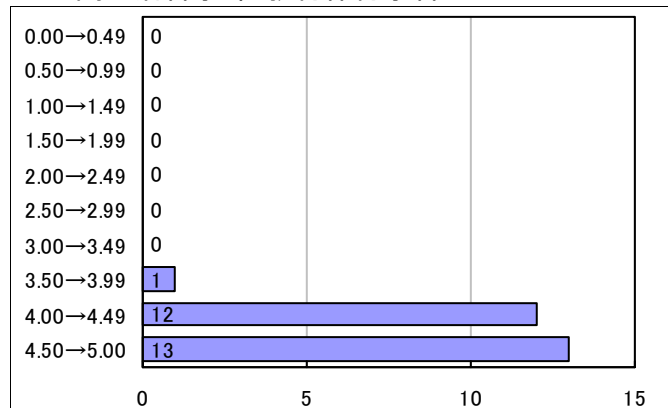
●13.この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

■全体



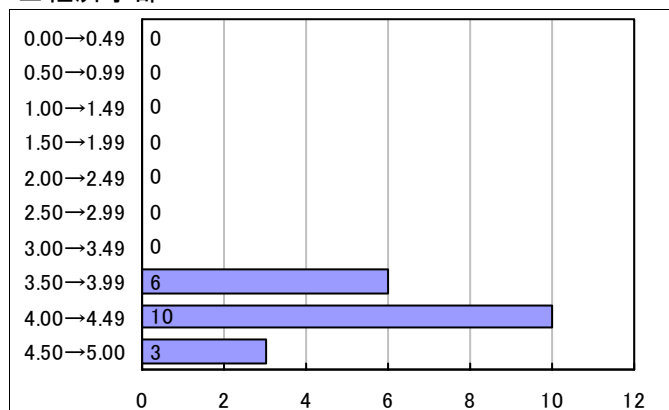
平均値 = 4.29

■人間生活科学部・教育保育学科



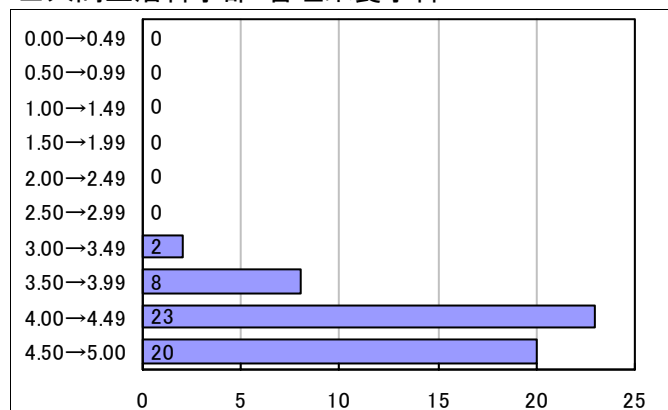
平均値 = 4.52

■経済学部



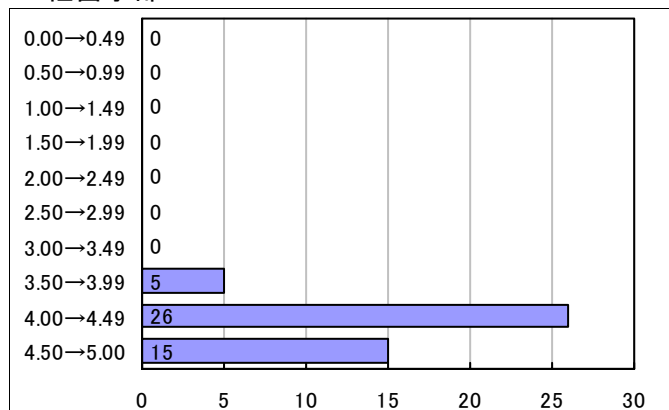
平均値 = 4.10

■人間生活科学部・管理栄養学科



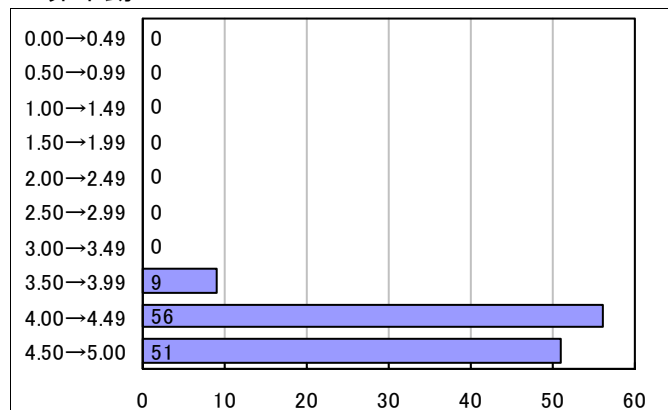
平均値 = 4.31

■経営学部



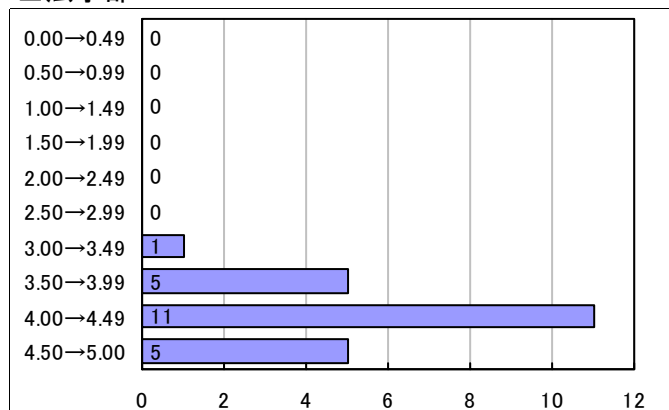
平均値 = 4.31

■非常勤



平均値 = 4.34

■法学部



平均値 = 4.22

2024 年度後期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2024 年度後期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2024 年度後期は、2023 年度後期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここでは、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけなどがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

6では設問11「授業の妨げに対する教員の対応」と設問4「授業内容のわかりやすさ」設問8「教科書・配布資料の活用」設問9「板書・スクリーン等の見やすさ」設問10「教員の声の聞き取りやすさ」についての資料をもとに相関について考察する。

表1に、2023 年度と 2024 年度の経済学部在籍学生数を示す。2024 年度は、2023 年度と在籍学生数全体には大きな変化はないが、1 年次生に留学生が占める割合は約 12%から約 32%へと増加している。

このことによって、今後、授業方法にさらなる工夫が必要になると思われる。

表1 経済学部在籍学生数（2023 年度 7 月 1 日現在、及び 2024 年 7 月 1 日現在）

	全て		留学生	
	2023	2024	2023	2024
1 年次	148	153	18	50
2 年次	165	140	18	14
3 年次	162	159	20	23
4 年次	158	181	25	21
合計	633	633	81	108

2. アンケート回答率

まず、表2に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表2 経済学部教員による開講科目の回答率（2023 年後期・2024 年後期の比較）

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (%) (F ÷ E)
経済学部	2023後期	2,818	2,818	1,486	52.73
	2024後期	2,924	2,924	1,167	39.91
全学	2023後期	16,529	16,404	9,908	60.40
	2024後期	16,216	16,216	9,175	56.58

経済学部授業評価アンケート対象科目の回答率は、2024 年度後期は 2023 年度後期と比べ、約 13 ポイントと大きく下がっている。全学部においては 2023 年度後期と比べ約 3.5 ポイント減少しているが、経済学部の回答率の低下はこれよりも顕著であり、全学部の中で最も解答率が低い。

今回のアンケートの実施率は 100%であることから、今回の経済学部の回答率の低さは、経済学部においてアンケート実施当日の授業欠席者数が他学部と比較しても多かったことによるものと考えられる。この原因を明らかにするには、アンケート実施日を含む学期中の出席率の推移を参照する必要がある。一方で、学生の出席率の向上のための取り組み、および、学期末の欠席者に対してもアンケートに回答ができるような改善も望まれるところである。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表 3 に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。

表 3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2023後期 経済学部	2024後期 経済学部	2024後期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.84	3.93	3.98
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.02	4.07	4.21
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.34	4.27	4.42
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.04	4.04	4.26
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.04	4.09	4.26
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.20	4.15	4.35
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.12	4.15	4.29
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.13	4.17	4.32
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.13	4.19	4.31
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.15	4.16	4.37
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.13	4.11	4.27
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.30	4.28	4.41
13	この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）	4.08	4.10	4.29

経済学部についてみると、2023 年度後期に比べ、全般的に授業に対する評価は微増しており、各授業の改善等の効果がある程度出ていると言える。一方、2023 年後期の結果に比べ、設問 3（出席について）、設問 6（授業内容のわかりやすさ）、設問 11（教室管理）、設問 12（時間遵守）の項目で評価がやや下がっている。また、経済学部の設問別結果は、すべての項目について全学平均より低く、1 設問を除いたすべての項目において全学部学科の中で最も低い。全学部学科において人間生活科学部 2 学科の評価点が高く、これが全学の平均値を引き上げている。経済・経営・法学部の 3 学部間の評価値に大きな差はないものの、経済学部の評価値が 3 学部中においても最も低いことは明らかである。

4. 学生の属性別にみた結果

続いて、学生の属性別の結果を検討する。これは、当該学期の評価値が学生の属性により異なるかどうかを検討するものである。まず表 4 に、各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表 4 経済学部教員開講科目における各設問ポイント平均値の、学生の属性別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	4.0	4.1	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2
留学生のみ	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.3	4.6	4.3	4.4
留学生を除く	3.9	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2
スポーツ学生のみ	4.3	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.5	4.5
スポーツ学生を除く	3.9	4.1	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2

表 4 から、留学生およびスポーツ学生の評価が、それ以外の学生と比べて全体的に高いことがわかる。留学生については、設問 1（出席）、2（意欲）、10（教員の声）、12（授業時間遵守）の評価は特に高い。スポーツ学生については、設問 1（出席）、2（意欲）、5（新しいものの見方）、7（授業進度）、11（教室管理）、12（時間遵守）の項目が特に高い。

3 で示したように、当該学期は経済学部の評価点が全体的に低かったが、上記の結果から、経済学部の授業を低く評価したのは、主に留学生とスポーツ学生を除く学生であることがわかる。

次に、表 5 に、学年別の比較を示す。

表 5 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1 年生	4.2	4.2	4.5	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.3	4.3
2 年生	3.8	4.1	4.4	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3
3 年生	3.9	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.1	4.3	4.1	4.2
4 年生	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.5	4.2	4.3

各学年の結果については、3 年生の評価点が目立って低い。すべての項目において 3 年生の評価点が最も低い。例年、3・4 年生になると評価が下がる傾向にあるが、今回の結果は 3 年生に顕著に表れてい

る。また、2年生の設問1（出席）の評価点も低く、3年生と近い水準であることも特徴的である。2年生と3年生の後期の履修科目は専門科目が中心であると思われ、これらの科目の満足度が十分に得られておらず、出席率も低いということが推測される。

ただし、2023年度後期の結果と比べると、1年生および4年生の設問1（出席）や、4年生の各設問の評価点は全体的に大きく改善していることを付記する。

5. クラスサイズ別集計結果

次に、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均	全体
1～50人	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4
51～100人	3.9	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.4	4.3	4.3	4.3
101～150人	3.9	4.1	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2
151～200人	4.3	4.0	4.5	3.7	3.8	3.8	3.8	4.1	4.1	4.0	4.0	4.3	3.9	4.0	4.2
201～250人	4.0	4.0	4.2	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	4.0	3.8	3.9	4.1
251～300人	3.7	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
301人以上	3.9	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2

経済学部でも全学部平均でもポイントが高かったのは1～50人のクラスの科目（全3クラス）であった。この結果は2023年度後期と同じ傾向であり、学生数250人までに関しては、クラスサイズが大きくなるほど評価が低くなる。この結果から少人数クラスの評価が高いことは明らかである。ただし、251人以上のクラス（全4クラス）、および301人以上のクラス（全1クラス）は高い評価を得ている。

最も評価の低い、151人以上のクラスと201人以上のクラスにおいては、設問4（わかりやすさ）、5（ものの見方）、6（教員の熱意）、7（進度）、8（資料）、10（聞き取りやすさ）、11（教室管理）の項目の評価が低い。いずれも、大人数クラスで調整が難しくなる項目である。履修者の多いクラスにおいては、これらの点に注意を払う必要がある。

6. わかりやすさに関する項目の傾向

次に、授業のわかりやすさに関連すると思われる設問の結果について検討する。設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室管理」が、授業のわかりやすさに関連する指標であると想定する。

表7に、2024年度後期の経済学部教員開講科目によるアンケート対象科目全20科目を全て挙げ、これらに対する設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室管理」の平均値を、各科目分類別に示した。

今回、項目4「わかりやすさ」ポイント4以上の科目は19科目中14科目(74%)であり、これは2023年度後期(65%)よりやや改善した。この割合は、経済学部の開講科目の今後の改善状況の指標とできる。

また、科目分類別の評価点の平均からは、専門共通基礎IIの評価点が低い傾向がみられる。専門科目については、科目によるばらつきが大きい。

表7 経済学部教員開講科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室管理」のポイント平均値(科目分類別)

科目分類	科目名	設問4	設問5	設問11	設問4平均	設問5平均	設問11平均
共通科目	心の科学II(火3)	☆	☆	☆	4.50	4.58	4.31
	多様な言語の世界(木2)	☆	☆	☆			
専門共通基礎I	市民生活と経済(再)(金5)	☆	☆		4.29	4.18	4.07
専門共通基礎II	国民経済と政府①(水1)				3.65	3.78	3.96
	国民経済と政府②(水3)		☆	☆			
	市場の経済学①(水2)						
	市場の経済学②(水1)						
専門科目	東海地方の産業(木1)	☆	☆	☆	4.11	4.17	4.16
	社会政策と社会保障(月2)	☆	☆	☆			
	国際金融論(火3)	☆	☆				
	G I S 概論(月4)	☆	☆	☆			
	地方財政論(木4)	☆	☆	☆			
	地域経済論(火4)	☆	☆				
	経済史(水3)			☆			
	地理学II(月3)						
	経済システム論(木3)			☆			
	国際経済論(木2)						
その他	ベトナム語入門(水3)	☆	☆	☆	4.39	4.28	4.21
	(日)基礎力養成II(A)(木4)	☆					

7. まとめ

2024 年度後期のアンケート結果は、2023 年度後期に比べて評価点が微増しており、教員の授業に対する改善や工夫の成果であると考ええる。一方で、特にスポーツ・留学生以外の 2・3 年次学生、特に 3 年次生において評価点が低いという特徴が見られた。3 年次生とは 2022 年次入学生を指す。2023 年度後期の結果においても、2022 年次生（当時の 2 年次生）は全体的な評価点が低い傾向にあったため、入学年次固有の特徴である可能性もある。また、履修科目の特性によるものとも考えられる。専門共通基礎科目から専門科目に重点が移る時期であり、専門科目を難しい、理解しにくいものと捉えているとも推測できる。共通専門基礎 II 科目の低評価、また、専門科目の評価点のばらつき傾向は、昨年後期にも見られた傾向である。経済学部学生の専門分野に関する興味関心に合った内容や教え方となるように改善するために、学生の学習ニーズを調べたり、学生の感じる困難点についてより詳細に調べることができれば、建設的な改善活動につながると考える。

2024 年度後期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	16,216	16,216	9,175	56.58
経営学部	4,138	4,138	2,176	52.59

経営学部における授業評価アンケート対象科目である 46 科目すべての科目で実施がなされ、回収率は 100%であった。経営学部教員担当科目の回答率は 52.59%であり、全体平均 56.58%に比べ、3.99%低かった。人間生活科学部の高い数値（教育保育学科：80.94%、管理栄養学科：75.29%）と比較すると低いものの、3 学部（経済学部：39.91%、法学部：52.12%）の中では一番高い数値であった。2023 年度後期における経営学部教員担当科目の回収率 57.06%（全体平均 60.40%）と比較すると 4.47%低い数値であった。

2. 経営学部教員担当科目の平均値

設問	設問内容	2023 年度	2024 年度
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.86	3.92
2	あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか	4.12	4.16
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.37	4.39
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.25	4.25
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.20	4.23
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.31	4.34
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.26	4.26

8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4. 30	4. 32
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4. 27	4. 29
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4. 33	4. 35
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4. 19	4. 23
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4. 38	4. 38
13	この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）	4. 26	4. 31

上表の集計データは、2023 年度後期と 2024 年度後期における経営学部教員担当科目の各設問項目の平均値をそれぞれ併記したものである。2024 年度後期の平均値を見ると、多くの設問で平均値 4.1 以上となっている。また多くの設問で 2023 年度後期より数値が上昇している結果を示している。2023 年度後期の数値より上昇した設問（設問 1、2、3、5、6、8、9、10、11、13）は 10 項目であった。多くの設問内容が 2023 年度後期と比較して改善の傾向にあると考えられる。2023 年度後期の数値と同様の数値であった設問（設問 4、7、12）は 3 項目であり、今後改善が必要と考えられる。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

設問	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	3. 90	4. 38	3. 80	3. 86	3. 91
2	4. 21	4. 51	4. 14	4. 12	4. 22
3	4. 37	4. 49	4. 34	4. 24	4. 38
4	4. 25	4. 48	4. 20	4. 24	4. 25
5	4. 25	4. 46	4. 20	4. 22	4. 25
6	4. 35	4. 52	4. 31	4. 32	4. 35
7	4. 27	4. 40	4. 24	4. 28	4. 27
8	4. 32	4. 44	4. 29	4. 29	4. 32
9	4. 29	4. 42	4. 26	4. 25	4. 29
10	4. 35	4. 49	4. 32	4. 28	4. 36
11	4. 25	4. 39	4. 22	4. 26	4. 25

12	4.39	4.55	4.35	4.33	4.39
13	4.31	4.48	4.27	4.30	4.31

※ 平均値 4.0 未満の数値を赤字表記。

留学生はすべての設問において 4.3 以上の高い数値を示している。一方、日本人学生（留学生を除く）はすべての設問において留学生より低い数値を示しており、設問 1 の授業への出席に関しては、2023 年度後期同様、4.0 未満の低い数値となった。スポーツ学生のみに関しては、設問 1 については 4.0 未満となっている。設問 1 以外の設問においては 4.0 を超える結果となっている。これらの結果から、授業への出席を促すことが必要である。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

設問	1～50 人	51～100 人	101～150 人	151～200 人	201～250 人	251～300 人
1	4.01	3.95	3.81	3.84	4.13	4.01
2	4.30	4.24	4.04	4.08	4.23	4.21
3	4.55	4.43	4.32	4.39	4.37	4.31
4	4.41	4.33	4.15	4.23	4.25	4.14
5	4.37	4.34	4.16	4.14	4.26	4.07
6	4.56	4.41	4.24	4.23	4.45	4.25
7	4.39	4.30	4.20	4.27	4.32	4.10
8	4.49	4.42	4.22	4.11	4.35	4.29
9	4.41	4.33	4.22	4.29	4.37	4.12
10	4.51	4.40	4.26	4.35	4.41	4.31
11	4.33	4.33	4.15	4.13	4.30	4.12
12	4.47	4.47	4.30	4.29	4.42	4.34
13	4.46	4.42	4.20	4.22	4.51	4.14

※ 301 人以上は該当クラスなし。

※ 平均値 4.0 未満の数値を赤字表記。

上表は、経営学部教員担当科目の履修者数別の結果である。該当する授業数は、1～50 人で 15 授業、51～100 人で 13 授業、101～150 人で 12 授業、151～200 人で 3 授業、201～250 人で 2 授業、251～300 人で 1 授業であった。平均して数値が一番高いのは、1～50 人規模の授業である。

次に高いのは 51～100 人規模の授業と 201～250 人規模の授業であった。また、51～100 人規模の授業、101～150 人規模の授業、151～200 人規模の授業については、設問 1 の授業への出席に関しては、4.0 未満の低い数値となった。

5. クロス集計について

下表は、設問 11「教室管理」と設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞き取りやすさ」の 4 つの設問のクロス集計の結果である。設問 11「教室管理」の数値が高ければ、設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞き取りやすさ」の数値も高い傾向がみられた。

＊「設問 11：教室管理」と「設問 4：わかりやすさ」

		設問 4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	1	1	1	1		
	5		768	158	29	3	1
	4	1	111	643	57	13	
	3	1	37	108	179	11	2
	2		3	14	10	4	1
	1		2	3	3	1	9

＊「設問 11：教室管理」と「設問 8：教科書・配布資料の活用」

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	1	2	1			
	5	33	805	90	22	5	4
	4	27	135	613	38	10	2
	3	16	48	93	171	8	2
	2	2	9	14	4	2	1
	1		6	3		2	7

＊「設問 11：教室管理」と「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	1	1	2			
	5	1	831	100	23	4	
	4		107	650	58	10	
	3		44	106	171	14	3
	2		5	15	5	5	2
	1		5	2	1	2	8

＊「設問 11：教室管理」と「設問 10：教員の声の聞き取りやすさ」

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問 11	回答なし	1	2	1			
	5		863	80	12	3	1
	4	1	146	641	30	7	
	3	1	56	98	173	7	3
	2		7	11	5	7	2
	1	1	4	4	2	1	6

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の分析

	科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室管理
1	英語リーディング(3)(木 3)	4. 73	4. 60 ④	4. 60 ②
2	ベンチャービジネス(金 2)	4. 65	4. 69 ①	4. 69 ①
3	情報処理概論(火 1)	4. 63	4. 67 ③	4. 43 ⑨
4	数学入門(木 1)	4. 60	4. 51 ⑨	4. 51 ⑤
5	情報処理特論(木 1. 木 2)	4. 57	4. 57 ⑤	4. 52 ④
6	(留)市民生活とキャリア形成Ⅴ(月 2)	4. 56	4. 56 ⑧	4. 48 ⑥
7	A I ・データサイエンス(金 2)	4. 56	4. 68 ②	4. 40 ⑩
8	情報技術の経営学②(木 2)	4. 51		
9	情報(Word)(営 2)(金 1)	4. 48	4. 57 ⑤	4. 57 ③

10	スキルアップ英語 II (G) (金 3)	4. 47	4. 47 ⑩	4. 44 ⑧
11	統計学入門(水 3)	4. 46		
12	統計学入門(木 2)	4. 45		
13	経営学(木 3. 木 4)	4. 40		
14	商業簿記(水 2)	4. 40		
15	税法会計論(木 1)	4. 38		
16	生活経営論(月 2)	4. 36		
17	情報社会と情報倫理(水 3)	4. 35	4. 56 ⑦	
18	(日)市民生活とキャリア形成U(月 1)	4. 34		4. 47 ⑦
19	日本史(月 3)	4. 34		
20	犬山学入門(木 1)	4. 32		
21	トピック対策英語 I (2) (月 2)	4. 30		
22	情報技術の経営学①(火 2)	4. 30		
23	基本経営学(木 2)	4. 29		
24	情報(Word)(法 2)(金 2)	4. 29		
25	(日)基礎力養成 II (B) (木 4)	4. 28		
26	ガバナンスと監査(火 1)	4. 27		
27	環境共生の探究 II(金 2)	4. 26		
28	原価計算論(水 1)	4. 23		
29	流通論(木 3)	4. 20		
30	マーケティング論(火 2)	4. 19		
31	人と組織の経営学①(月 2)	4. 17		4. 40 ⑩
32	マーケティング調査論(水 2)	4. 16		
33	アジア史／アジア史 I (金 2)	4. 15		
34	情報通信ネットワーク(月 1)	4. 14		
35	キャリア支援講座 II (SPI 対策)(金 1)	4. 14		
36	スキルアップ英語 II (A) (金 4)	4. 13		
37	英語リーディング(2)(木 2)	4. 13		
38	(管栄)英語リーディング(月 1)	4. 11		
39	市民生活とビジネス(再)(月 5)	4. 08		
40	人と組織の経営学②(木 1)	4. 03		
41	情報システムの理論と実際(木 2)	4. 03		
42	ビジネス情報処理 II(木 3)	4. 00		

上表では、設問 4「わかりやすさ」の評価値が 4.0 以上の科目を高い順に並べ、中央列に設問 5

「新しいものの見方」、右列に設問 11「教室管理」の評価値が高い上位 10 科目について丸囲み数字でその順番を示した。設問 4 の評価値上位 10 科目のうち、設問 5 に対する評価値上位 10 位以内の科目は 9 科目であり、「わかりやすさ」の評価が高い科目では「新しいものの見方」に対する評価も高くなる傾向がある。また、設問 4 の評価値上位 10 科目のうち、設問 11 に対する評価値上位 10 位以内の科目も 9 科目であり、「わかりやすさ」の評価が高い科目では「教室管理」に対する評価も高くなる傾向がある。なお、設問 4「わかりやすさ」の評価値が 4.0 以上の科目は 46 科目中 42 科目（91%）であった。この割合は 2023 年度後期（49 科目中 47 科目：96%）に比べ約 5%低下した。

*** 設問 5「新しいものの見方」結果**

	科目名	評価
1	ベンチャービジネス(金 2)	4.69
2	A I ・データサイエンス(金 2)	4.68
3	情報処理概論(火 1)	4.67
4	英語リーディング(3)(木 3)	4.60
5	情報(Word)(営 2)(金 1)	4.57
6	情報処理特論(木 1. 木 2)	4.57
7	情報社会と情報倫理(水 3)	4.56
8	(留)市民生活とキャリア形成 V(月 2)	4.56
9	数学入門(木 1)	4.51
10	スキルアップ英語 II(G)(金 3)	4.47
11	統計学入門(水 3)	4.46
12	情報技術の経営学②(木 2)	4.46
13	マーケティング論(火 2)	4.39
14	(日)市民生活とキャリア形成 U(月 1)	4.38
15	経営学(木 3. 木 4)	4.38
16	統計学入門(木 2)	4.36
17	トピック対策英語 I(2)(月 2)	4.35
18	情報技術の経営学①(火 2)	4.34
19	税法会計論(木 1)	4.33
20	環境共生の探究 II(金 2)	4.33
21	ガバナンスと監査(火 1)	4.32
22	犬山学入門(木 1)	4.26
23	生活経営論(月 2)	4.26
24	流通論(木 3)	4.22

25	アジア史／アジア史Ⅰ(金2)	4.21
26	地域産業論(月1)	4.20
27	日本史(月3)	4.20
28	基本経営学(木2)	4.17
29	情報通信ネットワーク(月1)	4.16
30	原価計算論(水1)	4.14
31	(管栄)英語リーディング(月1)	4.14
32	人と組織の経営学①(月2)	4.14
33	(日)基礎力養成Ⅱ(B)(木4)	4.11
34	商業簿記(水2)	4.10
35	マーケティング調査論(水2)	4.10
36	キャリア支援講座Ⅱ(SPI対策)(金1)	4.07
37	情報(Word)(法2)(金2)	4.07
38	アジアの中の思想(木2)	4.04
39	情報システムの理論と実際(木2)	4.03
40	市民生活とビジネス(再)(月5)	4.01
41	ビジネス情報処理Ⅱ(木3)	4.00

設問5「新しいものの見方」において評価値が4.0以上の科目は46科目中41科目(89%)であった。これは2023年度後期(49科目中47科目:96%)に比べ約7%低下した。

* 設問11「教室管理」の結果

	科目名	評価
1	ベンチャービジネス(金2)	4.69
2	英語リーディング(3)(木3)	4.60
3	情報(Word)(営2)(金1)	4.57
4	情報処理特論(木1.木2)	4.52
5	数学入門(木1)	4.51
6	(留)市民生活とキャリア形成Ⅴ(月2)	4.48
7	(日)市民生活とキャリア形成Ⅴ(月1)	4.47
8	スキルアップ英語Ⅱ(G)(金3)	4.44
9	情報処理概論(火1)	4.43
10	人と組織の経営学①(月2)	4.40
11	AI・データサイエンス(金2)	4.40
12	地域産業論(月1)	4.40

13	統計学入門(木 2)	4. 39
14	英語リーディング(2)(木 2)	4. 38
15	税法会計論(木 1)	4. 38
16	経営学(木 3. 木 4)	4. 36
17	マーケティング論(火 2)	4. 36
18	統計学入門(水 3)	4. 36
19	マーケティング調査論(水 2)	4. 35
20	ビジネス情報処理 II(木 3)	4. 33
21	流通論(木 3)	4. 33
22	情報技術の経営学②(木 2)	4. 32
23	ガバナンスと監査(火 1)	4. 31
24	生活経営論(月 2)	4. 30
25	情報技術の経営学①(火 2)	4. 25
26	(日)基礎力養成 II(B)(木 4)	4. 23
27	犬山学入門(木 1)	4. 23
28	人と組織の経営学②(木 1)	4. 22
29	情報社会と情報倫理(水 3)	4. 22
30	情報(Word)(法 2)(金 2)	4. 21
31	スキルアップ英語 II(A)(金 4)	4. 20
32	情報通信ネットワーク(月 1)	4. 20
33	トピック対策英語 I(2)(月 2)	4. 17
34	日本史(月 3)	4. 17
35	原価計算論(水 1)	4. 17
36	環境共生の探究 II(金 2)	4. 14
37	アジア史／アジア史 I(金 2)	4. 13
38	キャリア支援講座 II(SPI 対策)(金 1)	4. 12
39	(管栄)英語リーディング(月 1)	4. 11
40	基本経営学(木 2)	4. 08
41	情報システムの理論と実際(木 2)	4. 06
42	市民生活とビジネス(再)(月 5)	4. 04
43	商業簿記(水 2)	4. 00

設問 11「教室管理」において評価値が 4.0 以上の科目は 46 科目中 43 科目（93%）であった。これは 2023 年度後期（49 科目中 48 科目：98%）に比べ約 5%低下した。

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」とも 2023 年度後期よりもやや低い評価と

なった。これら 3 項目について、授業において配慮する必要があると考えられる。今後もアンケート結果を注視していきたい。

7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅰ、Ⅱについて

* 専門共通基礎Ⅰ

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	77	市民生活とビジネス(再) (月 5)	4. 08	4. 01	4. 04
留学生のみ	35		4. 14	4. 17	4. 23
留学生を除く	42		4. 02	3. 88	3. 88
スポーツ学生のみ	17		4. 18	4. 00	4. 00
スポーツ学生を除く	60		4. 05	4. 02	4. 05

設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室管理」において、大学全体の平均評価値に到達しなかった。また、3 項目とも 2023 年度後期の全学生評価値（「わかりやすさ」：4. 13、「新しいものの見方」：4. 15、「教室管理」：4. 15）をやや下回った。特に留学生以外の学生における「新しいものの見方」、「教室管理」については評価が低かった。本科目は 5 時限に開講されたこと、再履修クラスであることなどが背景にあると考えられるが、日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。

* 専門共通基礎Ⅱ

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	106	情報技術の経営学①(火 2)	4. 30	4. 34	4. 25
留学生のみ	25		4. 52	4. 56	4. 44
留学生を除く	81		4. 23	4. 27	4. 19
スポーツ学生のみ	14		4. 57	4. 43	4. 57
スポーツ学生を除く	92		4. 26	4. 33	4. 20
全学生	63	情報技術の経営学②(木 2)	4. 51	4. 46	4. 32
留学生のみ	6		4. 67	4. 50	4. 50
留学生を除く	57		4. 49	4. 46	4. 30
スポーツ学生のみ	9		4. 78	4. 56	4. 67
スポーツ学生を除く	54		4. 46	4. 44	4. 26

—情報技術の経営学①（経営学部必修）

設問 4「わかりやすさ」について、留学生およびスポーツ学生においては大学全体の平均評価値

4.26 を上回った。設問 5「新しいものの見方」では、受講学生全体の評価値は大学全体の平均評価値 4.26 を上回り、特に留学生の評価値は 4.56 と高かった。設問 11「教室管理」については、留学生およびスポーツ学生において大学全体の平均評価値 4.27 を上回った。また、全学生について 2023 年度後期の評価値（「分かりやすさ」:4.31、「新しいものの見方」:4.20、「教室管理」:4.09）と比較すると、3 項目とも上昇した。

—情報技術の経営学②（経済・法学部選択）

設問 4「わかりやすさ」および設問 5「新しいものの見方」については、日本人学生／留学生、スポーツ学生を問わずすべての学生区分で大学全体の平均評価値を上回った。設問 11「教室管理」については、留学生およびスポーツ学生において大学全体の平均評価値を上回った。3 項目とも、特に留学生およびスポーツ学生による評価が高かった。また、受講学生全体でみると、3 項目とも 2023 年度後期の全学生評価値（「分かりやすさ」:4.42、「新しいものの見方」:4.33、「教室管理」:4.17）から上昇した。

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	65	人と組織の経営学①(月 2)	4.17	4.14	4.40
留学生のみ	8		4.13	4.13	4.13
留学生を除く	57		4.18	4.14	4.44
全学生	60	人と組織の経営学②(木 1)	4.03	3.97	4.22
留学生のみ	7		4.57	4.43	4.43
留学生を除く	53		3.96	3.91	4.19
スポーツ学生のみ	15		4.27	4.27	4.40
スポーツ学生を除く	45		3.96	3.87	4.16

—人と組織の経営学①（経営学部必修）

設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室管理」において、いずれも平均評価値が 4.1 以上であった。特に「教室管理」については、日本人学生においては大学全体の平均評価値 4.27 を上回った。また、受講学生全体でみると、3 項目とも 2023 年度後期の全学生評価値（「分かりやすさ」:4.10、「新しいものの見方」:4.01、「教室管理」:4.21）から上昇した。

—人と組織の経営学②（経済・法学部選択）

留学生による評価について、設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室管理」において、それぞれ大学全体の平均評価値を上回った。また、スポーツ学生による評価について、「教室管理」において、大学全体の平均評価値を上回った。その一方で、日本人学生からの評価については、「わかりやすさ」、「新しいものの見方」においてやや低い評価であった。

2024 年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	2, 189	2, 189	1, 141	52. 12
【全体】	16, 216	16, 216	9, 175	56. 58

法学部の専任教員担当科目のうち 22 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 52. 12%と、今年度前期より 3. 2 ポイント下落した。全体と比べて低い数値になっていることに加え、昨年度後期より大きく下落してしまったので、今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3. 9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4. 1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4. 4
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いますか	4. 2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたかと思いますか	4. 2
6	教員の教え方には、熱意があったかと思います	4. 3
7	授業の速さや進め方は、適切だったかと思いますか	4. 2
8	教科書、配布資料が活用されていたかと思いますか	4. 2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたかと思いますか	4. 2
10	教員の声は聞き取りやすかったかと思いますか	4. 3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったかと思いますか	4. 2
12	教員は、授業時間を守っていたかと思いますか	4. 3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいかと思いますか この授業の教え方はいいですか	4. 2

今年度前期の結果と比較すると、いくつかの項目で、ポイント上昇している。項目 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11 である。低下した項目はひとつも見られなかった。昨年度から今年度前期にかけても多くの項目で上昇が見られたので、中長期的に改善、上昇が見られると言える。これらの成果を項目 1 の学生の出席率向上に結び付けたい。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3. 9	4. 1	3. 9	3. 9	3. 6
2	あなたは予習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4. 2	4. 3	4. 1	4. 1	4. 1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4. 4	4. 4	4. 5	4. 4	4. 3
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いますか	4. 3	4. 3	4. 2	4. 1	4. 3
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたかと思いますか	4. 2	4. 3	4. 2	4. 2	4. 2
6	教員の教え方には、熱意があったかと思いますか	4. 3	4. 4	4. 3	4. 3	4. 4
7	授業の速さや進め方は、適切だったかと思いますか	4. 3	4. 3	4. 3	4. 1	4. 2
8	教科書、配布資料が活用されていたかと思いますか	4. 3	4. 4	4. 3	4. 2	4. 2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたかと思いますか	4. 3	4. 3	4. 3	4. 2	4. 2
10	教員の声は聞き取りやすかったかと思いますか	4. 4	4. 4	4. 3	4. 3	4. 4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったかと思いますか	4. 2	4. 3	4. 2	4. 2	4. 2
12	教員は、授業時間を守っていたかと思いますか	4. 4	4. 5	4. 4	4. 2	4. 3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいかと思いますか 教え方はいいですか	4. 3	4. 4	4. 2	4. 2	4. 3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	80. 7	88. 1	74. 1	75. 0	80. 6

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.8	3.9	3.9	3.6	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.0	4.2
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.3	4.4	4.2	4.1	4.2
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.3	4.1	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.4	4.4	4.3	4.2	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.3	4.4	4.2	4.1	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	78.7	83.1	72.7	77.9	78.1

設問Eの数値が、今年度前期と比較して全体的に大幅に上昇している。全学年平均を見ると、「全学生」では、項目2, 4, 7, 8, 9, 10, 13において、「スポーツ学生」では、項目2, 3, 4, 5, 7, 9, 11, 12, 13において、今年度前期より数値の上昇が見られ、シラバスを読んだ上で授業を選択していることが、全体的な満足度上昇にもつながっているように見受けられる。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.9	3.8	3.9	4.0	3.8
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.3	4.1	4.2	4.2	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.5	4.3	4.5	4.4	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.4	4.1	4.3	4.2	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.5	4.2	4.3	4.2	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.6	4.3	4.4	4.3	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.4	4.2	4.4	4.3	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.5	4.2	4.2	4.4	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.6	4.3	4.4	4.3	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.4	4.2	4.3	4.3	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.5	4.3	4.4	4.4	4.1
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.5	4.2	4.3	4.3	4.0

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1～50 名規模のものが3、51～100 名規模のものが11、101～150 名規模のものが4、151～200 名規模のものが2、201～250 名規模のものが2である。

151～200 名規模の授業では、それ以外の規模の授業と比べて、全体的に低い数値が出ているが、設問1以外の全ての項目で4.0以上は維持している。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(教) 教師論(木5)	4.67	4.67①
(日) 基礎力養成 II(C)(木4)	4.62	4.40⑥
債権総論(水2)	4.47	4.41④
刑事訴訟法(木4)	4.42	4.26
歴史との対話(水3)	4.40	4.39⑧
労働法(木3)	4.38	4.33⑩
特殊専門講義Ⅱ(中国法)(火1)	4.35	4.59②
市民生活と法(再)(木5)	4.34	4.41⑤
政治の世界(木4)	4.33	4.39⑦
国家と法(日本国憲法)②(火1)	4.31	4.36⑨
外国法(水3)	4.30	4.47③
行政救済法(水1)	4.19	4.31
国家と法(日本国憲法)①(火1)	4.16	4.15
会社法(水2)	4.11	4.12
(日) 公務員・就職試験対策Ⅱ(SPI含む)(火2)	4.10	3.95
憲法(火2)	3.98	4.23
家族法(火2)	3.95	4.08
法哲学(木4)	3.89	4.11
民事訴訟法(金3)	3.80	3.85
犯罪と法②(火1)	3.73	3.96
国際法(金2)	3.67	3.66
犯罪と法①(水2)	3.56	3.70

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
(教) 教師論(木5)	4.70
(日) 基礎力養成 II(C)(木4)	4.43
債権総論(水2)	4.40
国家と法(日本国憲法)②(火1)	4.39
労働法(木3)	4.35
外国法(水3)	4.32
特殊専門講義Ⅱ(中国法)(火1)	4.29
憲法(火2)	4.28
歴史との対話(水3)	4.26
会社法(水2)	4.23

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1					
		5		397	89	20	2	
		4		53	315	40	10	2
		3		14	50	97	10	5
		2	1	1	4	9	5	1
		1		2	2	5		6
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1					
		5	21	415	51	18	3	
		4	7	67	307	28	10	1
		3	1	16	42	106	8	3
		2	1	1	5	8	6	
		1		4	2	3		6
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1					
		5		442	45	15	4	2
		4		49	315	43	10	3
		3		19	32	114	8	3
		2	1	1	7	5	5	2
		1		2	2	1	3	7
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1					
		5	1	461	37	7	2	
		4	1	76	307	29	4	3
		3		29	40	97	9	1
		2		2	8	4	7	
		1		4	2	2		7

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問4、設問8、設問9、設問 10 とで行なわれている。今年度後期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎Ⅰ

対象	有効数	科目名	設問 04 (わかりやすさ)	設問 05 (新しいものの見方)	設問 11 (教室・授業管理)
全学生	33	市民生活と法(再)(木 5)	4.34	4.41	4.18
留学生のみ	16		4.07	4.20	3.94
留学生を除く	17		4.59	4.59	4.41
スポーツ学生のみ	9		4.11	4.11	3.78
スポーツ学生を除く	24		4.43	4.52	4.33

専門共通基礎Ⅱ

対象	有効数	科目名	設問 04 (わかりやすさ)	設問 05 (新しいものの見方)	設問 11 (教室・授業管理)
全学生	164	国家と法(日本国憲法)① (火 1)	4.16	4.15	4.20
留学生のみ	49		4.24	4.22	4.24
留学生を除く	115		4.13	4.11	4.18
スポーツ学生のみ	56		4.18	4.11	4.23
スポーツ学生を除く	108		4.16	4.17	4.19
全学生	67	国家と法(日本国憲法)② (火 1)	4.31	4.36	4.39
留学生のみ	5		3.80	3.80	3.80
留学生を除く	62		4.35	4.40	4.44
スポーツ学生のみ	20		4.45	4.45	4.35
スポーツ学生を除く	47		4.26	4.32	4.40
全学生	43	犯罪と法①(水 2)	3.56	3.70	3.95
留学生のみ	16		3.94	4.25	4.25
留学生を除く	27		3.33	3.37	3.78
スポーツ学生のみ	11		4.00	4.18	4.00
スポーツ学生を除く	32		3.41	3.53	3.94
全学生	45	犯罪と法②(火 1)	3.73	3.96	3.82
留学生のみ	6		4.00	4.17	3.83
留学生を除く	39		3.69	3.92	3.82
スポーツ学生のみ	4		3.25	3.00	2.75
スポーツ学生を除く	41		3.78	4.05	3.93

専門共通基礎Ⅰについては、「市民生活と法（再履修）」が分析の対象となる。「留学生のみ」の平均値が「留学生を除く」よりも高く、「スポーツ学生のみ」の平均値が「スポーツ学生を除く」よりも低くなっている。

専門共通基礎Ⅱについては、「国家と法（日本国憲法）」「犯罪と法」が分析の対象となる。それぞれの科目の①が科目設置学部 of 学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。「国家と法（日本国憲法）②」以外の科目では、「留学生のみ」の平均値が「留学生を除く」よりも高くなっている。「犯罪と法」では、昨年度後期と同様に、①は「スポーツ学生のみ」で平均値が高い傾向になっている。全体としては昨年度後期よりも数値が上昇している項目が多く見られる。

2024 年度後期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科 FD 委員

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは 26 科目について行われた。学生の回答率は約 81%であった。大学全体の回答率は約 57%であり、本学科の回答率は高いといえる(表 1)。なお前期は約 84%(全体約 63%)であり、回答率が若干低下した。

【表 1】

所属	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数(F)	回答率(F/E)
教保	766	766	620	80.94
全体	16,216	16,216	9,175	56.58

2. 本学科の教員担当科目の概要

【表 2】

所属/設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全体	3.98	4.21	4.42	4.26	4.26	4.35	4.29	4.32	4.31	4.37	4.27	4.41	4.29
教保	4.11	4.45	4.65	4.5	4.49	4.57	4.51	4.39	4.5	4.58	4.51	4.58	4.52
教保(前期)	4.28	4.5	4.62	4.52	4.55	4.6	4.56	4.43	4.56	4.61	4.56	4.63	4.52

※設問

- あなたはこの授業によく出席しましたか
- あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
- この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること
- 授業内容はわかりやすかったと思いますか
- この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
- 教員の教え方には熱意があったと思いますか
- 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
- 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
- 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
- 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
- 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
- 教員は授業時間を守っていたと思いますか
- この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

表 2 から、全ての設問について全体平均を上回り、相対的に高いポイントとなっている。これは前期と同様である。とりわけ設問 1 (出席)、2 (意欲)、5 (新しい見方) および 8 (資料活用) を除き、全て 4.5 以上であり、最も高い評価(= 5)が多数を占めていることが分かる。その中で特に設問 3 (シラバス)、6 (熱意)、10 (声量) および 12 (時間) について、授業内容に直接関わるものではないが、適切な進行や講師に対する評価が相対的に高い数値となっている。授業内容および内容理解に関する項目(設問

4、5)も4.5前後となっており、十分に高いといえる。あえて前期と比較すると、設問3および13以外のポイントが低下している(表2 網掛け部)。

3. 「クロス集計」(授業管理)結果

【表3】

		設問4								設問8								設問9								設問10					
		無回答	5	4	3	2	1			無回答	5	4	3	2	1			無回答	5	4	3	2	1			無回答	5	4	3	2	1
設問11	無回答				1			無回答			1				無回答		1				無回答			1							
	5		338	31	8	4		5	81	265	19	10	2	4	5	44	303	30	1	2	1	5		364	16	1					
	4		33	151	7	2		4	27	15	137	10	4		4	21	23	141	4	3	1	4		40	144	8	1				
	3		3	17	11	1		3	1	3	10	17	1		3	1	7	8	16			3		6	11	13	1	1			
	2		1	1	1	4	1		2			4	1	3		2	2			4		2		2	1	1	3	1			
	1					2	3	1					2	3	1				1			1			1			4			

授業管理に関する設問のクロス集計結果は表3のとおりである。表中の網掛け部のとおり、適切な授業環境の維持と、授業理解、資料活用、板書・スクリーン活用および声量に関する設問とのあいだに相関性があることがわかる。なお、全ての設問に1をつける回答が前後期ともに3件あった。

4. 「学生視点」集計結果

(1) 学年別

【表4-1】'24 後期

設問	1年	2年	3年	4年
1	4.2	4.3	4.0	3.7
2	4.6	4.4	4.4	4.4
3	4.8	4.4	4.5	4.5
4	4.7	4.2	4.3	4.6
5	4.7	4.3	4.3	4.6
6	4.7	4.4	4.3	4.7
7	4.7	4.3	4.2	4.6
8	4.7	4.2	4.2	4.5
9	4.7	4.3	4.2	4.5
10	4.7	4.4	4.3	4.7
11	4.7	4.3	4.2	4.5
12	4.8	4.4	4.2	4.6
13	4.7	4.3	4.1	4.6
平均	4.7	4.3	4.3	4.5

【表4-2】'24 前期

設問	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.3	4.2	3.9
2	4.6	4.3	4.4	4.4
3	4.7	4.4	4.5	4.7
4	4.7	4.3	4.3	4.4
5	4.7	4.3	4.3	4.4
6	4.7	4.5	4.3	4.6
7	4.6	4.4	4.3	4.4
8	4.6	4.1	4.3	4.5
9	4.7	4.3	4.3	4.5
10	4.8	4.5	4.4	4.6
11	4.7	4.4	4.3	4.4
12	4.8	4.5	4.3	4.6
13	4.7	4.3	4.3	4.4
平均	4.7	4.4	4.3	4.4

学年別の結果を4.5以上の数値を網掛けで示した(表4-1 参照。ただし科目等履修生、所属不明者のデータを除く)。また参考として前期の結果を表4-2に示した。

全学年をとってみると設問3(シラバス)のポイントが特に高く、設問6(熱意)、10(声)、及び12(時間)のポイントが相対的にやや高い。ただし、設問E(シラバス理解)の回答結果は「はい」508件(60.0%)、「いいえ」338件(40.0%)であり、設問3の回答率自体が回答者全体の6割程度であることに留意を要する。また、前期と同様に4年の設問1(出席)を除き、前期と同様に全設問の回答で4点台となった。

学年別にみた際、やはり前期と同様に1年生のポイントが相対的に極めて高く、設問1を除く全設問の回答が4.6以上となっている。1年生のポイントが高い傾向は、過年度においても同様の結果がみられるが、設問1を除き、少なくとも昨年度(4.4-4.6)よりもポイントが高く(4.6-4.8)なっている。なお、前期総括においても指摘したとおり、このことは上級学年になるとポイントが下がることを意味しており、例年の分析において実習開始によるモチベーション低下が指摘されている。ポイントの相対的低下について、実習が開始

されると、五月雨式に学生が抜け、授業の継続性が遮断される中で、全ての履修者に対して十分なフォローをすることは難しく、そもそも2、3年生の結果は十分に高い数値といえなくもない。しかしながら改善策を検討するとすれば、理論（座学）と実践（実習）の往還こそが教育学・保育学の修得において重要であることを学生に意識づけさせ、理解させること、そして実習での学びと各授業内容をつなげる工夫をすることなどが必要と考える。

（２）スポーツ推薦入学の学生

「スポーツ学生」を分類基準とした学年別の結果は表 5 のとおりである。4.0 未満の数値を明朝斜体で示した。平均値の傾向をみると、(1)全体ではスポーツ学生が高く、(2)1年および3年でスポーツ学生が高く、そして(3)2年のみ一般学生が高くなった（網掛け及び太字部分参照）。また参考として前期の結果を表 5-1 に示す。

学年ごとに数値の傾向が異なること、また昨年度の結果と比較した場合、例えば2年ではスポーツ学生の方が高かったこと（おおよそ、スポーツ：一般＝4点台後半：4点台前半）などから、本データのみからのスポーツ学生及び一般学生という類型による考察は難しい。例えば、昨年度数値の高かった「2年スポーツ学生」が、今回「3年スポーツ学生」においても相対的に数値が高いこと、また全体的に前期とほぼ同様の傾向となったことから、授業・教員側の要因よりも学生側の要因に依拠した結果である可能性は考えられる。しかし、昨年度高かった「1年スポーツ学生」が、今回「2年スポーツ学生」において数値が低いことは、上記（１）の分析が当てはまり、2年次における部活・実習・授業の三者が鼎立しているような状況が推測できる。一方で同じく実習のある3年次においてはスポーツ学生の評価が相対的に高いことから、やはり本結果から何らかの分析結果を示すことは難しい。

そもそも、授業評価アンケートは全体の結果は平均値でしかなく、個別の事情までは反映されないことは言うまでもないため、数値に囚われることなく、各学生の状況に応じた授業内・授業外での学習支援やモチベーションのフォローが必要であろう。

【表 5-1】

	全体		1年		2年		3年		4年	
設問	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生	スポーツ学生	一般学生
1	4.1	4.2	4.1	4.4	4.1	4.3	4.1	4.0	3.8	3.7
2	4.6	4.4	4.6	4.5	4.1	4.5	4.8	4.3	4.9	4.4
3	4.8	4.6	4.9	4.8	4.0	4.4	4.9	4.5	4.6	4.5
4	4.7	4.4	4.8	4.6	4.1	4.3	4.9	4.2	4.6	4.6
5	4.7	4.4	4.8	4.6	4.0	4.3	4.9	4.2	4.6	4.6
6	4.7	4.5	4.8	4.7	4.3	4.4	4.9	4.2	4.7	4.6
7	4.7	4.4	4.8	4.6	4.1	4.3	4.7	4.2	4.7	4.6
8	4.6	4.4	4.7	4.6	3.9	4.2	4.6	4.2	4.6	4.5
9	4.7	4.4	4.8	4.7	4.1	4.3	4.7	4.2	4.6	4.5
10	4.7	4.5	4.8	4.7	4.3	4.5	4.9	4.3	4.6	4.7
11	4.6	4.4	4.7	4.6	4.1	4.4	4.9	4.2	4.6	4.5
12	4.7	4.5	4.8	4.7	4.1	4.4	4.9	4.2	4.6	4.6
13	4.7	4.4	4.8	4.6	3.9	4.3	4.9	4.1	4.7	4.6
平均	4.6	4.4	4.7	4.6	4.1	4.4	4.8	4.2	4.6	4.5
件数	224	634	172	226	30	169	13	161	9	78

【表 5-2】

	全体		1年		2年		3年		4年	
設問	スポーツ 学生	一般 学生	スポーツ 学生	一般 学生	スポーツ 学生	一般 学生	スポーツ 学生	一般 学生	スポーツ 学生	一般 学生
1	4.2	4.3	4.3	4.5	4.0	4.4	4.2	4.2	3.6	3.9
2	4.5	4.5	4.7	4.6	3.8	4.4	4.8	4.4	4.3	4.4
3	4.7	4.6	4.8	4.7	4.0	4.5	4.7	4.5	4.4	4.7
4	4.6	4.4	4.7	4.7	4.0	4.3	4.7	4.3	4.3	4.4
5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.1	4.4	4.6	4.3	4.2	4.5
6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.1	4.6	4.7	4.3	4.5	4.6
7	4.6	4.5	4.7	4.6	4.0	4.4	4.7	4.3	4.0	4.5
8	4.5	4.4	4.6	4.5	4.0	4.2	4.6	4.3	4.1	4.5
9	4.6	4.5	4.7	4.7	4.0	4.3	4.6	4.3	4.1	4.5
10	4.7	4.6	4.8	4.8	4.3	4.5	4.7	4.4	4.2	4.6
11	4.6	4.5	4.7	4.7	4.1	4.5	4.7	4.3	4.0	4.5
12	4.7	4.6	4.8	4.7	4.1	4.5	4.4	4.3	4.3	4.6
13	4.5	4.4	4.7	4.7	3.9	4.3	4.7	4.3	3.9	4.4
平均	4.6	4.5	4.7	4.6	4.0	4.4	4.6	4.3	4.1	4.5
件数	322	808	256	284	40	201	15	212	11	110

2024 年度後期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

実施予定 53 科目の全てが実施され回収率は 100%であった。回答率は 75.29%で、全体の回答率 56.58%よりも高い回答率であった。前期の回答率 84.08%と比べて約 9 ポイント低かった。

所属名		対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】		282	282	100.00	16,216	16,216	9,175	56.58
人間生活科学部・ 管理栄養学科	後期	53	53	100.00	1,744	1,744	1,313	75.29
	前期	54	54	100.00	1,658	1,658	1,394	84.08

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについての 2024 年度後期と前期および 2023 年度後期との比較

設 問	内 容	2024 年度後期		2024 年度前期		2023 年度後期	
		管理栄養 学科	全体	管理栄養 学科	全体	管理栄養 学科	全体
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.17	3.98	4.35	4.09	4.16	3.91
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか	4.25	4.21	4.18	4.17	4.28	4.15
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.54	4.42	4.56	4.38	4.56	4.40
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.29	4.26	4.16	4.17	4.31	4.21
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.28	4.26	4.15	4.18	4.28	4.20
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.38	4.35	4.28	4.29	4.36	4.30
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.33	4.29	4.24	4.21	4.32	4.24
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.36	4.32	4.35	4.25	4.37	4.29
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.37	4.31	4.31	4.25	4.35	4.25
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.37	4.37	4.30	4.31	4.36	4.31
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.32	4.27	4.27	4.19	4.30	4.21
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.43	4.41	4.40	4.39	4.42	4.37
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)	4.31	4.29	4.18	4.22	4.30	4.22
	全平均値	4.34	4.29	4.29	4.24	4.34	4.26

前期と比較し、「設問1：出席率」は4.35 → 4.17と低くなっているが、「設問2：学習意欲」が4.18 → 4.25と高くなる傾向をみると、学生の学習意欲は前期と比べて高まっていると考えられた。「設問4：わかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方」についても前期と比較して高くなる傾向がみられ、学習意欲の高まりとともに学習内容の理解が深まっている可能性が考えられた。

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

設 問	2024 年度 後期								2024 年度 前期							
	1年生		2年生		3年生		4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
1	483	4.37	444	4.22	458	3.98	24	3.08	468	4.64	489	4.22	490	4.30	98	3.91
2	483	4.29	444	4.22	457	4.21	24	3.75	469	4.15	489	4.22	492	4.12	98	4.16
3	230	4.50	252	4.60	175	4.64	15	4.07	165	4.53	284	4.57	202	4.57	48	4.44
4	483	4.38	444	4.25	457	4.25	24	4.04	469	4.14	489	4.21	492	4.05	98	4.35
5	482	4.35	444	4.25	455	4.24	24	4.21	467	4.16	450	4.25	490	4.02	97	4.30
6	481	4.41	443	4.38	455	4.37	24	4.25	469	4.28	487	4.32	490	4.18	97	4.42
7	483	4.39	443	4.32	457	4.30	24	4.21	469	4.22	490	4.32	492	4.13	98	4.38
8	477	4.38	443	4.36	457	4.33	24	4.21	433	4.30	478	4.34	433	4.30	96	4.42
9	482	4.34	443	4.40	457	4.34	24	4.25	432	4.34	450	4.34	491	4.19	97	4.40
10	482	4.38	443	4.38	457	4.35	24	4.21	468	4.37	489	4.33	491	4.16	98	4.50
11	483	4.34	442	4.29	457	4.27	24	3.96	469	4.29	489	4.34	492	4.14	97	4.40
12	479	4.44	442	4.45	457	4.36	24	4.42	469	4.46	490	4.40	492	4.33	98	4.48
13	482	4.38	441	4.27	455	4.26	24	4.04	469	4.21	484	4.26	488	4.04	97	4.31
平均	462	4.38	428	4.34	435	4.30	23	4.05	440	4.31	466	4.32	464	4.19	94	4.34

出席率は前期と比べて4年生で3.91 → 3.08、3年生で4.30 → 3.98と低くなっている。これは、4年生については就職活動によって授業に出席できないことが、3年生については臨地実習が授業と重なっていて出席できなかったことが原因になっていると考えられる。

1年生では、前期と比べて「設問2：学習意欲」、「設問4：わかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方」が全学年でポイントが高くなる傾向がみられたが、これは、入学後に学生生活や90分授業にも慣れて、人間関係を築き、落ち着いて学習しやすい環境が整ったことがあるのではないかと推測された。1年生でも出席率が前期と比べて低くなっているが、この傾向は毎年みられるようである。大学入学後に学生生活にも慣れ、緊張感がなくなってきたことが原因ではないかと思われた。

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1年生	2年生	3年生	平均	1年生	2年生	3年生	平均
1	4.42	4.36	4.03	4.27	4.36	4.20	3.98	4.18
2	4.44	4.64	4.50	4.53	4.25	4.17	4.18	4.20
3	4.54	4.69	4.63	4.62	4.49	4.58	4.64	4.57
4	4.51	4.46	4.61	4.53	4.34	4.22	4.21	4.26
5	4.48	4.54	4.61	4.54	4.32	4.22	4.21	4.25
6	4.53	4.62	4.58	4.58	4.38	4.35	4.35	4.36
7	4.51	4.50	4.58	4.53	4.36	4.29	4.28	4.31
8	4.51	4.52	4.61	4.55	4.34	4.34	4.31	4.33
9	4.53	4.68	4.61	4.61	4.29	4.37	4.32	4.33
10	4.53	4.58	4.61	4.57	4.34	4.35	4.33	4.34
11	4.53	4.62	4.61	4.59	4.29	4.25	4.24	4.26
12	4.54	4.70	4.61	4.62	4.41	4.42	4.34	4.39
13	4.57	4.33	4.53	4.47	4.33	4.27	4.23	4.28
平均	4.51	4.56	4.54	4.54	4.34	4.31	4.28	4.31

1年生、2年生の学年の「設問1：出席率」は、非スポーツ学生と比べてスポーツ学生で高い傾向がみられた。「設問2：学習意欲」についてはいずれの学年においても、スポーツ学生の方が非スポーツ学生よりポイントが高い傾向がみられ、「設問4：わかりやすさ」「設問5：新しいものの見方」についてもスポーツ学生の方が非スポーツ学生より高い傾向がみられた。これは、2023年度でも同様の結果が得られている。

4. 「設問4：授業内容のわかりやすさ」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生の科目	1組	2組	平均	2年生の科目	1組	2組	平均
食品学実験Ⅱ	4.70	4.85	4.78	栄養教育論実習Ⅰ	4.41	4.77	4.59
食品学Ⅱ	4.58	4.78	4.68	栄養教育論Ⅰ	4.39	4.76	4.58
調理学実習	4.50	4.85	4.68	給食経営管理論実習	4.39	4.73	4.56
生化学実験Ⅱ	4.37	4.37	4.37	給食経営管理論Ⅱ	4.17	4.75	4.46
平均	4.31	4.44	4.38	基礎栄養学実習	4.19	4.55	4.37
				臨床栄養学Ⅰ	4.22	4.45	4.34
				応用栄養学Ⅱ	4.09	4.44	4.27
				基礎栄養学Ⅱ	4.16	4.33	4.25
				平均	4.13	4.34	4.24

3年生の科目	1組	2組	平均
臨床栄養学Ⅲ	4.44	4.43	4.44
栄養教育論演習	4.52	4.19	4.35
公衆衛生学実習	4.58	4.09	4.34
公衆衛生学Ⅱ	4.40	4.28	4.34
平均	4.43	4.21	4.32

「設問4：わかりやすさ」については、1年生では1組も2組もほぼ同じようなポイントを示していたが、2年生ではどの科目も2組の方が1組よりもポイントが高い傾向を示した。また、3年生では逆に1組の方が2組よりもポイントの方が高い傾向がみられた。

5. 「設問5：新しいものの見方」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生の科目	1組	2組	平均	2年生の科目	1組	2組	平均
食品学実験Ⅱ	4.70	4.85	4.78	栄養教育論実習Ⅰ	4.45	4.86	4.66
食品学Ⅱ	4.58	4.78	4.68	給食経営管理論実習	4.39	4.73	4.56
調理学実習	4.50	4.65	4.58	栄養教育論Ⅰ	4.17	4.82	4.50
平均	4.31	4.41	4.36	給食経営管理論Ⅱ	4.11	4.63	4.37
				基礎栄養学実習	4.19	4.55	4.37
				臨床栄養学Ⅰ	4.13	4.55	4.34
				平均	4.08	4.40	4.24

3年生の科目	1組	2組	平均
公衆衛生学Ⅱ	4.52	4.28	4.40
臨床栄養学Ⅲ	4.37	4.34	4.36
公衆衛生学実習	4.63	4.03	4.33
平均	4.45	4.15	4.30

「設問5：新しいものの見方」についても「設問4：わかりやすさ」と同様に、1年生ではどの科目もほぼ同じようなポイントを示していたが、2年生では、2組の方が1組よりもポイントが高い傾向があった。また、3年生では逆に1組の方が2組よりもポイントが高い傾向がみられた。

「設問4：わかりやすさ」や「設問5：新しいものの見方」は、学年によって1組と2組で違いがみられたのは、クラス間での授業に対する理解度の差を反映している可能性が考えられた。

6. 「設問 11：教室管理」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生の科目	1組	2組	平均	2年生の科目	1組	2組	平均
食品学実験Ⅱ	4.70	4.70	4.70	給食経営管理論実習	4.39	4.68	4.54
食品学Ⅱ	4.63	4.78	4.70	栄養教育論実習Ⅰ	4.39	4.68	4.53
調理学実習	4.61	4.65	4.63	給食経営管理論Ⅱ	4.22	4.79	4.51
生化学実験Ⅱ	4.37	4.42	4.39	栄養教育論Ⅰ	4.17	4.82	4.50
平均	4.37	4.36	4.37	基礎栄養学実習	4.24	4.57	4.40
				臨床栄養学Ⅰ	4.26	4.45	4.36
				応用栄養学Ⅱ	4.23	4.48	4.35
				平均	4.20	4.40	4.30

3年生の科目	1組	2組	平均
公衆衛生学実習	4.50	4.44	4.47
栄養教育論演習	4.52	4.39	4.45
公衆衛生学Ⅱ	4.56	4.24	4.40
臨床栄養学Ⅲ	4.41	4.37	4.39
平均	4.42	4.26	4.34

1年生、2年生、3年生で平均ポイントが上位にきている科目はおおむね、「設問4：授業内容のわかりやすさ」で平均ポイントが上位にくる傾向が見られ、「設問11：教室管理」と「設問4：授業内容のわかりやすさ」の間には、ある程度関連性があることが推測された。

7. 「設問13：授業の教え方」における専門科目ごとのクラス間の比較

1年生の科目	1組	2組	平均	2年生の科目	1組	2組	平均
食品学実験Ⅱ	4.80	4.85	4.83	栄養教育論実習Ⅰ	4.50	4.86	4.68
食品学Ⅱ	4.74	4.89	4.81	栄養教育論Ⅰ	4.56	4.76	4.66
調理学実習	4.56	4.75	4.65	給食経営管理論実習	4.43	4.68	4.56
生化学実験Ⅱ	4.63	4.47	4.55	基礎栄養学実習	4.38	4.62	4.50
平均	4.38	4.45	4.41	給食経営管理論Ⅱ	4.33	4.63	4.48
				臨床栄養学Ⅰ	4.22	4.50	4.36
				平均	4.19	4.32	4.26

3年生の科目	1組	2組	平均
公衆衛生学Ⅱ	4.68	4.45	4.56
公衆衛生学実習	4.63	4.41	4.52
臨床栄養学Ⅲ	4.44	4.43	4.44
臨床栄養学実習Ⅱ	4.27	4.44	4.35
平均	4.50	4.26	4.38

1年生、2年生、3年生で平均ポイントが上位にきている科目はおおむね、「設問4：授業内容のわかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方や考え方」、「設問11：教室管理」で平均ポイントが上位にきている傾向がみられ、「設問4：授業内容のわかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方や考え方」、「設問11：教室管理」で評価が高いことが「授業の教え方」の高評価につながっていると考えられた。

8. 「設問11：教室管理」に対する各設問のクロス集計

全体		設問4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	5	3	5	4	1	1
	5	4	3562	609	107	32	7
	4	1	445	2507	267	65	12
	3	1	140	397	683	50	21
	2	1	14	43	40	34	7
	1	1	14	19	18	13	42

人間生活科学部 管理栄養学科		設問4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	2	1	1			
	5		566	78	14	6	
	4		44	362	30	5	2
	3		13	32	117	4	1
	2		1	5	7	7	1
	1			2	3	4	5

上記の左の表から、本学全体において「設問11：教室管理」が高いほど「設問4：わかりやすさ」が高く、「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」の間に関連性がみとめられた。

また、上記の右の表から、人間生活科学部 管理栄養学科においても、「設問11：教室管理」が高いほど「設問4：わかりやすさ」が高くなっており、本学全体においてと同様に、「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」の間に関連性があると考えられた。

これらのことから、しっかりとした教室管理が授業内容のわかりやすさにつながることが推測される。

全体

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	8	3	4	2	1	1
	5	135	3682	368	92	18	26
	4	64	517	2488	185	35	8
	3	19	164	346	718	30	15
	2	3	26	50	28	30	2
	1		17	19	14	13	44

人間生活科学部 管理栄養学科

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	3	1				
	5		607	44	11	1	1
	4	1	51	368	23		
	3		15	37	112	1	2
	2		1	8	2	10	
	1			2	4	3	5

全体

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	8	4	6	1		
	5	51	3783	391	60	28	8
	4	23	435	2589	198	42	10
	3	3	152	351	728	44	14
	2	1	22	53	23	34	6
	1		20	17	15	8	47

人間生活科学部 管理栄養学科

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	3	1				
	5	1	612	42	4	4	1
	4		52	372	17	2	
	3		15	39	109	2	2
	2		2	9	2	8	
	1		1	3	3	2	5

上記の左の二つの表から本学全体において、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」が高いほど、「設問 11：教室管理」が高かった。人間生活科学部 管理栄養学科でも同様に、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」と「設問 11：教室管理」の間に関連性がみられた。

これらのことから、教科書・配布資料が十分活用され、板書、スクリーン・モニターが見やすいことが、教室管理の向上につながっていることが推測された。

		全体					
		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	10	3	2	3		1
	5	4	3974	287	40	13	3
	4	6	585	2504	154	40	8
	3	3	199	351	684	37	18
	2		26	43	27	36	7
	1	1	20	20	12	7	47

		人間生活科学部 管理栄養学科					
		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	3	1				
	5		621	33	5	5	
	4		59	360	18	6	
	3	1	16	36	108	4	2
	2		4	7	2	6	2
	1			2	3	4	5

上記の左の表から本学全体において、「設問 11：教室管理」が高いほど「設問 10：声の聞き取りやすさ」が高くなっており、この関連性は人間生活科学部 管理栄養学科においても同様にみられた。

9. 考察

人間生活科学部 管理栄養学科の回答率は、本学全体よりも高かったが、2024 年度の前期よりも低かった。前期と比較して出席率は低くなっていたが学習意欲は高くなっていた。前期と比べて後期で出席率が低くなっている原因としては、4 年生では就職活動、3 年生では臨地実習と授業が重なって出席できなかったこと、1 年生では大学生活に慣れてきたことで授業に欠席しがちになったこと、などが考えられた。また、前期と比べて後期で学習意欲が高くなっているのは、大学生活に慣れ 90 分授業にも慣れてきたこと、新たな人間関係を築き、落ち着いて学習しやすい環境が整ったことなどが要因になっているのではないかと思われた。

各設問のクロス集計結果より、「設問 11：教室管理」を高く維持することが「設問 4：わかりやすさ」につながると推測される。また、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」の高評価と「設問 11：教室管理」の高評価に関連性がみとめられたことから、教室管理を高く維持するためには、教科書・配布資料をしっかりと活用し、板書やスクリーン・モニターを見やすくするなどの工夫をすることが重要ではないかと考えられた。さらに、これらの工夫によりしっかりした教室管理が維持できると教員の声も聞き取りやすくなり（「設問 10：声の聞き取りやすさ」）、授業の理解（「設問 4：わかりやすさ」）につながっていくのではないかと思われた。